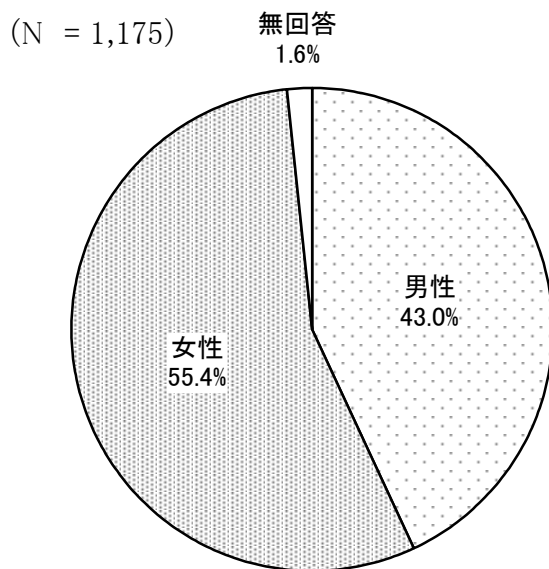


Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

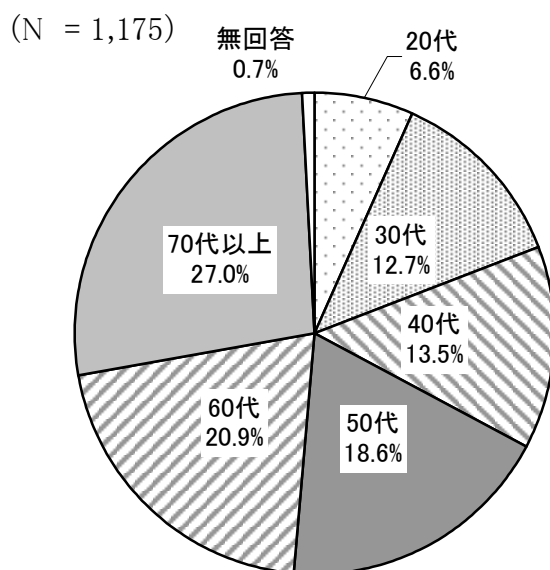
F 1 性別

「男性」の割合が43.0%、「女性」の割合が55.4%となっています。



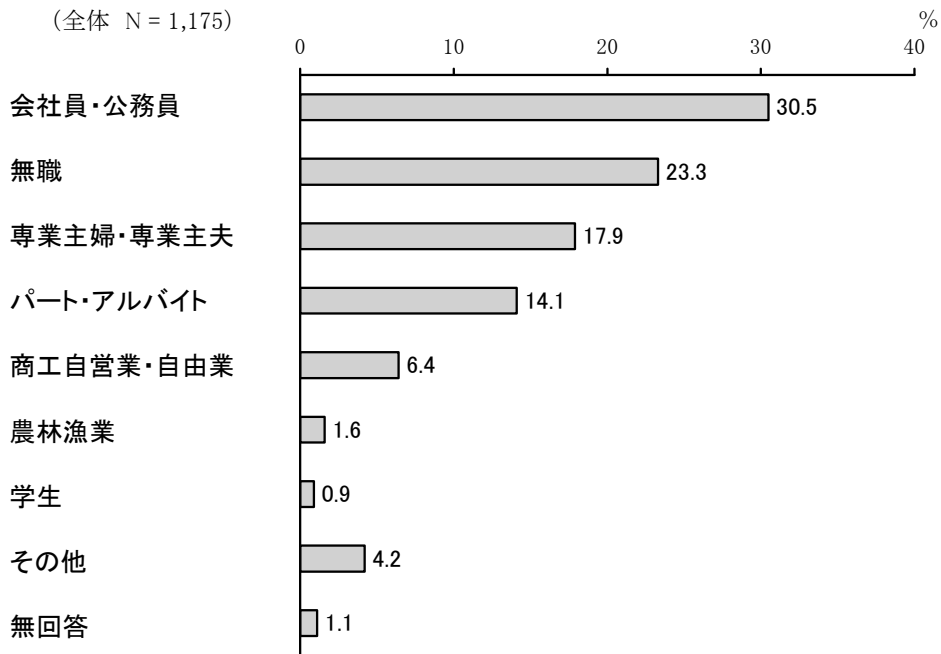
F 2 年齢

「70代以上」の割合が27.0%と最も高く、次いで「60代」の割合が20.9%、「50代」の割合が18.6%となっています。



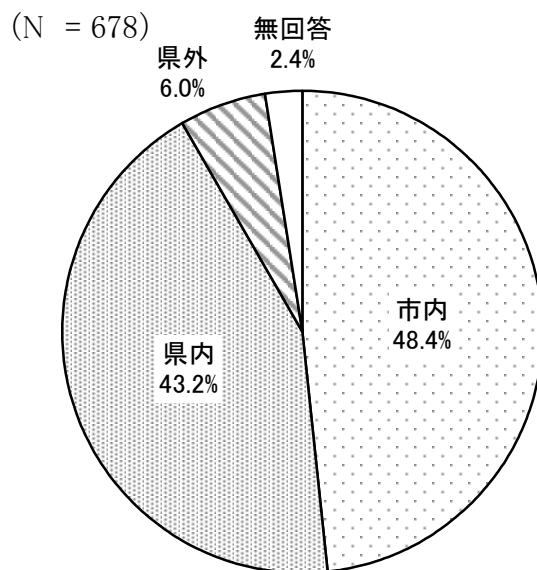
F 3 職業

「会社員・公務員」の割合が30.5%と最も高く、次いで「無職」の割合が23.3%、「専業主婦・専業主夫」の割合が17.9%となっています。



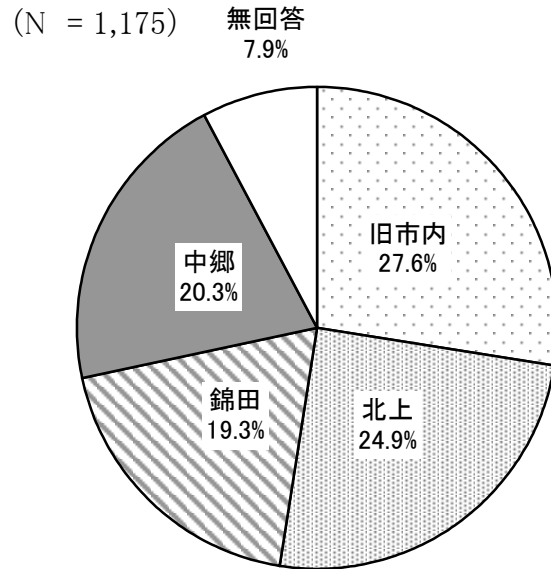
F 4 職場(通学地)の所在地(無職、専業主婦・専業主夫を除く)

「市内」の割合が48.4%と最も高く、次いで「県内」の割合が43.2%となっています。



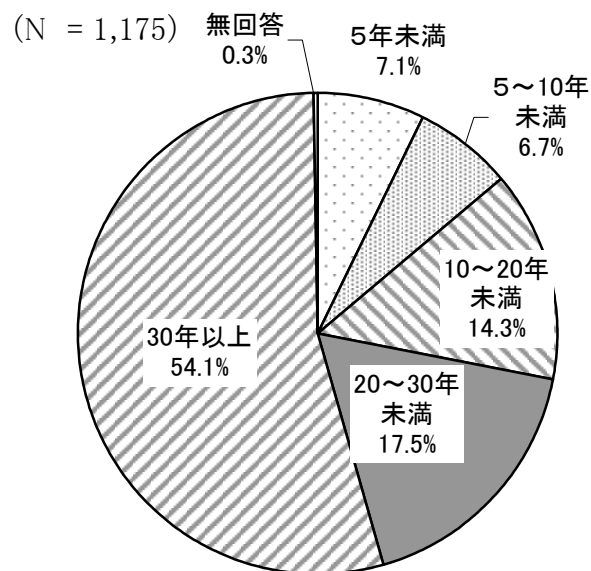
F 5 お住まいの地域

「旧市内」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「北上」の割合が 24.9%、「中郷」の割合が 20.3%となっています。



F 6 三島市在住歴

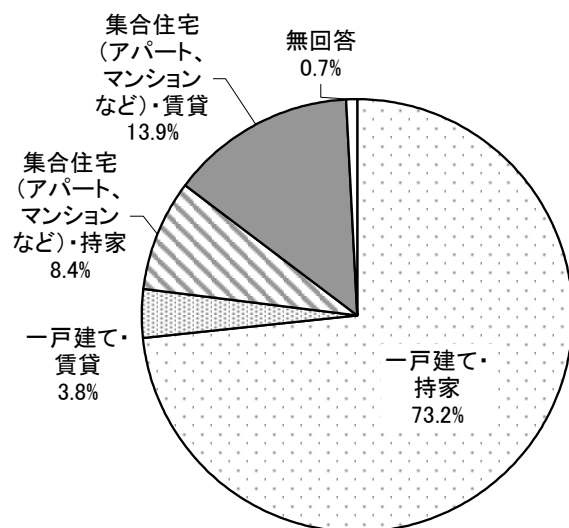
「30年以上」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「20～30年未満」の割合が 17.5%、「10～20年未満」の割合が 14.3%となっています。



F 7 お住まいの住宅

「一戸建て・持家」の割合が73.2%と最も高く、次いで「集合住宅（アパート、マンションなど）・賃貸」の割合が13.9%となっています。

(N = 1,175)

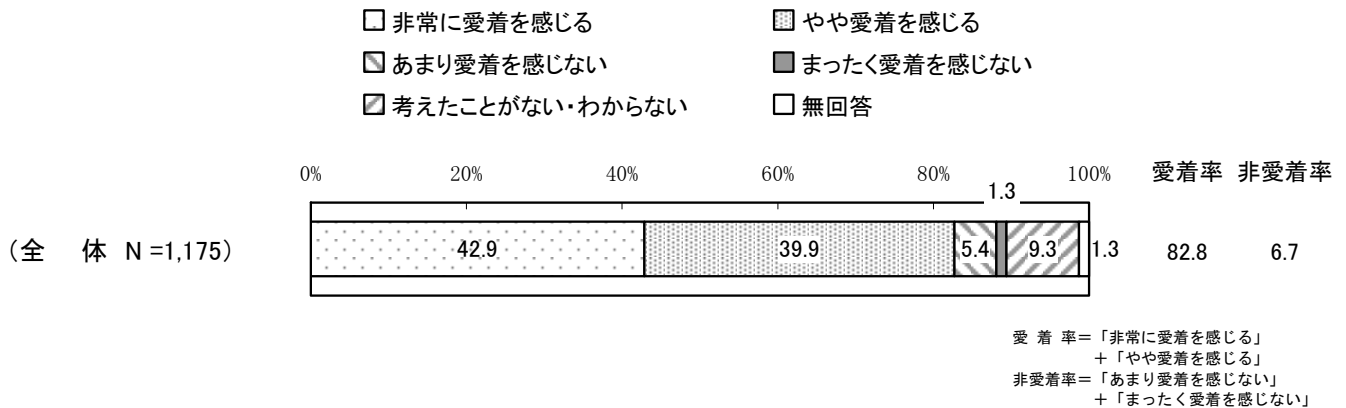


2 『居住環境』について

問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。(〇はひとつ)

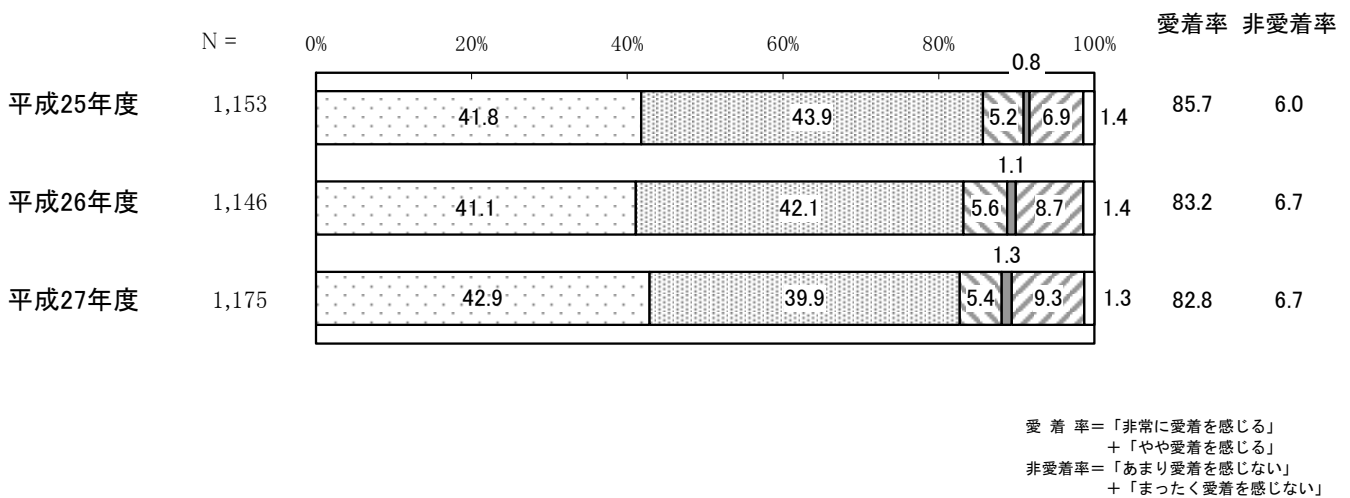
—三島市への“愛着率”は82.8%—

「非常に愛着を感じる」と「やや愛着を感じる」を合わせた“愛着率”は82.8%でした。
「あまり愛着を感じない」と「まったく愛着を感じない」を合わせた“非愛着率”は6.7%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“愛着率”は8割台半ばとなっています。

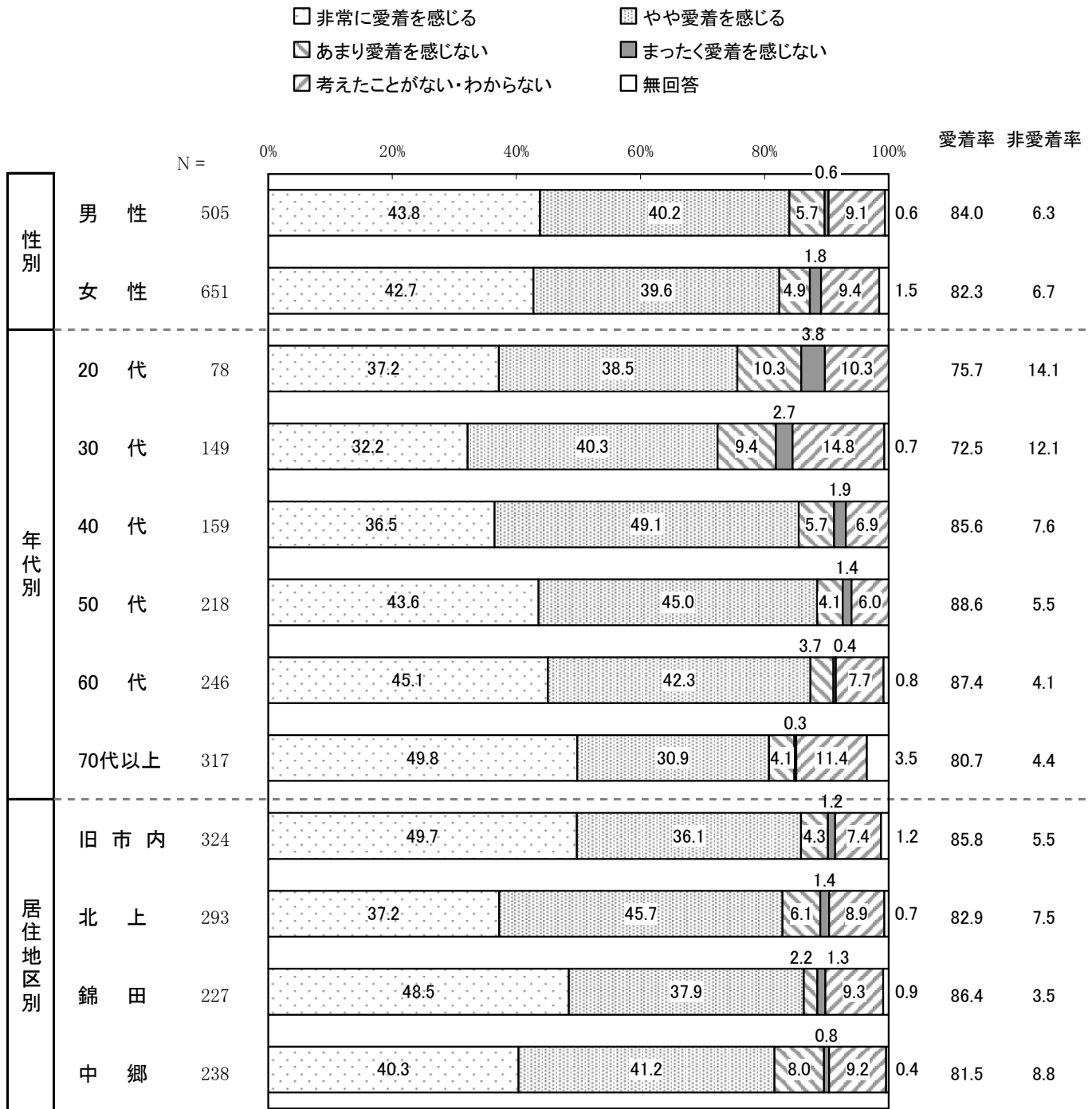


【属性別比較】

性別でみると、“愛着率”（男性 84.0%、女性 82.3%）では、大きな差はみられず、男性、女性とも約8割となっています。

年代別でみると、“愛着率”は、50代（88.6%）が高く、60代（87.4%）、40代（85.6%）では8割台半ばを占めています。また、年代が高くなるにつれ「非常に愛着を感じる」の割合が高くなる傾向がみられ、特に70代以上では約5割となっています。

居住地区別でみると、“愛着率”は錦田（86.4%）が最も高くなっています。また、旧市内、錦田で「非常に愛着を感じる」の割合が高く、約5割となっています。

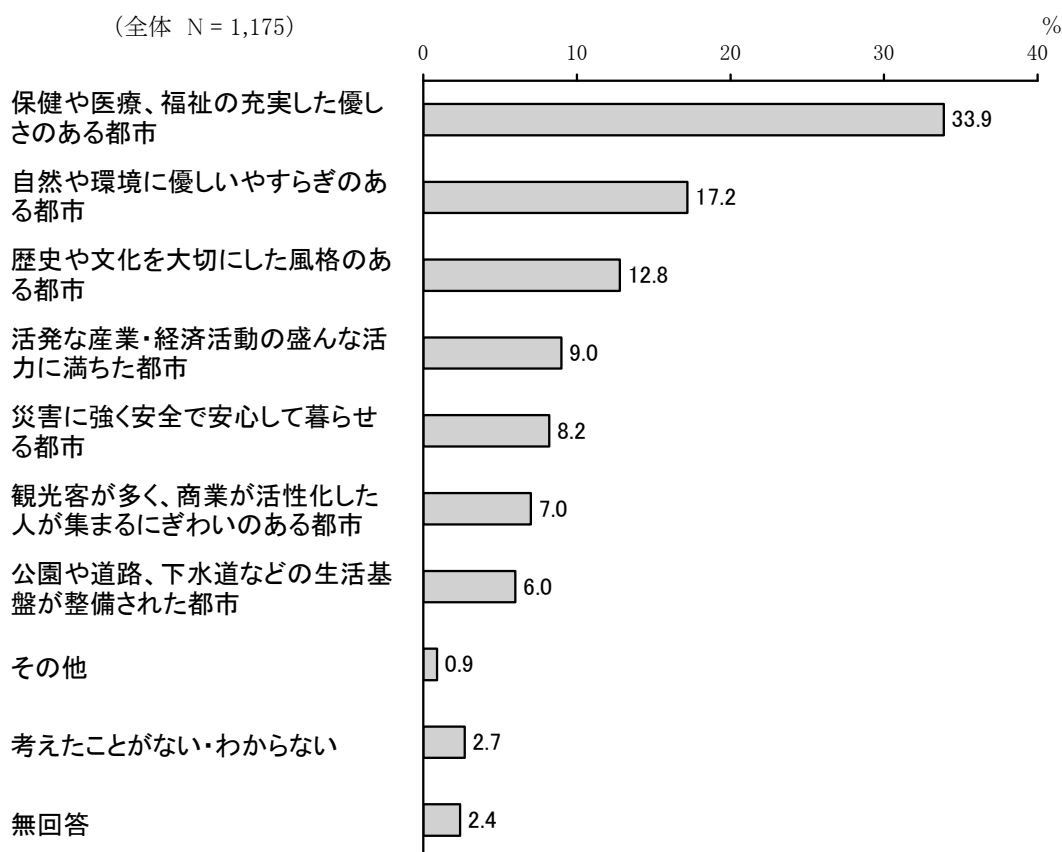


愛着率 = 「非常に愛着を感じる」 + 「やや愛着を感じる」
 非愛着率 = 「あまり愛着を感じない」 + 「まったく愛着を感じない」

問2 あなたは、三島市が将来どのような町になったらよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(〇はひとつ)

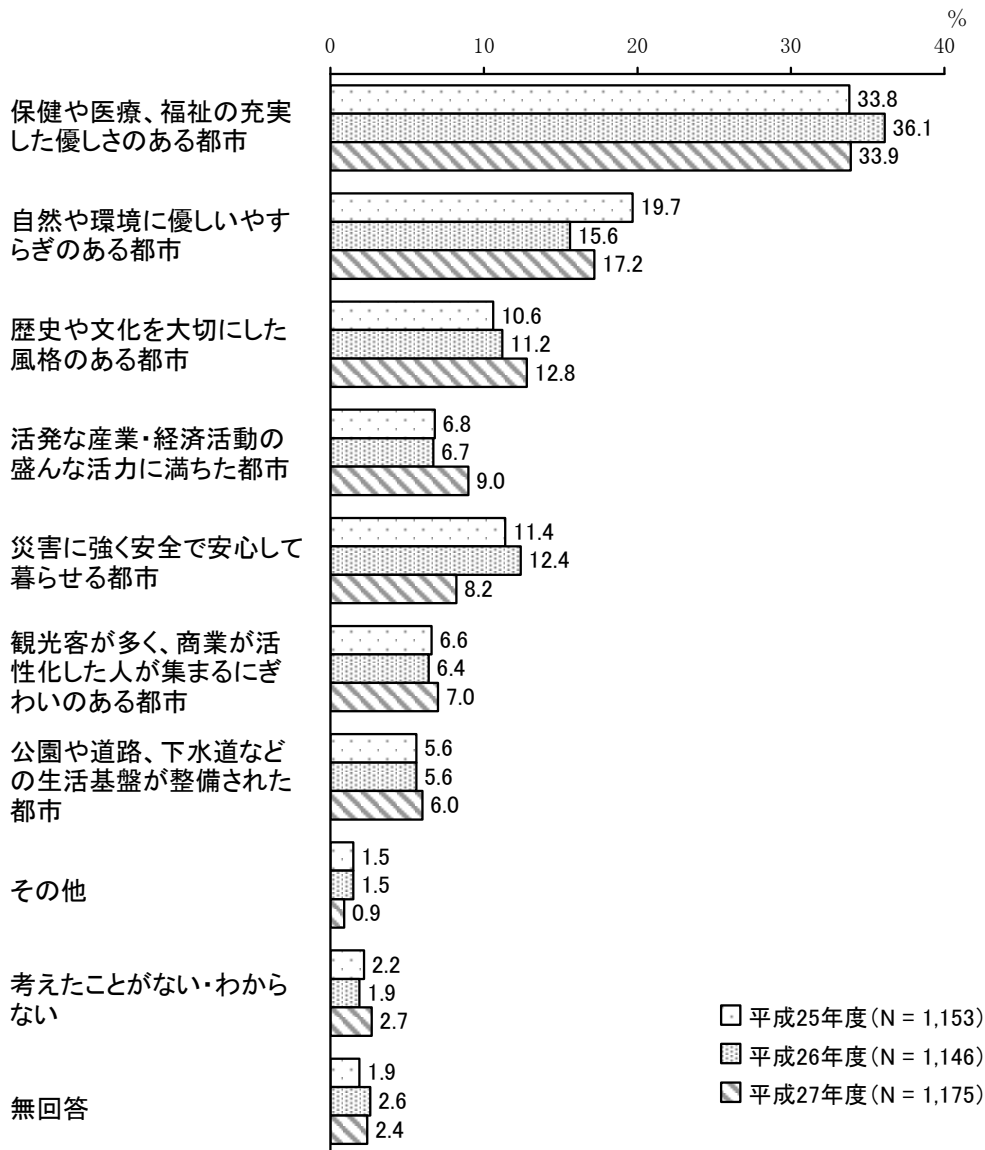
—将来の都市像は「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が33.9%—

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」の割合が33.9%と最も高く、次いで「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」の割合が17.2%、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」の割合が12.8%となっています。



【時系列比較】

時系列でみると、「保健や医療・福祉の充実した優しさある都市」(33.9%)が減少し、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」(17.2%)が増加しました。



【属性別比較】

性別で見ると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」（男性 28.9%、女性 37.9%）が最も高くなっています。また、男性では「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」（16.4%）が2位であるのに対し、女性は「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」（18.1%）が2位となっています。

年代別で見ると、20代を除くいずれの年代でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も高くなっています。また、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」は、20代（25.6%）で2割台半ばとなっています。

居住地区別で見ると、いずれの居住地区でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も高く、3割台となっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	歴史や文化を大切にされた風格のある都市	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	自然や環境に優しいやすらぎのある都市	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	その他	考えたことがない・わからない	無回答
性別	男性	505	12.3	16.4	28.9	7.7	6.7	15.8	5.7	1.6	3.0	1.8
	女性	651	6.6	10.1	37.9	6.5	5.2	18.1	9.7	0.5	2.6	2.8
年代	20代	78	9.0	11.5	16.7	10.3	7.7	25.6	10.3	0.0	6.4	2.6
	30代	149	8.1	11.4	30.9	6.7	8.7	16.8	10.7	4.0	2.0	0.7
	40代	159	10.7	11.9	31.4	8.2	8.2	20.8	4.4	1.3	1.9	1.3
	50代	218	9.6	15.6	30.3	8.7	4.1	18.8	8.3	0.5	0.9	3.2
	60代	246	9.3	11.0	39.0	6.5	4.9	17.9	7.7	0.4	1.6	1.6
	70代以上	317	7.9	13.6	39.7	5.0	5.4	11.4	8.5	0.3	4.7	3.5
居住地区別	旧市内	324	7.7	16.7	31.2	8.3	4.6	18.5	7.4	1.5	2.8	1.2
	北上	293	6.5	11.6	32.4	6.8	5.8	18.8	12.3	1.4	2.4	2.0
	錦田	227	7.9	11.0	38.3	7.5	5.7	16.7	4.8	0.9	4.0	3.1
	中郷	238	15.5	10.9	32.4	6.3	8.0	16.4	8.0	0.0	0.8	1.7

1位

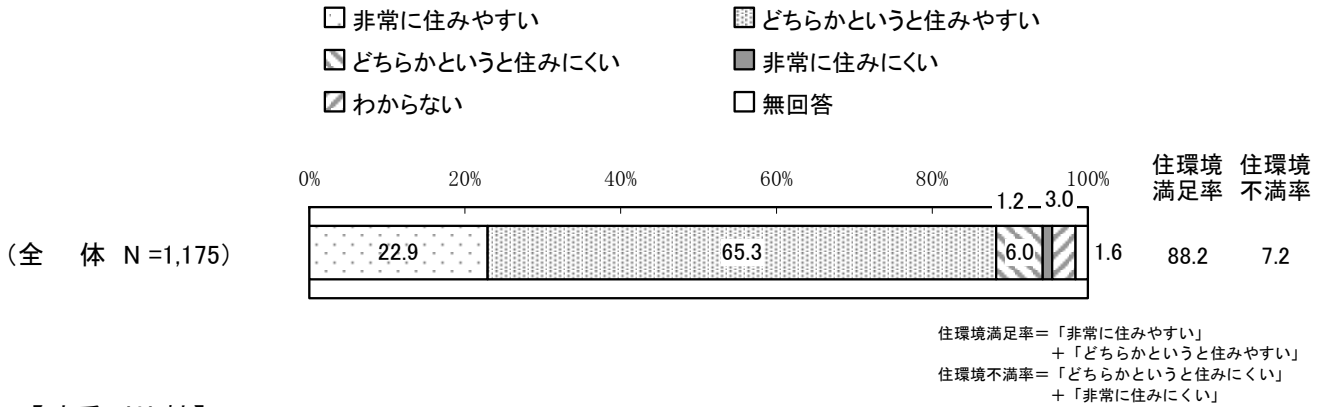
2位

3位

問3 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。(〇はひとつ)

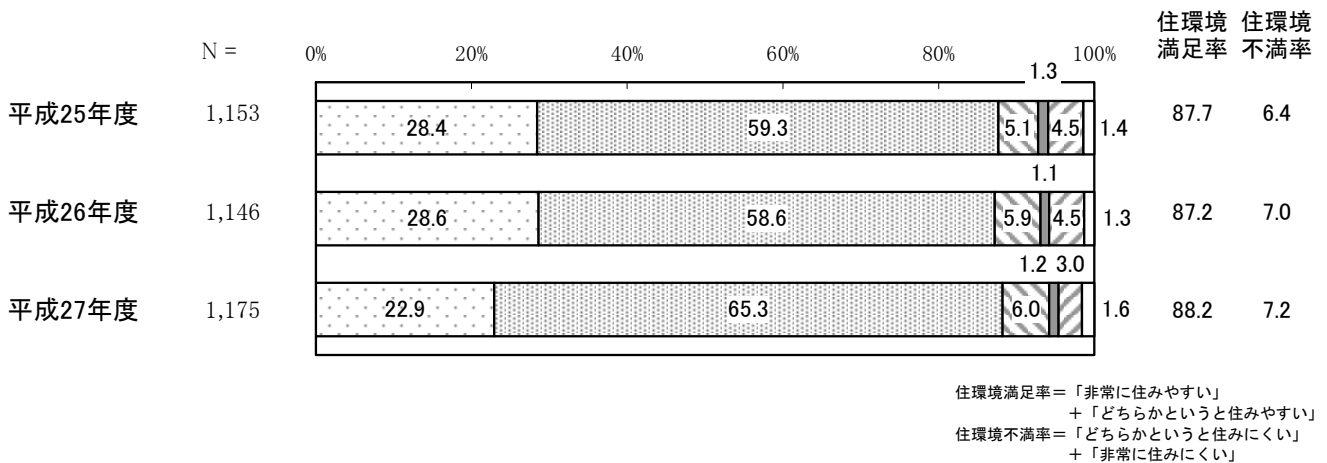
—三島市が“住みやすい”と感じる人は88.2%—

「非常に住みやすい」(22.9%)、「どちらかという住みやすい」(65.3%)を合わせた“住環境満足率”は88.2%となっています。一方、「どちらかという住みにくい」(6.0%)、「非常に住みにくい」(1.2%)を合わせた“住環境不満率”は7.2%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“住環境満足率”は約9割を占めています。

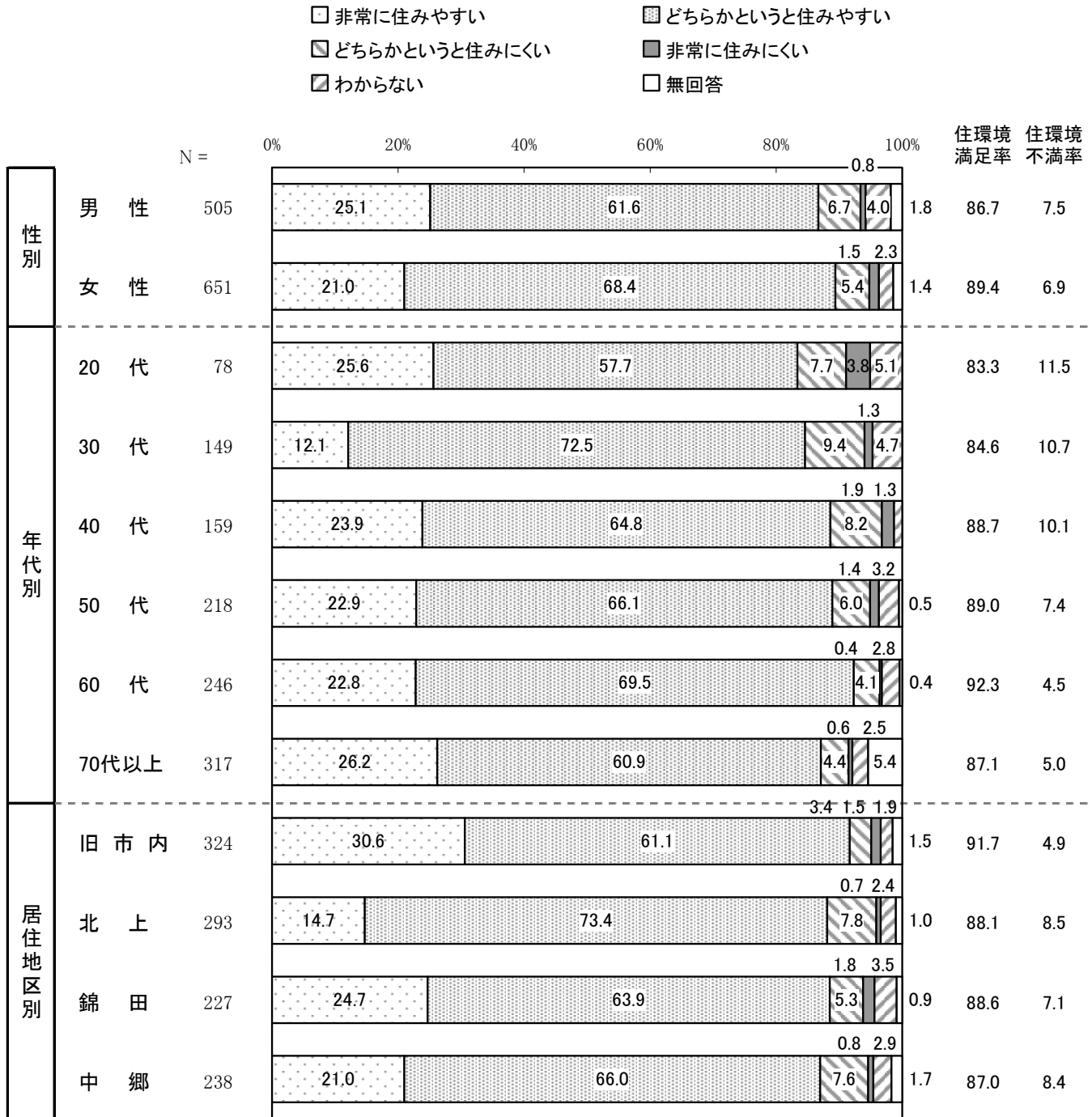


【属性別比較】

性別でみると、“住環境満足率”（男性 86.7%、女性 89.4%）で、大きな差はみられず、男性、女性とも約9割となっています。

年代別でみると、“住環境満足率”は、いずれの年代で8割を超えており、特に60代（92.3%）で高く、約9割を占めています。また、「非常に住みやすい」は、70代以上（26.2%）が高く、30代（12.1%）が低くなっています。

居住地区別でみると、“住環境満足率”は、旧市内（91.7%）が最も高く、次いで錦田（88.6%）、北上（88.1%）、中郷（87.0%）となっています。

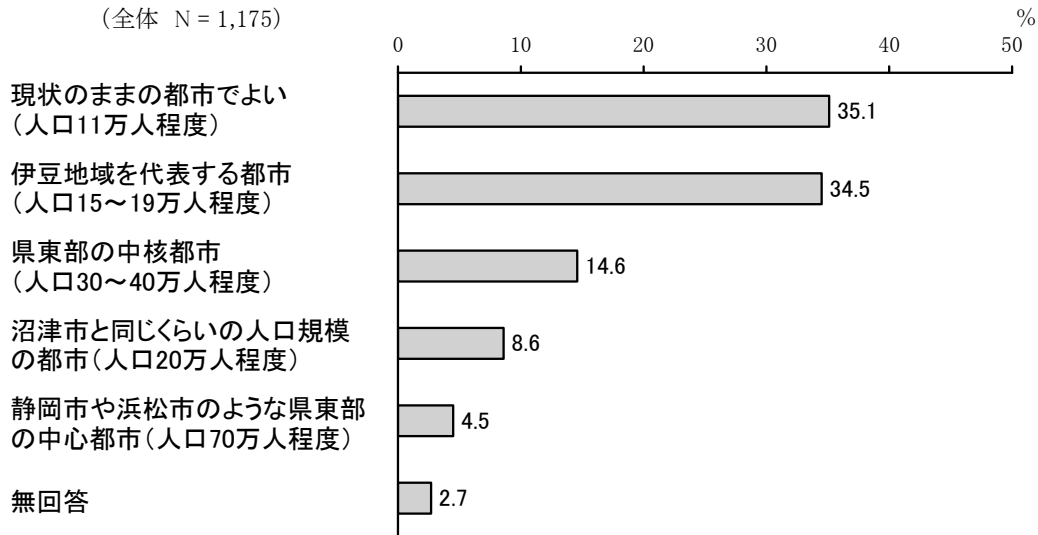


住環境満足率 = 「非常に住みやすい」 + 「どちらかという住みやすい」
 住環境不満率 = 「どちらかという住みにくい」 + 「非常に住みにくい」

問4 あなたは、三島市を含むこの地域が将来どのような都市になることが望ましいとお考えですか。(〇はひとつ)

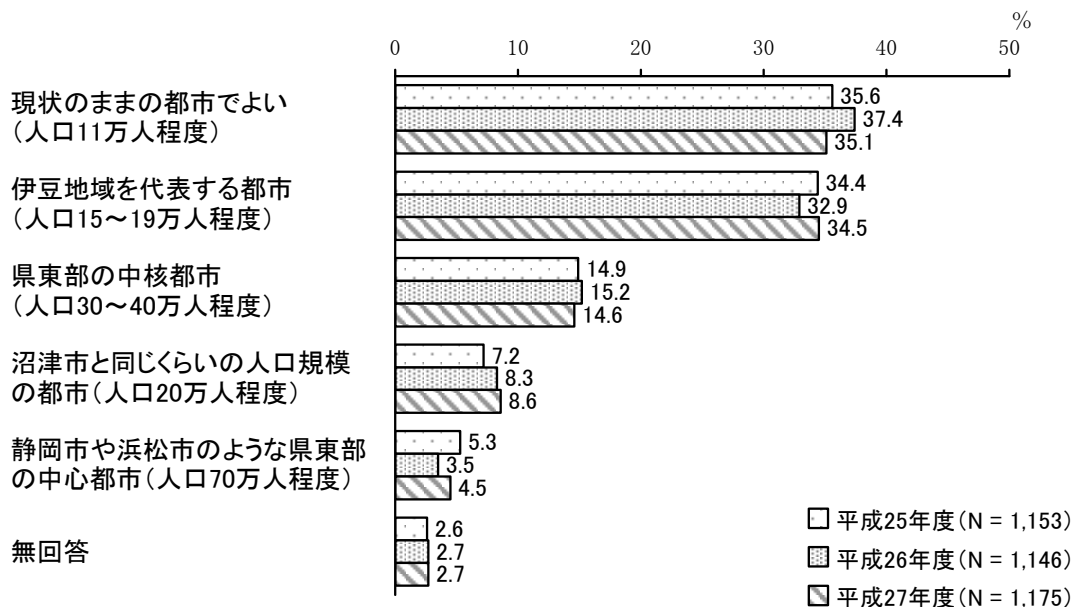
—将来の都市規模は「現状のままの都市でよい」が35.1%—

「現状のままの都市でよい（人口11万人程度）」の割合が35.1%と最も高く、次いで「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」の割合が34.5%、「県東部の中核都市（人口30～40万人程度）」の割合が14.6%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、いずれの年度も「現状のままの都市（人口11万人程度）」が最も多く、次いで「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」となっています。



【属性別比較】

性別でみると、男性は「伊豆地域を代表する都市（人口 15～19 万人程度）」（39.0%）が最も高く、女性は「現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）」（40.1%）が最も高くなっています。

年代別でみると、50、60 代、70 代以上で「伊豆地域を代表する都市（人口 15～19 万人程度）」の割合が高く、特に 60 代（45.1%）で 4 割を超えています。

居住地区別でみると、「現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）」は、中郷（37.8%）が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数（件）	静岡市や浜松市のような 県東部の中心都市 （人口 70 万人程度）	県東部の中核都市 （人口 30 ～ 40 万人程度）	沼津市と同じくらいの 人口規模の都市 （人口 20 万人程度）	伊豆地域を代表する都市 （人口 15 ～ 19 万人程度）	現状のままの都市でよい （人口 11 万人程度）	無回答
性別	男性	505	5.5	16.2	8.3	39.0	27.7	3.2
	女性	651	3.8	13.7	8.6	31.3	40.1	2.5
年代別	20 代	78	12.8	15.4	10.3	25.6	33.3	2.6
	30 代	149	7.4	18.1	9.4	25.5	39.6	0.0
	40 代	159	6.3	22.0	8.2	25.8	35.8	1.9
	50 代	218	4.6	17.9	8.3	34.4	33.5	1.4
	60 代	246	2.0	12.6	6.9	45.1	32.1	1.2
	70 代以上	317	2.2	8.5	9.1	36.9	36.6	6.6
居住地区別	旧市内	324	4.3	15.7	9.6	35.8	33.0	1.5
	北上	293	3.4	13.3	8.9	36.5	35.8	2.0
	錦田	227	5.3	16.3	7.9	37.4	30.8	2.2
	中郷	238	6.7	14.7	7.6	29.8	37.8	3.4

1 位

2 位

3 位

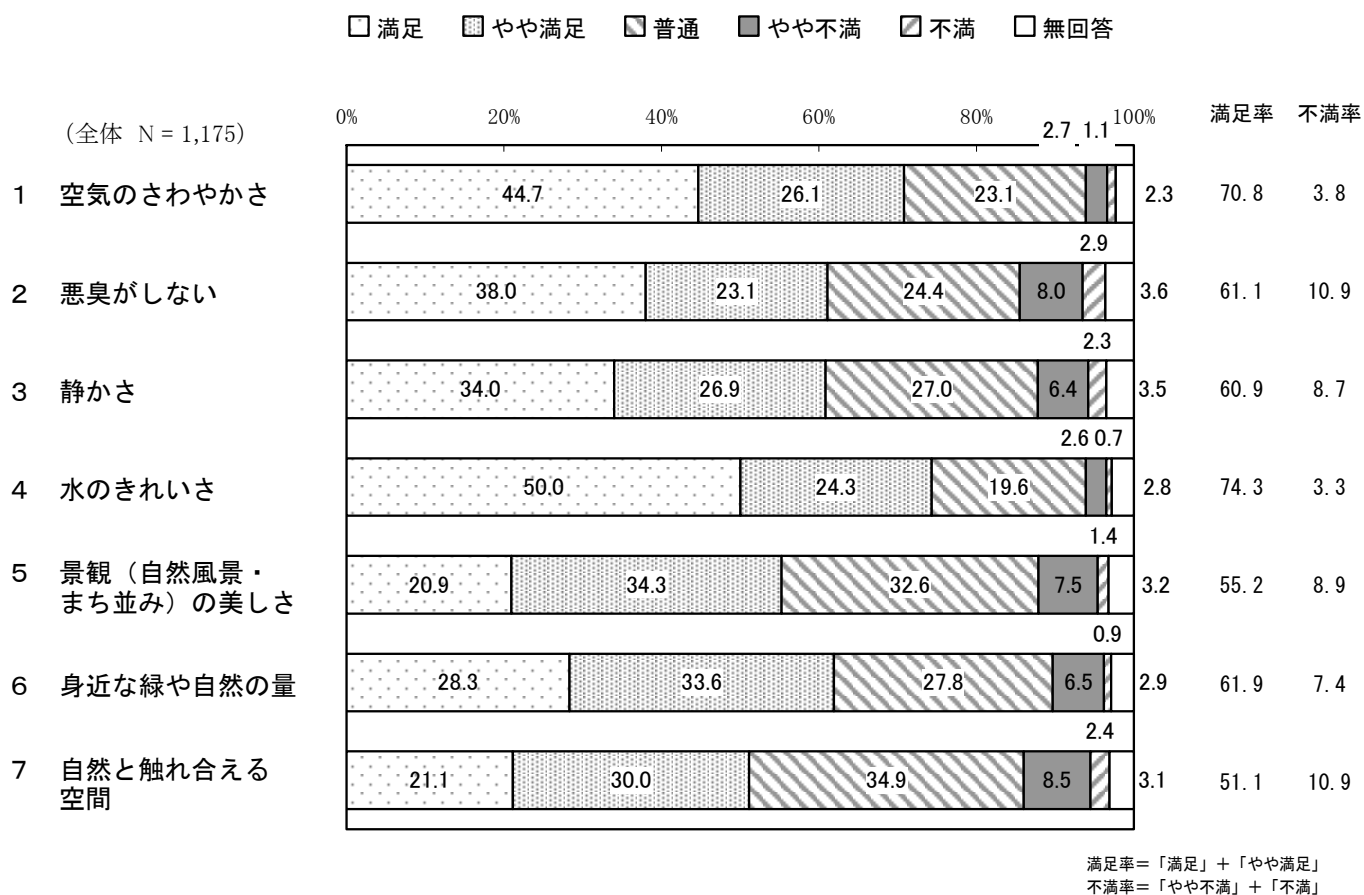
問5 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。
1～7の項目ごとに該当する番号を選んでください。

—生活環境の満足率は『空気のさわやかさ』『水のきれいさ』で7割以上—

生活環境の満足度について聞いたところ、いずれの項目でも「満足」と「やや満足」を合わせた“満足率”が「やや不満」と「不満」を合わせた“不満率”を上回っています。

“満足率”は、『1 空気のさわやかさ』(70.8%)、『4 水のきれいさ』(74.3%)で7割を超えています。また、「満足」は、『1 空気のさわやかさ』(44.7%)、『4 水のきれいさ』(50.0%)が高く、『5 景観(自然風景・まち並み)の美しさ』(20.9%)、『7 自然と触れ合える空間』(21.1%)は約2割となっています。

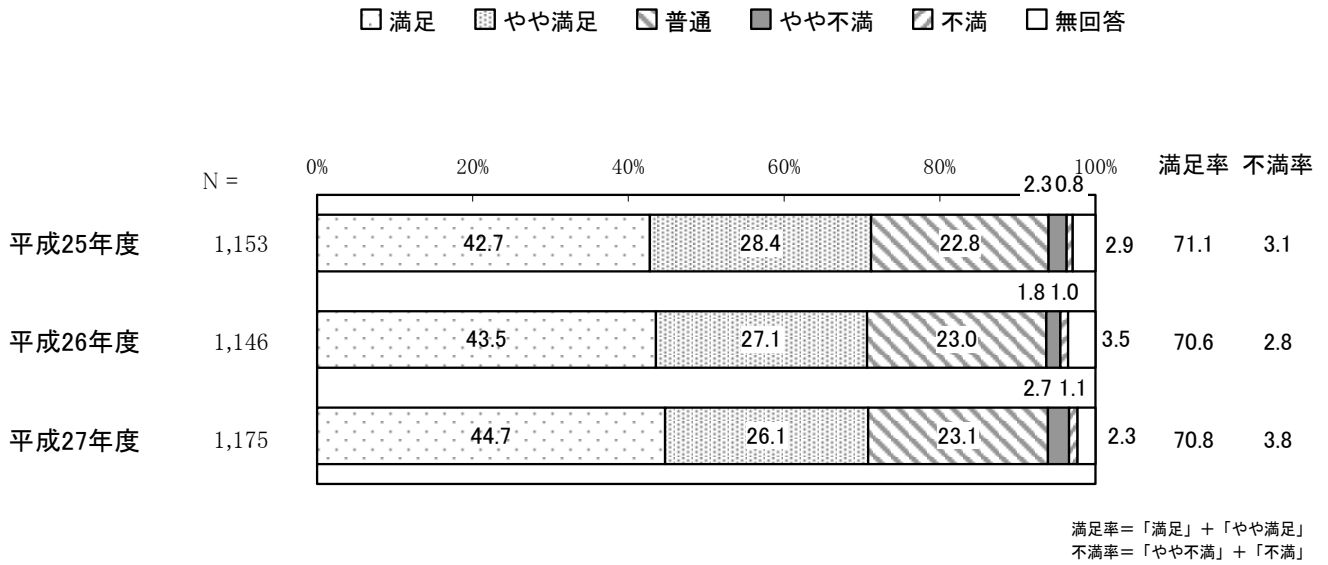
一方、“不満率”は『2 悪臭がしない』(10.9%)、『7 自然と触れ合える空間』(10.9%)で1割を超えています。



①空気のさわやかさ

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、満足率は 7 割以上となっています。

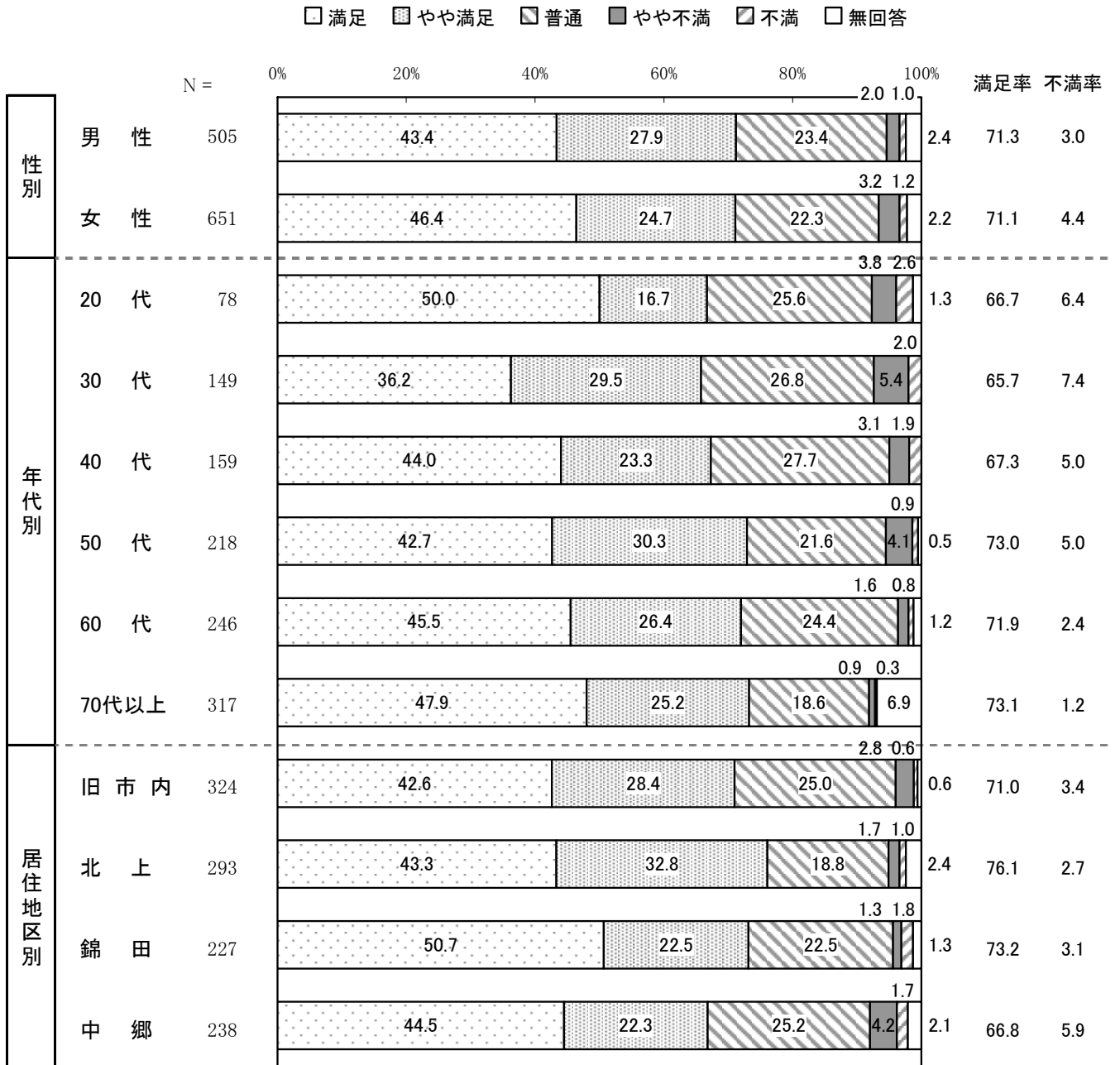


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 71.3%、女性 71.1%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約7割となっています。

年代別でみると、“満足率”は50、60代、70代以上で7割を超えています。一方、「満足」は、70代以上（47.9%）が最も高く、次いで60代（45.5%）と上の年代ほど高くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上（76.1%）で最も高く、「満足」は錦田（50.7%）で約半数となっています。



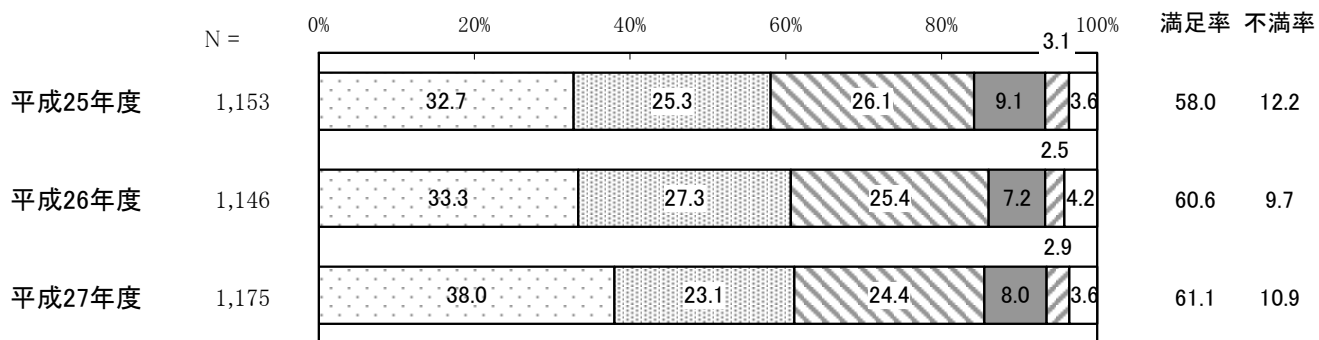
満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

②悪臭がしない

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、満足率は 6 割以上となっています。

□ 満足 □ やや満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答



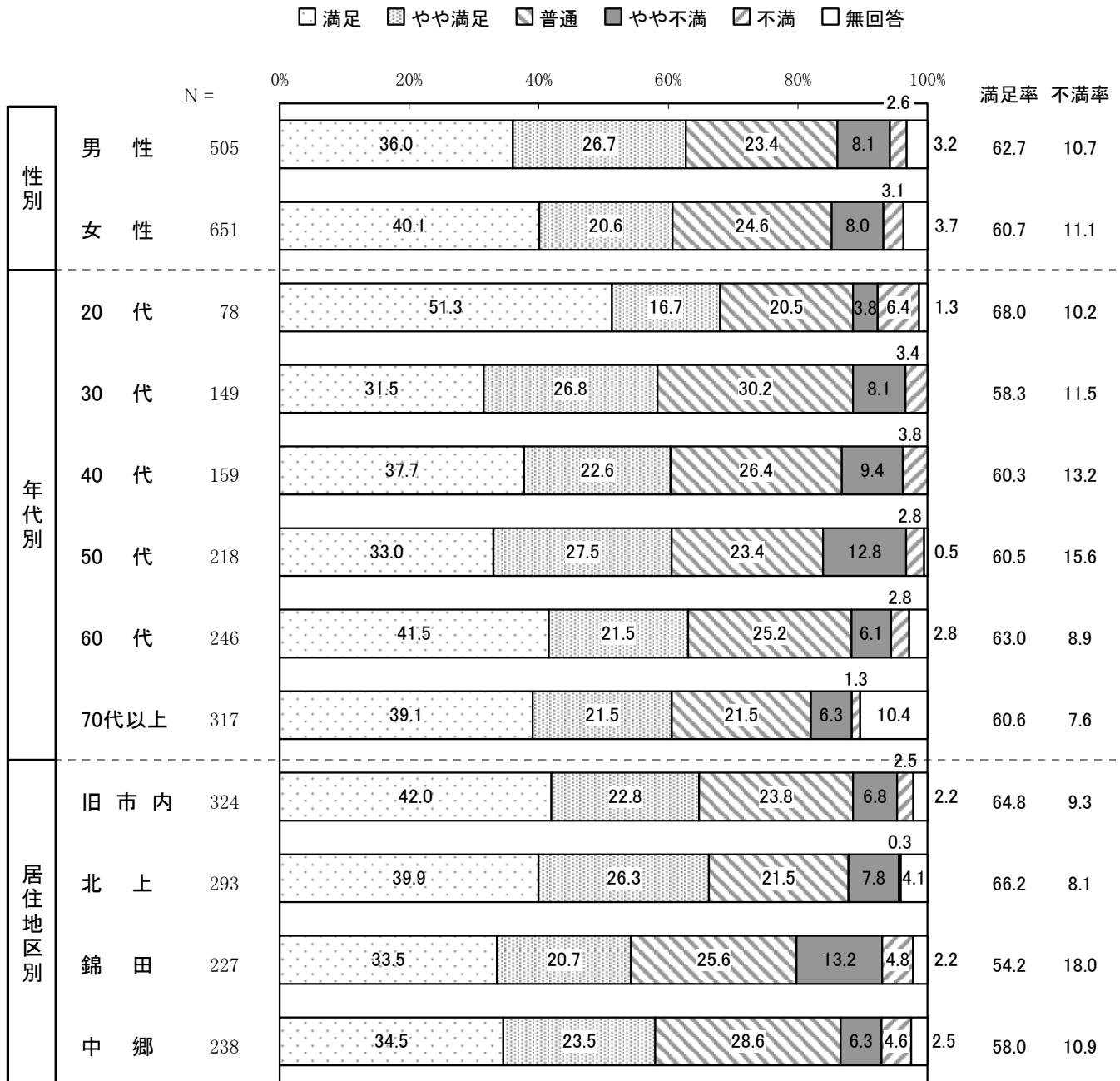
満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 62.7%、女性 60.7%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約6割となっています。

年代別でみると、“満足率”は20代（68.0%）が最も高く、次いで60代（63.0%）、70代以上（60.6%）となっていますが、30代（58.3%）は5割台半ばと低くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上（66.2%）で最も高く、次いで旧市内（64.8%）となっています。

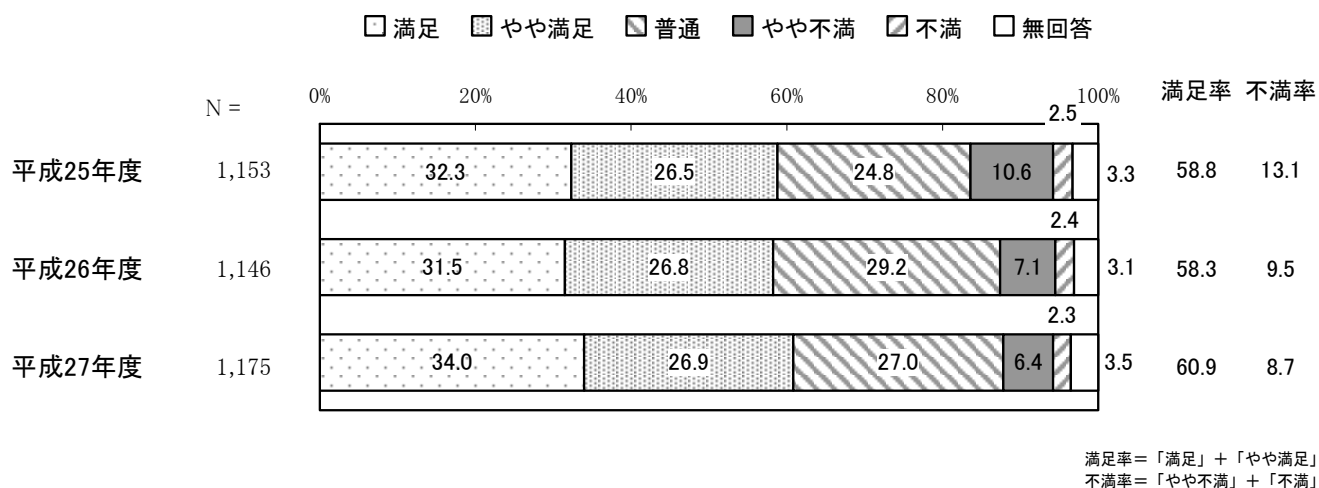


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

③静かさ

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、不満率がやや下がり、平成 27 年度は 8.7% となっています。

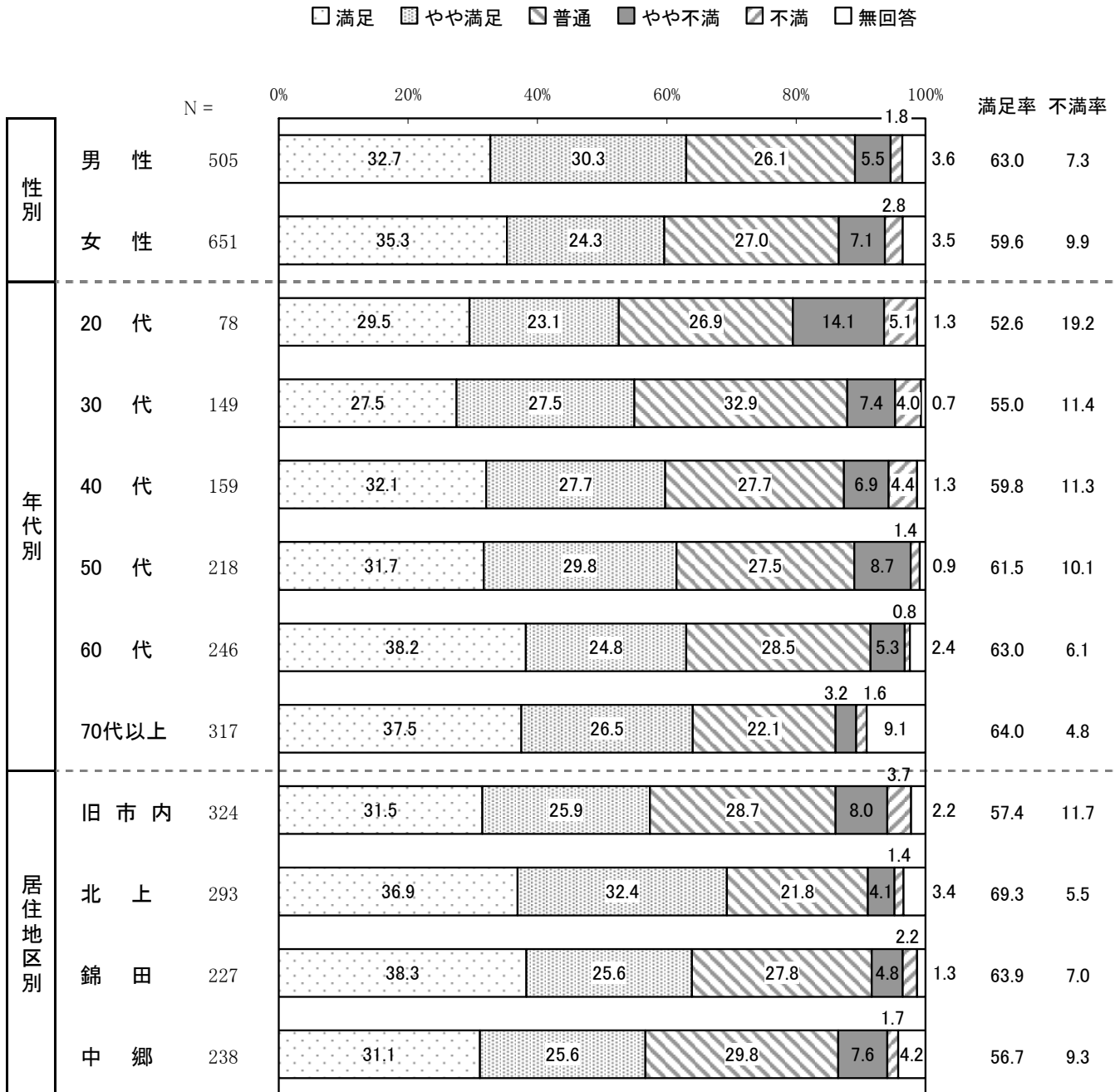


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 63.0%、女性 59.6%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約6割となっています。

年代別でみると、“満足率”は70代以上で高く、6割を超えています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上（69.3%）で最も高く、約7割となっています。一方、“不満率”は旧市内（11.7%）で高くなっています。

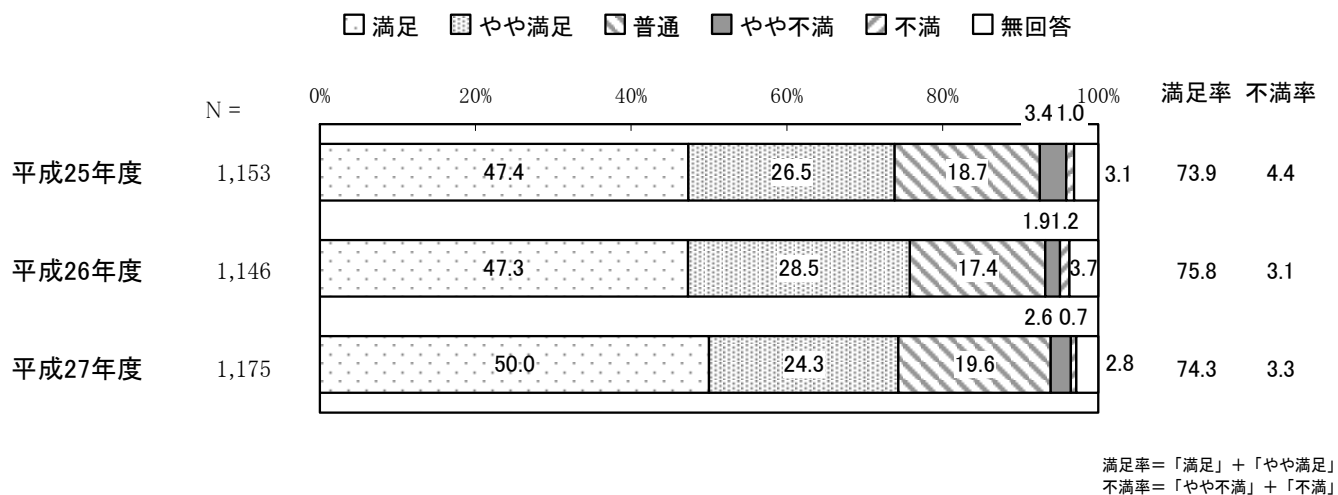


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

④水のきれいさ

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は7割台半ばとなっています。

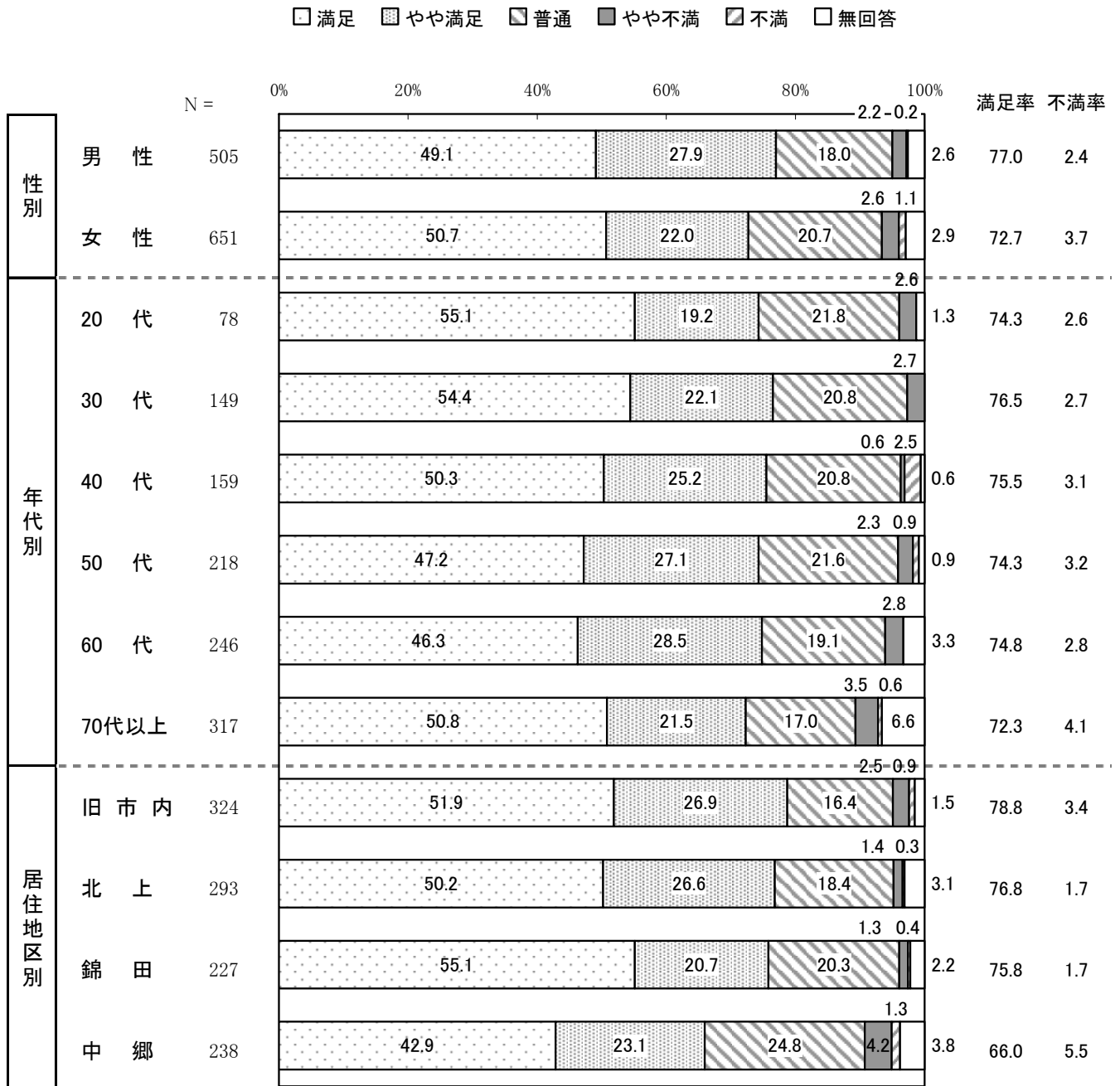


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”は、男性（77.0%）が、女性（72.7%）より高くなっています。

年代別でみると、“満足率”は30代（76.5%）で最も高く、次いで40代（75.5%）、60代（74.8%）となっています。

居住地区別でみると、“満足率”は、旧市内（78.8%）で最も高くなっています。「満足」は、錦田（55.1%）で高く、約5割半ばとなっているものの、中郷（42.9%）では約4割にとどまっています。

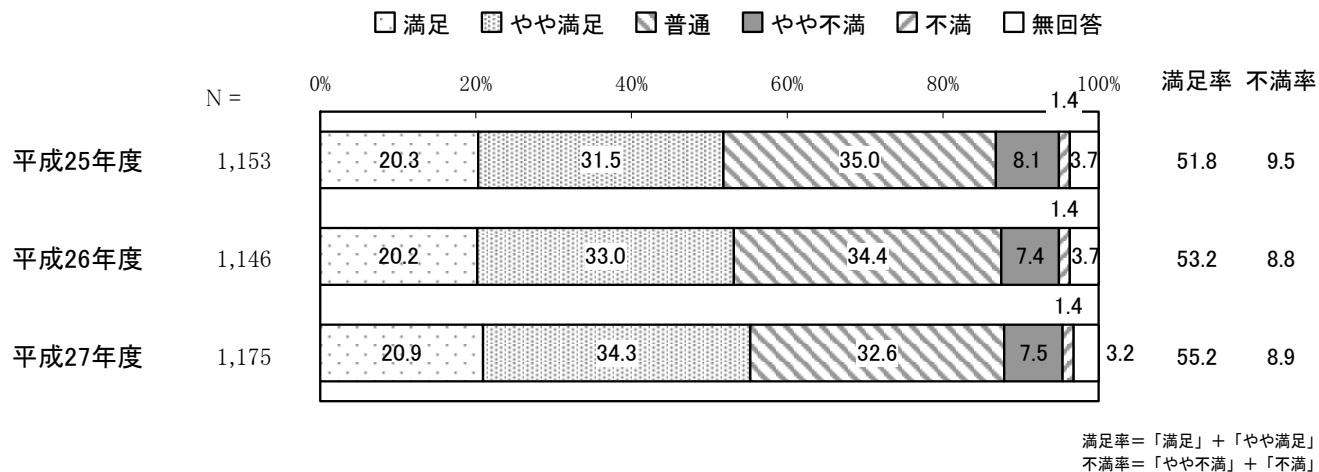


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

⑤景観（自然風景・まち並み）の美しさ

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は5割台となっています。

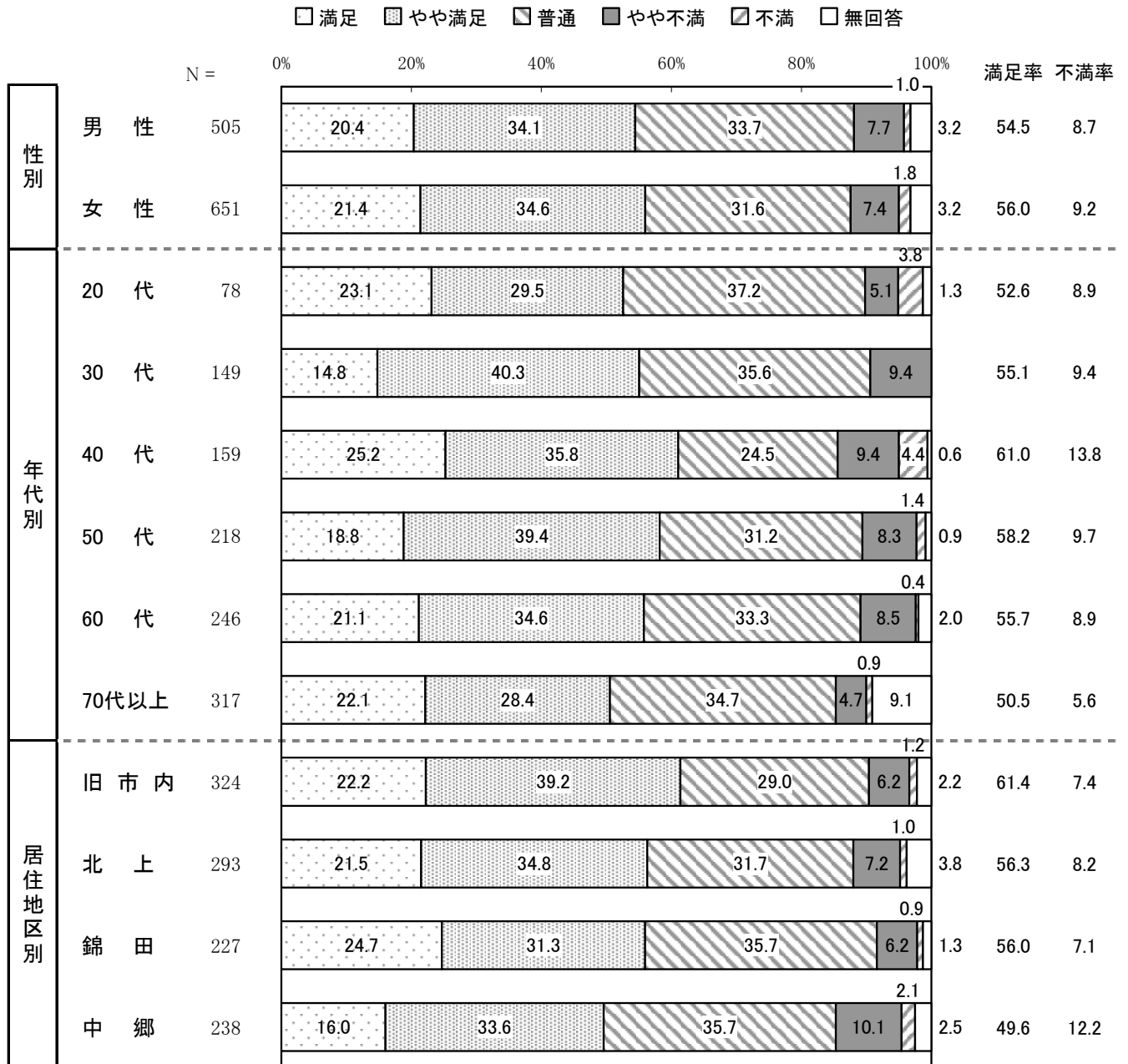


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 54.5%、女性 56.0%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割を超えています。

年代別でみると、“満足率”は40代（61.0%）が最も高く、次いで50代（58.2%）、60代（55.7%）となっています。

居住地区別でみると、“満足率”は旧市内（61.4%）で最も高くなっています。一方で、中郷（49.6%）では約5割と低くなっています。

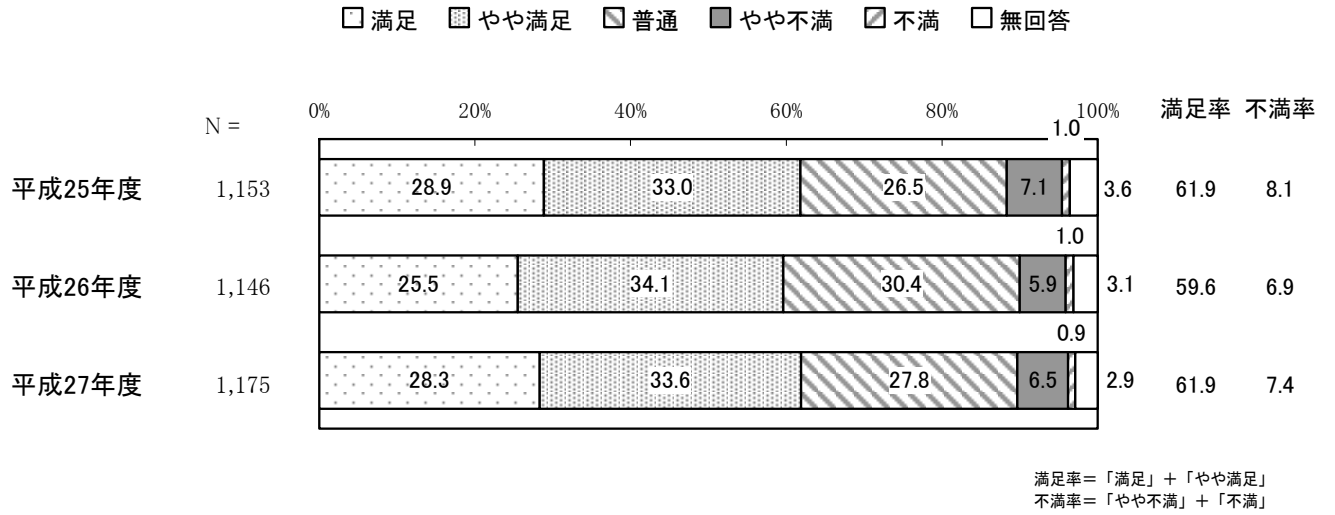


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

⑥身近な緑や自然の量

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は約 6 割となっています。

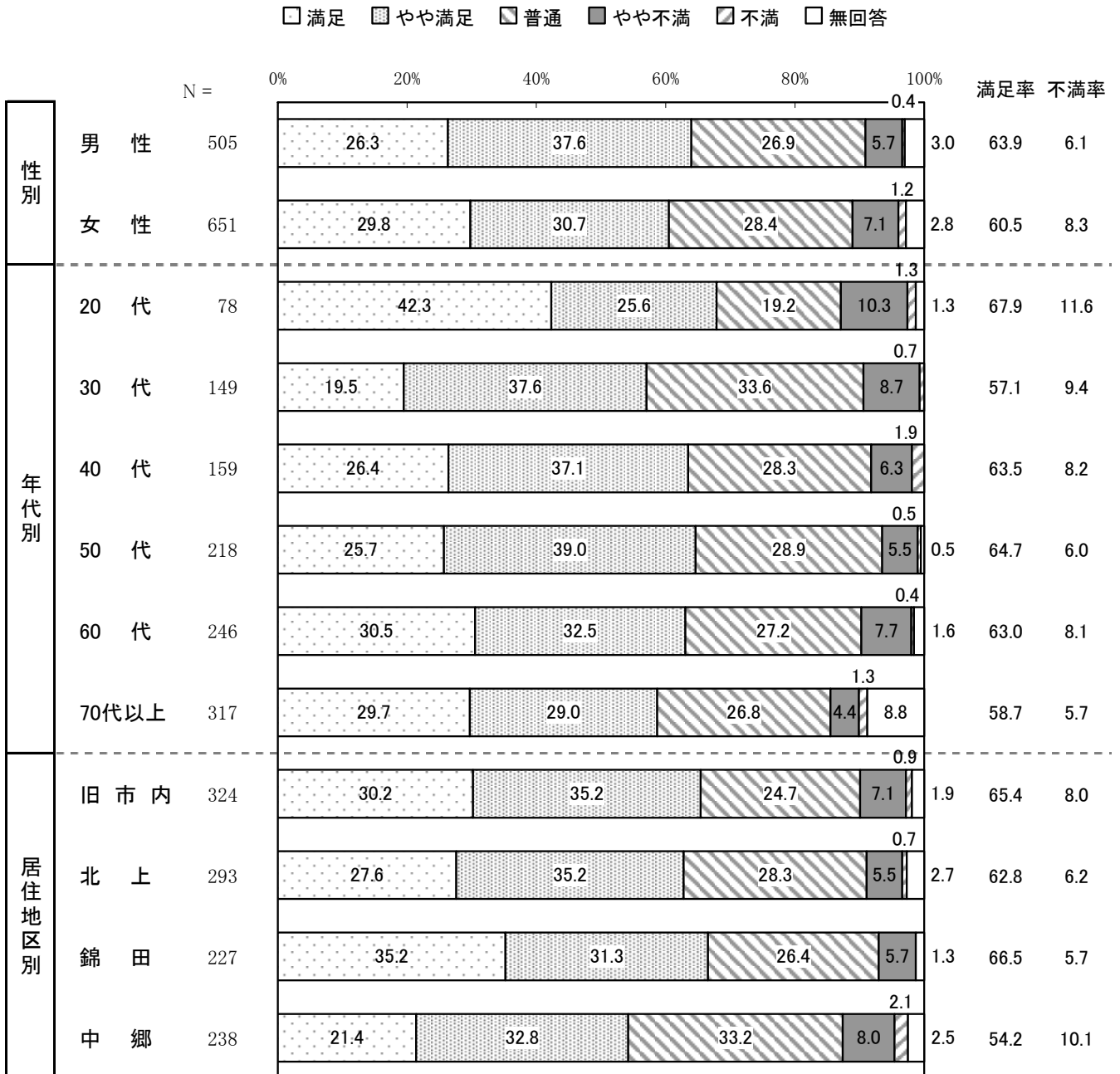


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 63.9%、女性 60.5%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも6割を超えています。

年代別でみると、“満足率”は20代（67.9%）で高く、次いで50代（64.7%）となっています。

居住地区別でみると、“満足率”は、錦田（66.5%）、旧市内（65.4%）で高くなっています。一方、中郷（54.2%）では5割台半ばと低くなっています。

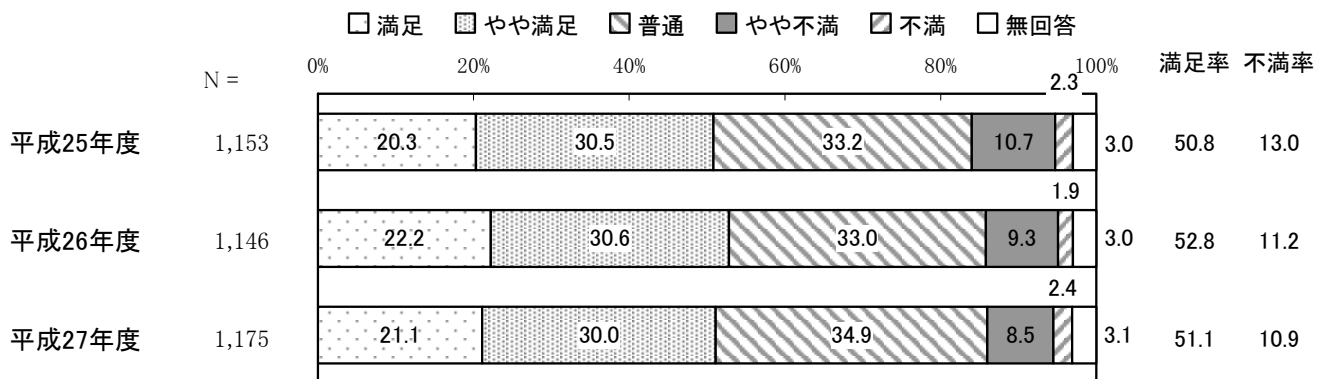


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

⑦自然と触れ合える空間

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は5割を超えています。



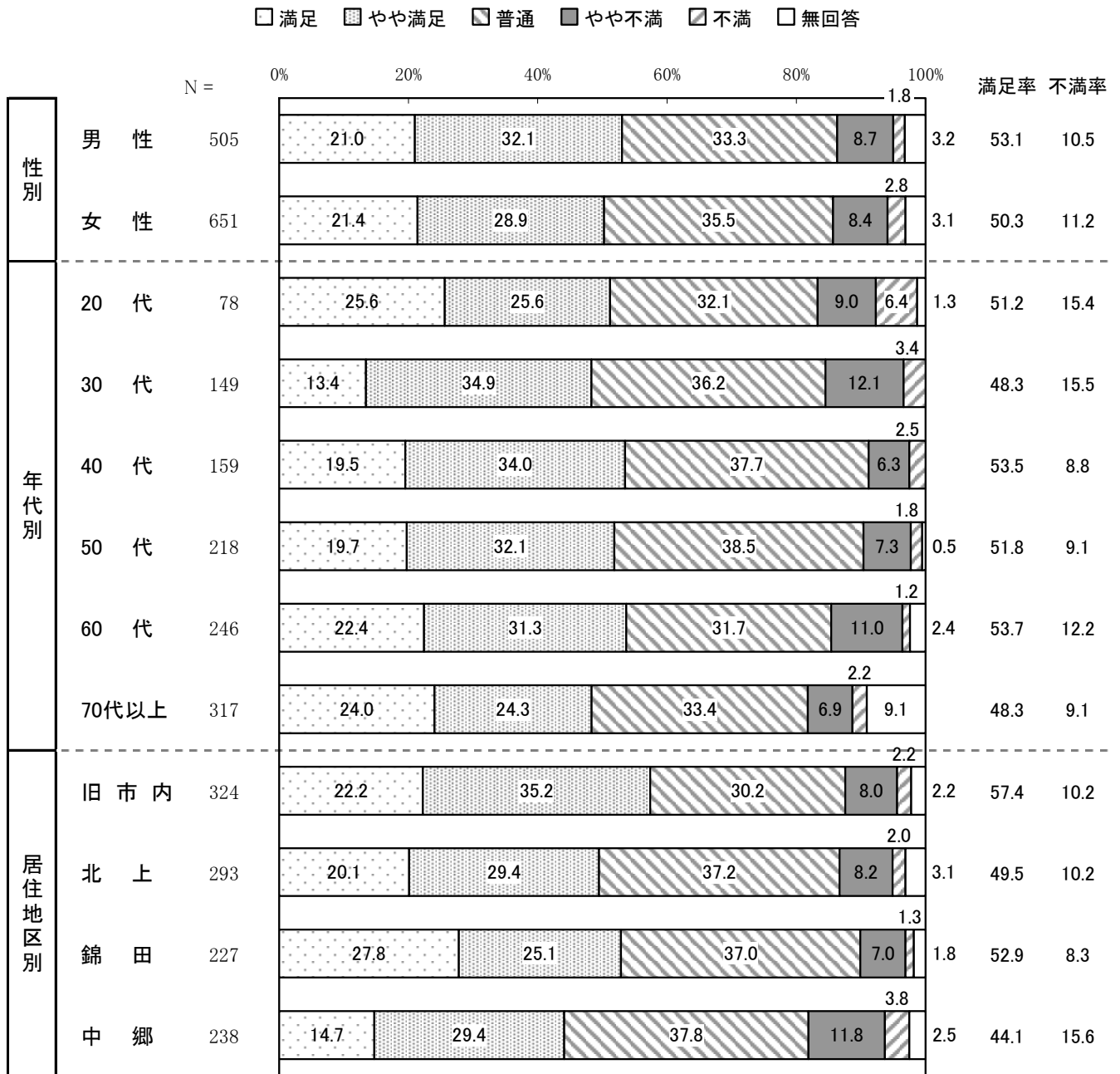
満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 53.1%、女性 50.3%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割を超えています。

年代別でみると、“満足率”は60代（53.7%）で最も高く、一方、30代・70代以上（48.3%）で低くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は旧市内（57.4%）で最も高く、一方、中郷（44.1%）では約4割と低くなっています。「満足」は錦田（27.8%）で高く、中郷（14.7%）で低くなっています。



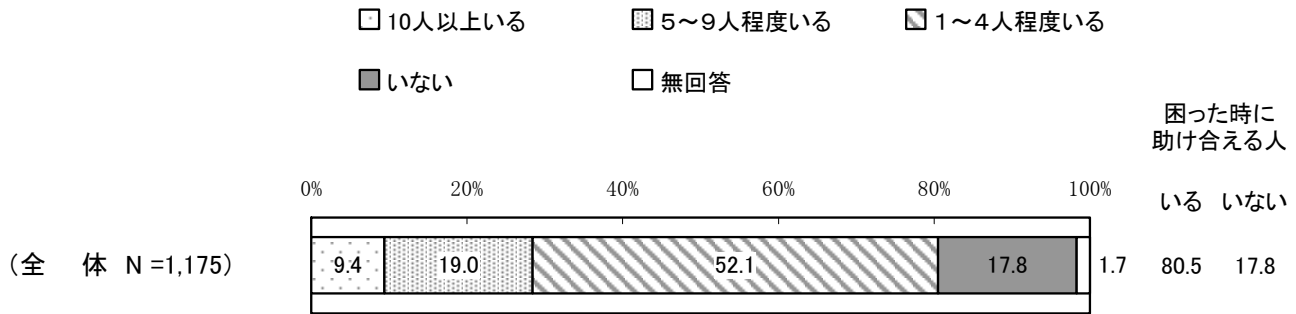
満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

3 『総合計画の指標に関する項目』について

問6 困ったときに助け合うことができる人が近所にいますか。(〇はひとつ)

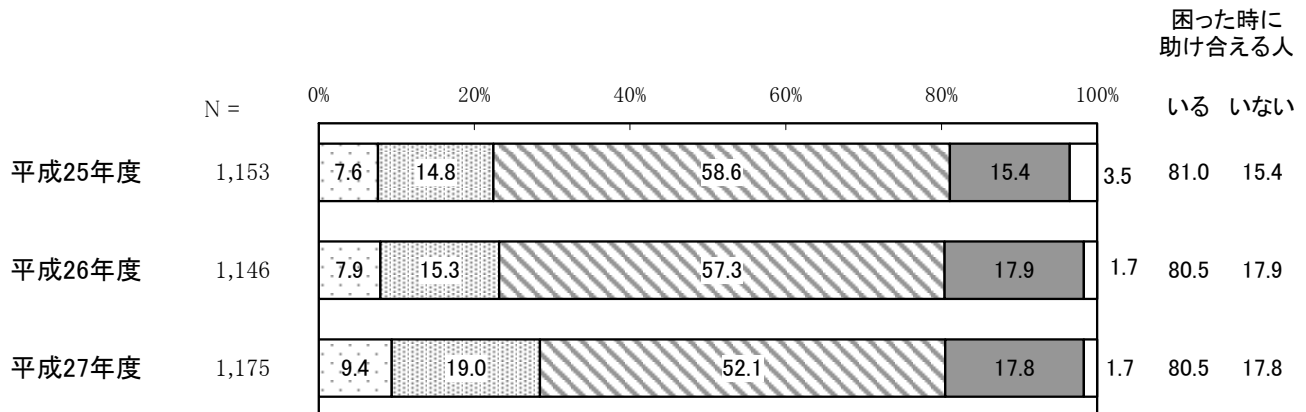
—困った時に助け合える人が“いる”人は80.5%—

「10人以上いる」(9.4%)、「5～9人程度いる」(19.0%)、「1～4人程度いる」(52.1%)を合わせた“いる”は80.5%、「いない」の割合が17.8%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、困った時に助け合える人が“いる”人は8割を超えています。

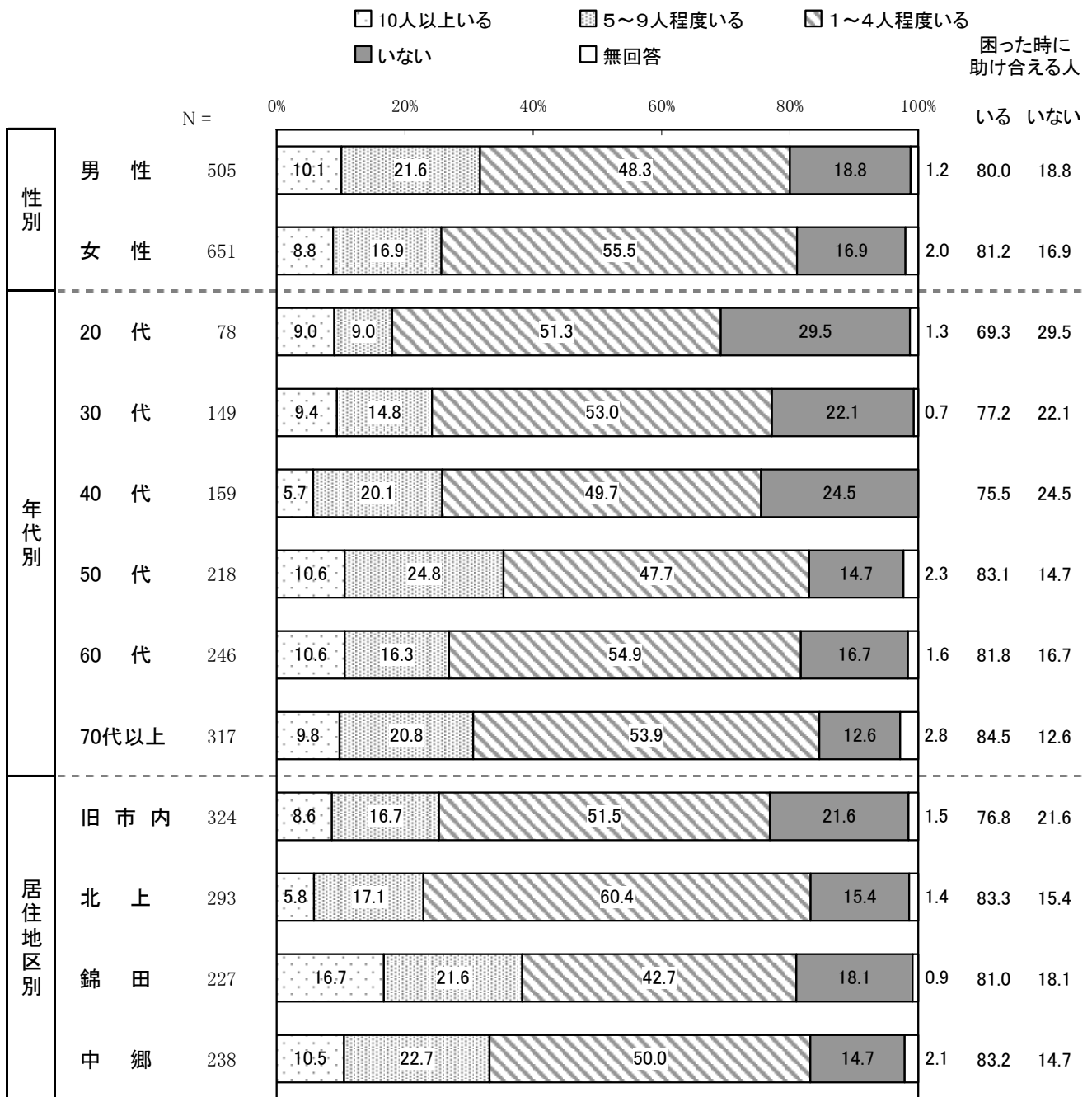


【属性別比較】

性別でみると、困った時に助け合える人が“いる”（男性 80.0%、女性 81.2%）で、男性・女性とも約8割となっています。「1～4人程度いる」は、女性（55.5%）が、男性（48.3%）より高くなっています。

年代別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、70代以上（84.5%）が最も高くなっています。一方、困った時に助け合える人が“いない”は、20代（29.5%）が高くなっています。また、「5～9人程度いる」は、50代（24.8%）で約2割半ばと高くなっています。

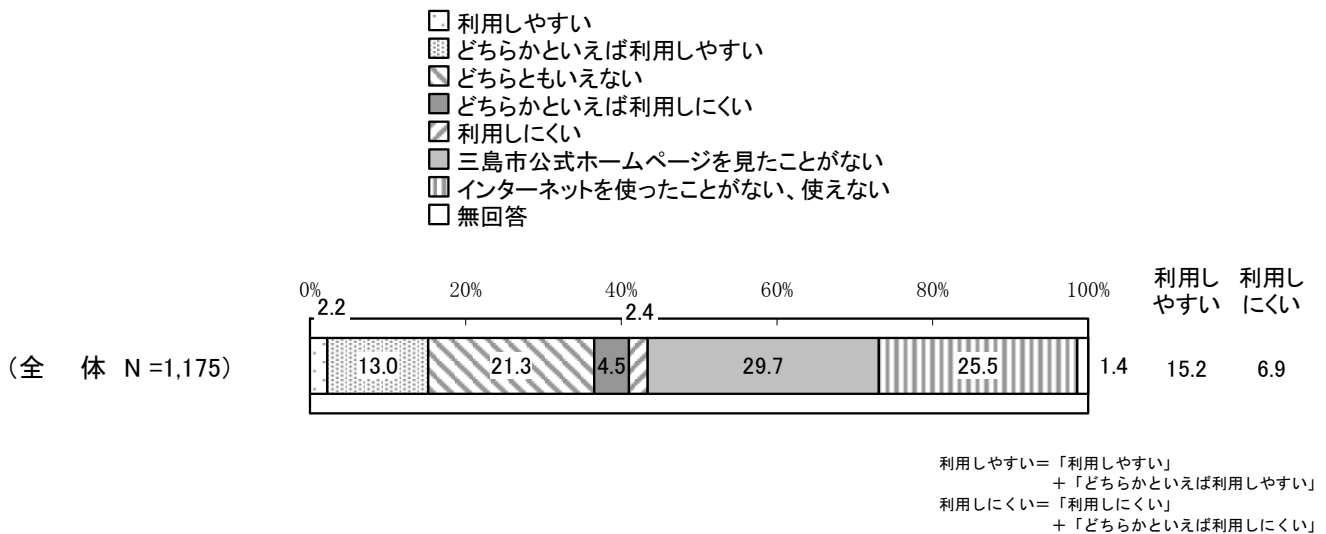
居住地区別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、北上（83.3%）が高く、次いで中郷（83.2%）となっています。「10人以上いる」は、錦田（16.7%）が高くなっています。



問7 三島市公式ホームページは利用しやすいですか。(○はひとつ)

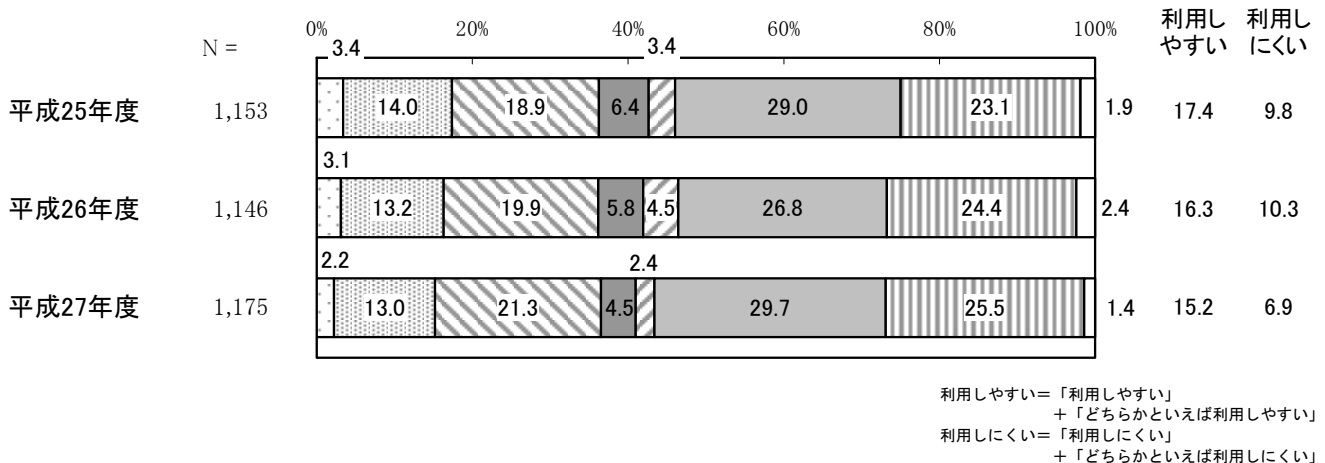
—三島市の公式ホームページの“利用者”は43.4%、“利用しやすい”は15.2%—

「三島市公式ホームページを見たことがない」の割合が29.7%と最も高く、次いで「インターネットを使ったことがない、使えない」の割合が25.5%、「どちらともいえない」の割合が21.3%となっています。「利用しやすい」(2.2%)、「どちらかといえば利用しやすい」(13.0%)を合わせた“利用しやすい”は15.2%となっています。「どちらかといえば利用しにくい」(4.5%)、「利用しにくい」(2.4%)と合わせた“利用しにくい”は6.9%となっています。これらを合わせた“利用者”は43.4%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、三島市の公式ホームページの“利用者”の割合はやや減少しました。

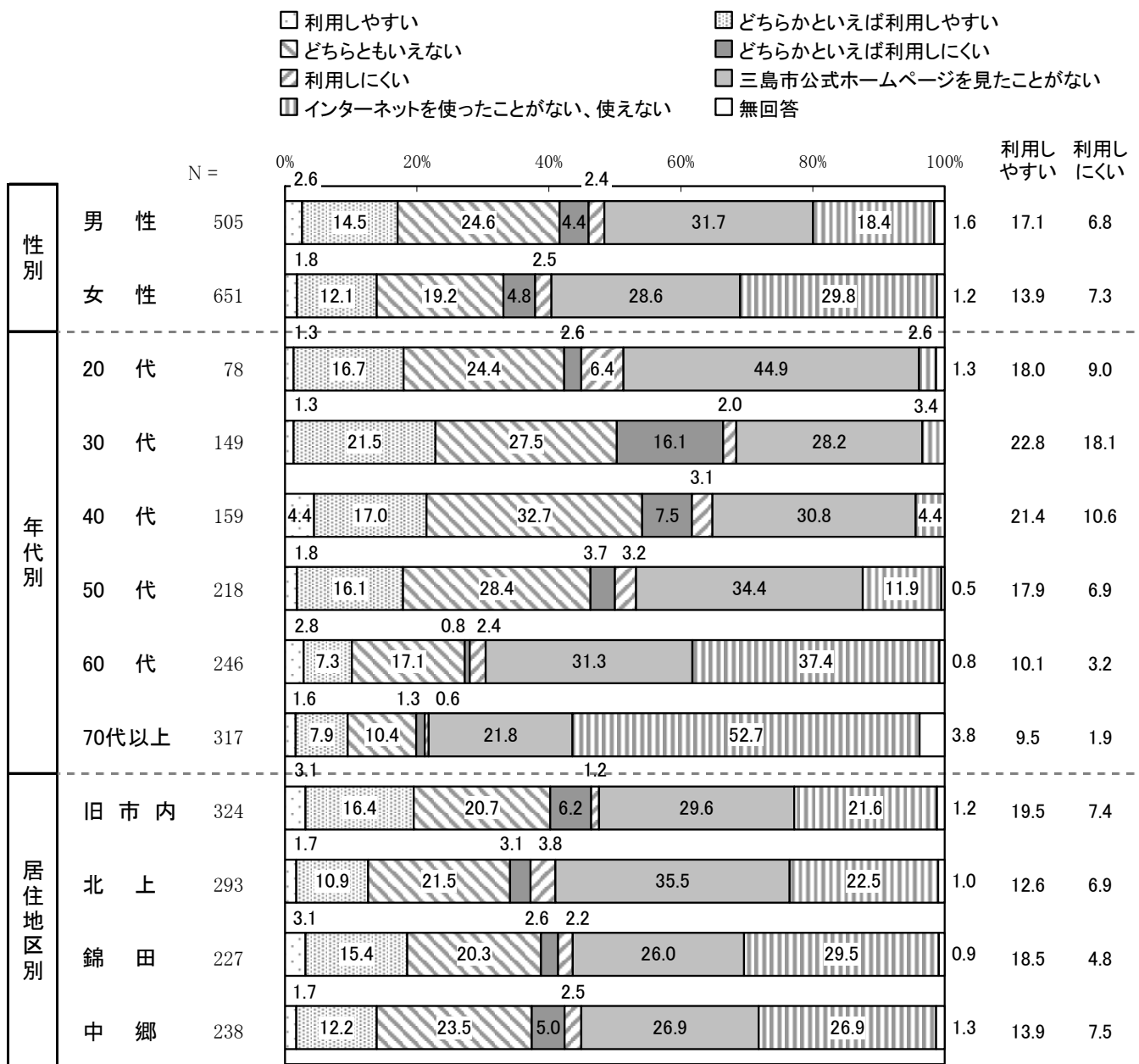


【属性別比較】

性別でみると、“利用しやすい”は男性（17.1%）が、女性（13.9%）より高くなっています。また、「インターネットを使ったことがない、使えない」は、女性（29.8%）が、男性（18.4%）より高くなっています。

年代別でみると、“利用しやすい”は、30代（22.8%）で最も高く、年代が上がるにつれ低くなり、70代以上（9.5%）では1割未満となっています。「三島市公式ホームページを見たことがない」は、20代（44.9%）で4割超えとなっています。また、「インターネットを使ったことがない、使えない」は、年代が上がるにつれて高くなっており、70代以上（52.7%）では5割を超えています。

居住地区別でみると、“利用しやすい”は、旧市内（19.5%）で高くなっています。一方、「利用しにくい」は、中郷（7.5%）が高くなっています。



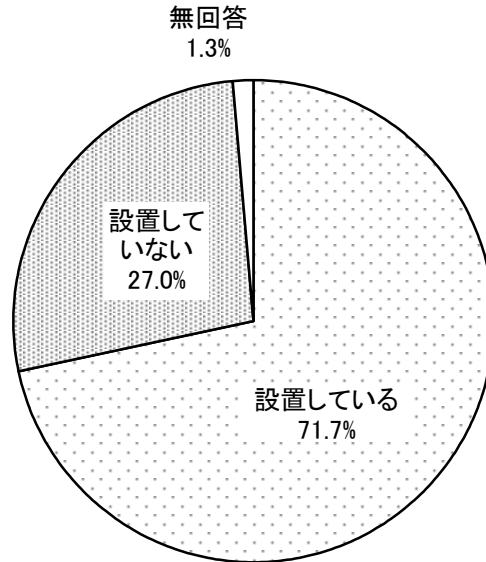
利用しやすい=「利用しやすい」
+「どちらかといえば利用しやすい」
利用しにくい=「利用しにくい」
+「どちらかといえば利用しにくい」

問 8 住宅用火災警報器を設置していますか。(〇はひとつ)

—住宅用火災警報器を「設置している」のは71.7%—

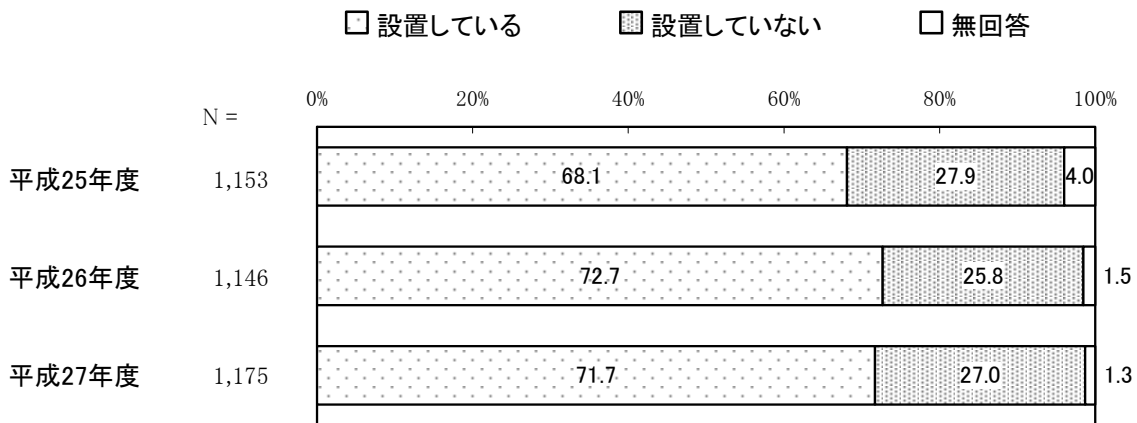
「設置している」の割合が71.7%、「設置していない」の割合が27.0%となっています。

(N = 1,175)



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

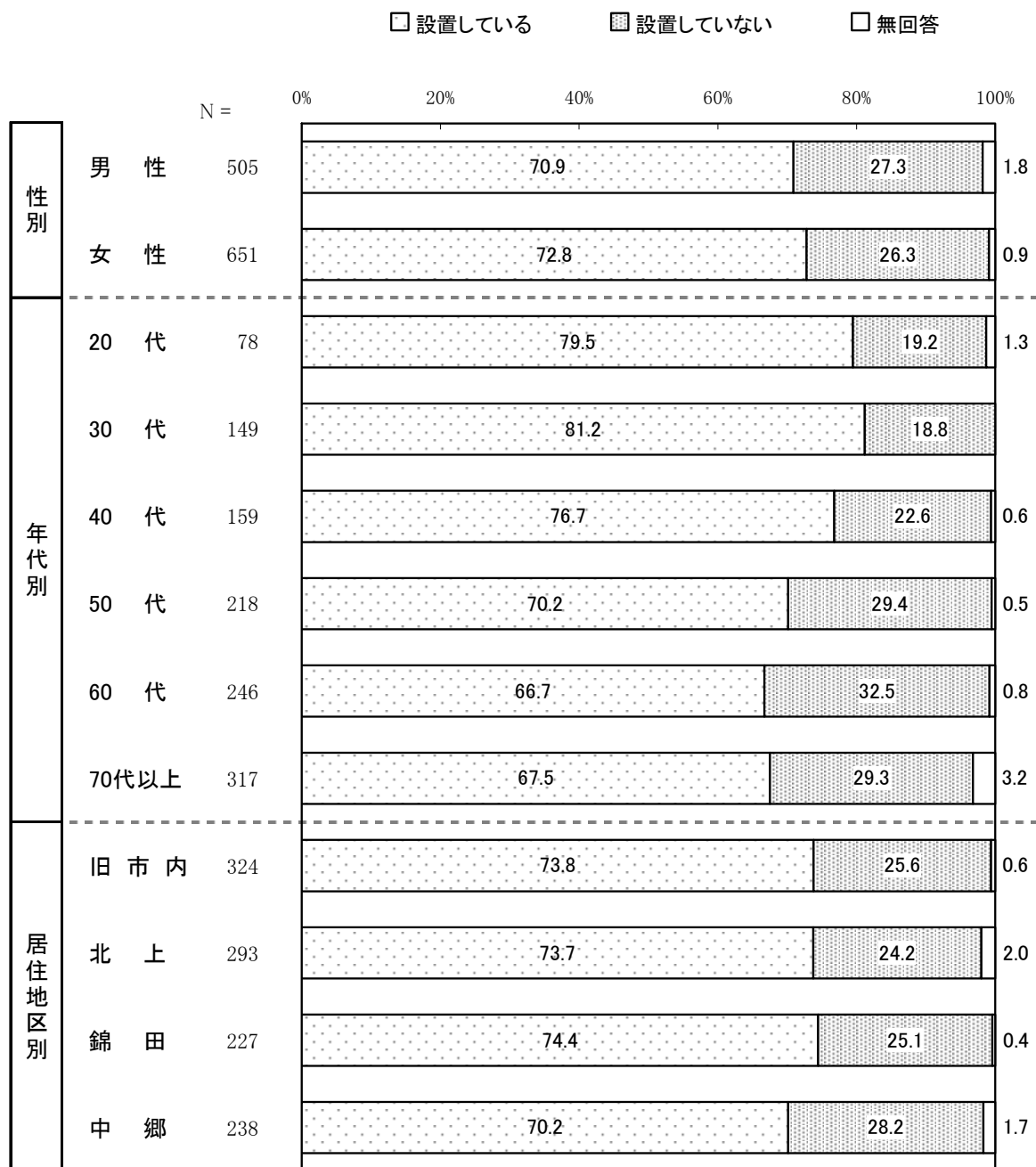


【属性別比較】

性別でみると、「設置している」（男性 70.9%、女性 72.8%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割を超えています。

年代別でみると、「設置している」は、30代（81.2%）が高くなっています。

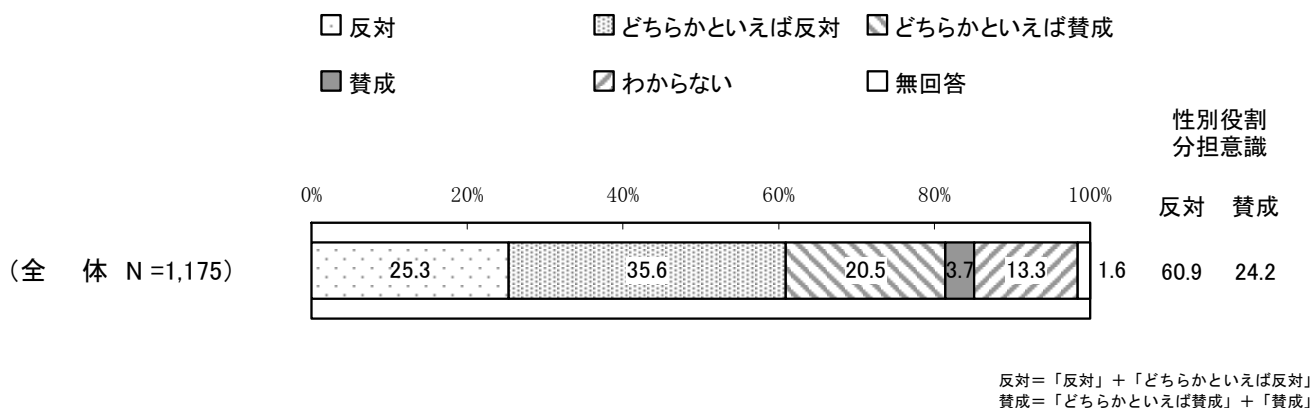
居住地区別でみると、「設置している」は、錦田（74.4%）で最も高くなっています。一方、「設置していない」は、中郷（28.2%）で高くなっています。



問9 「男性は仕事、女性は家庭」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

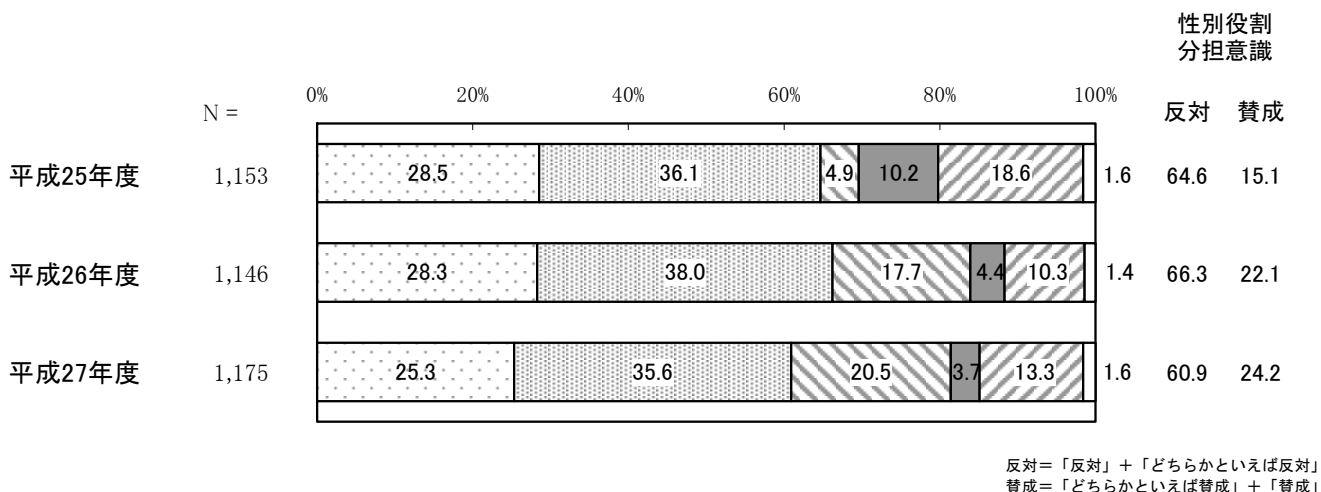
—性別役割分担意識に、反対は60.9%—

「反対」(25.3%)と「どちらかといえば反対」(35.6%)を合わせた“反対”は60.9%、「どちらかといえば賛成」(20.5%)と「賛成」(3.7%)を合わせた“賛成”は24.2%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、“反対”が減少しており、約6割となっています。

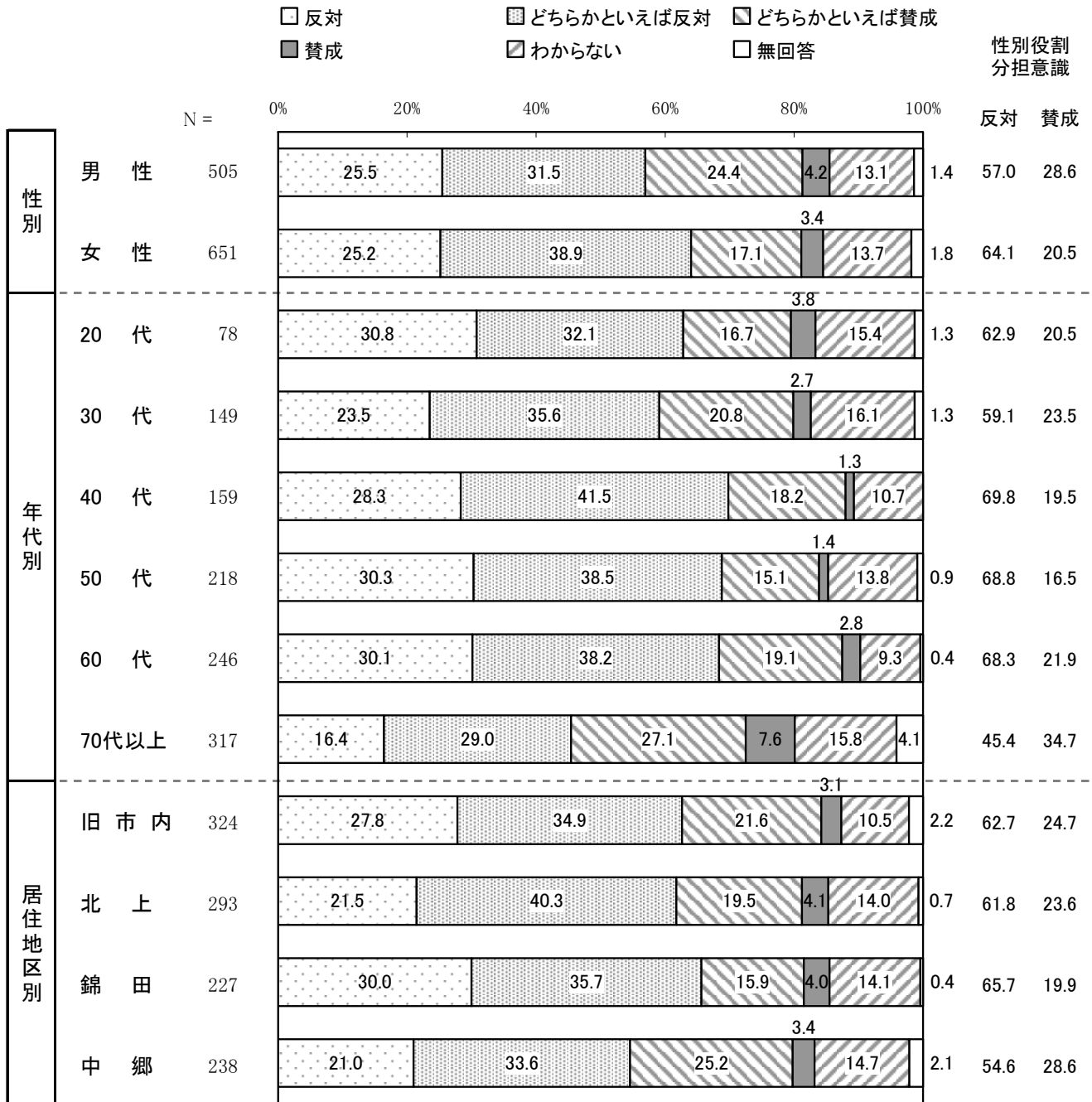


【属性別比較】

性別でみると、“反対”は、女性（64.1%）が、男性（57.0%）より高くなっています。

年代別でみると、“反対”は40代（69.8%）が最も高くなっており、70代以上（45.4%）で最も低くなっています。

居住地区別でみると、“反対”は、錦田（65.7%）が最も高く、次いで旧市内（62.7%）となっています。

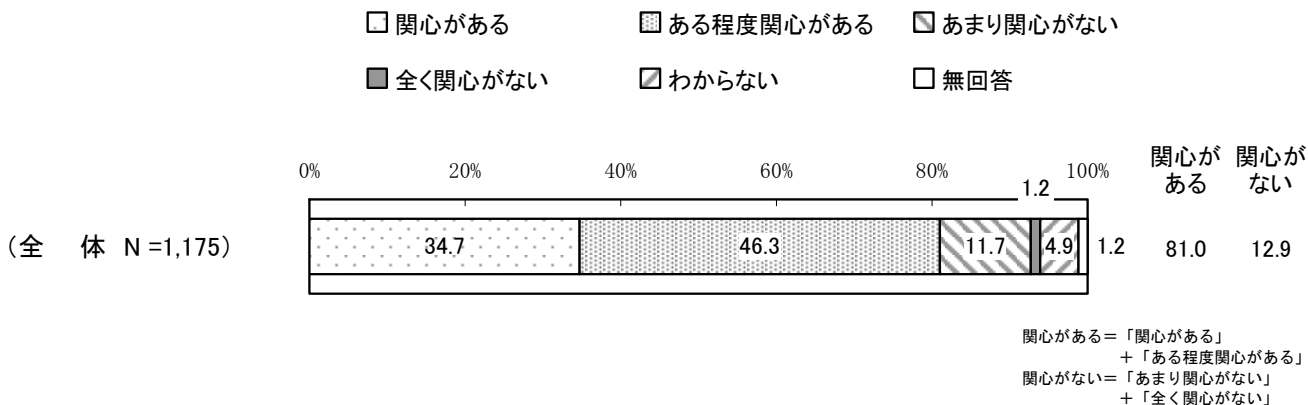


反対 = 「反対」 + 「どちらかといえば反対」
 賛成 = 「どちらかといえば賛成」 + 「賛成」

問 10 食育に関心がありますか。(○はひとつ)

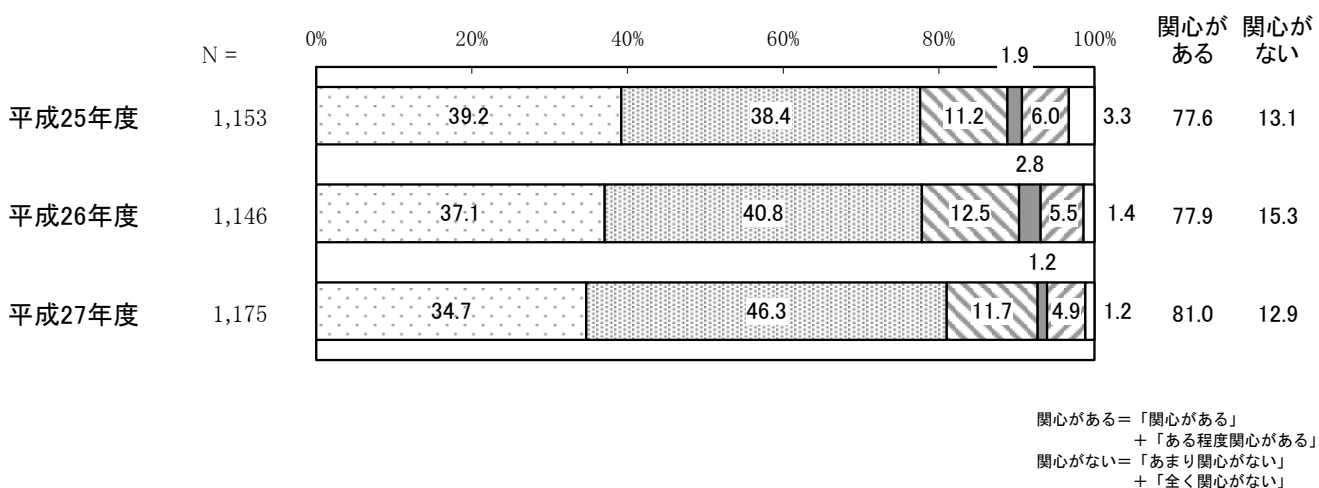
—食育に“関心がある”のは81.0%—

「関心がある」(34.7%)と「ある程度関心がある」(46.3%)を合わせた“関心がある”は81.0%となっています。一方「あまり関心がない」(11.7%)と「全く関心がない」(1.2%)を合わせた“関心がない”は12.9%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、“関心がある” (81.0%) は増加傾向となっており、8割を超えています。

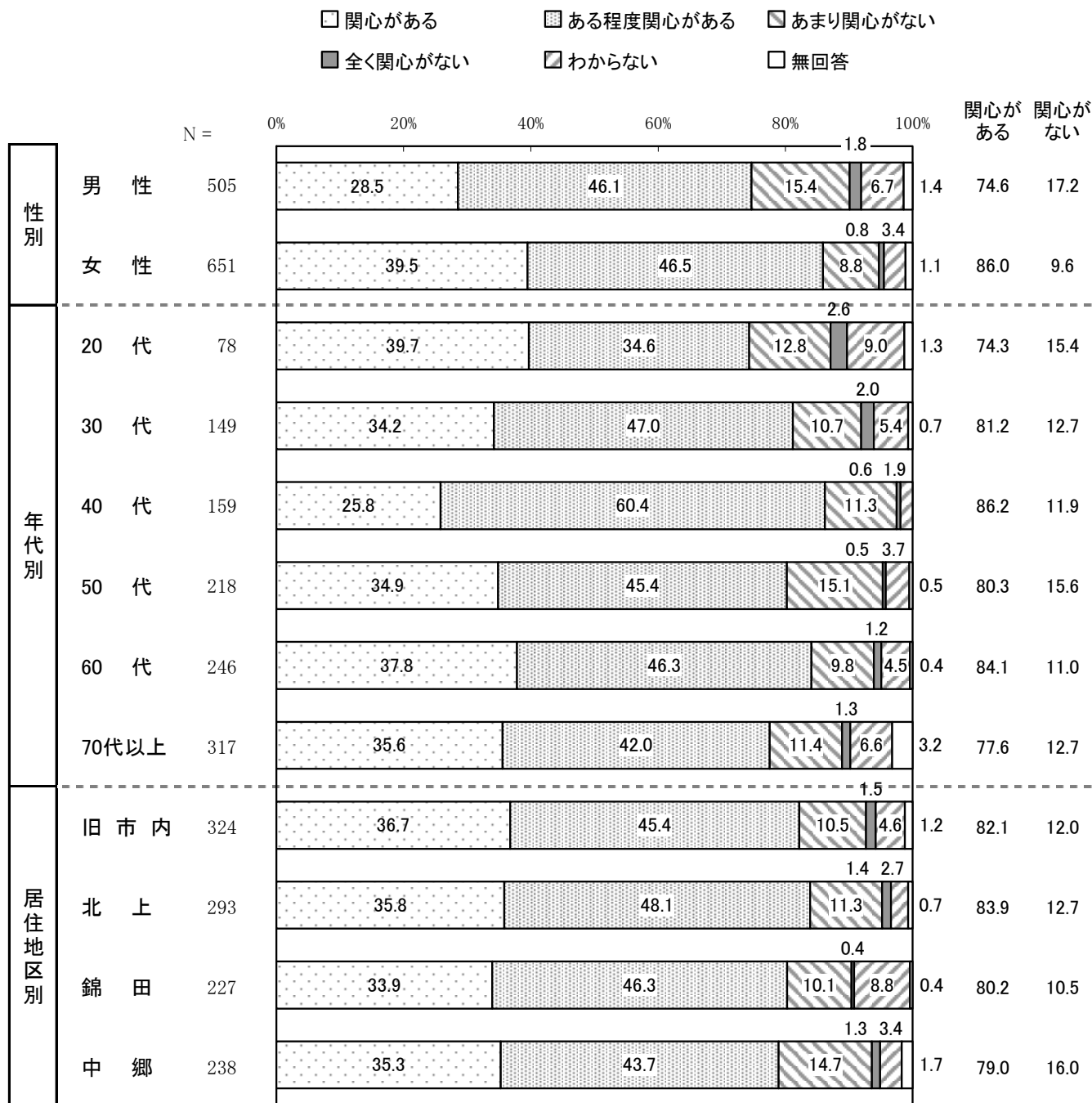


【属性別比較】

性別でみると、食育に“関心がある”は、女性（86.0%）が、男性（74.6%）より高くなっています。「関心がある」でも同様の傾向を示し、女性（39.5%）が、男性（28.5%）より高くなっています。

年代別でみると、食育に“関心がある”は、40代（86.2%）が高く、一方、20代（74.3%）は7割超にとどまっています。また「ある程度関心がある」は、40代（60.4%）で6割超えと高くなっています。

居住地区別でみると、食育に“関心がある”は、北上（83.9%）が最も高くなっています。



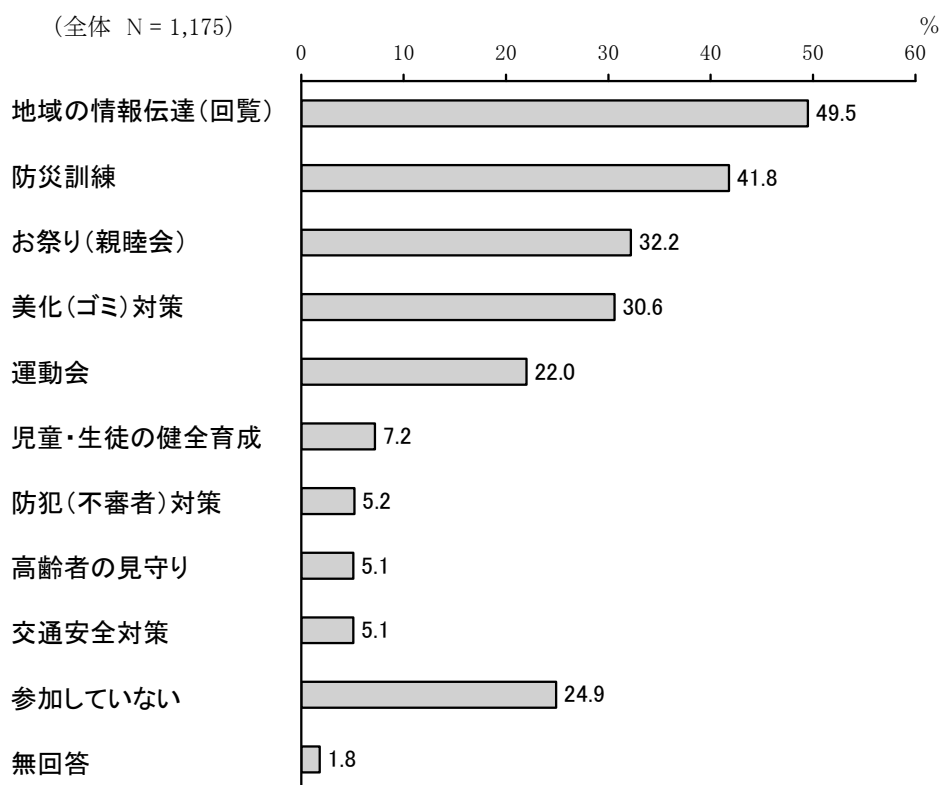
関心がある = 「関心がある」 + 「ある程度関心がある」
 関心がない = 「あまり関心がない」 + 「全く関心がない」

4 自治会・町内会について

問11 あなたは自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか。
(〇はいくつでも)

—自治会・町内会の活動に“参加している”のは73.3%—

「地域の情報伝達(回覧)」の割合が49.5%と最も高く、次いで「防災訓練」の割合が41.8%、「お祭り(親睦会)」の割合が32.2%となっています。また、「参加していない」(24.9%)と無回答(1.8%)を除いた“自治会・町内会の活動に参加している”は73.3%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「地域の情報伝達（回覧）」（男性 45.3%、女性 53.3%）が最も高くなっています。また、「防災訓練」（男性 45.1%、女性 38.6%）が2位となっています。

年代別でみると、30代から60代で「地域の情報伝達（回覧）」が最も高くなっています。また、20代で「参加していない」（57.7%）、70代以上で「防災訓練」（45.1%）が最も高くなっています。

居住地区別でみると、錦田地区を除く地区で「地域の情報伝達（回覧）」が最も高くなっています。また、「防災訓練」は、錦田（52.9%）が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	防災訓練	高齢者の見守り	防犯(不審者)対策	児童・生徒の健全育成	お祭り(親睦会)	運動会	美化(ゴミ)対策	交通安全対策	地域の情報伝達(回覧)	参加していない	無回答
性別	男性	505	45.1	5.3	6.9	6.9	32.7	23.4	29.3	6.1	45.3	25.1	1.6
	女性	651	38.6	5.1	3.5	7.5	31.5	20.9	31.5	4.1	53.3	24.9	2.0
年代別	20代	78	14.1	1.3	2.6	0.0	14.1	12.8	9.0	1.3	23.1	57.7	2.6
	30代	149	18.8	4.0	1.3	10.1	32.9	28.9	21.5	6.0	48.3	31.5	0.7
	40代	159	39.6	1.3	3.8	13.8	37.1	27.7	27.7	5.0	49.7	29.6	0.0
	50代	218	51.4	5.0	6.4	7.3	34.9	20.2	33.5	2.3	58.7	17.0	0.5
	60代	246	53.3	6.1	6.1	4.9	34.6	22.0	35.8	4.1	60.2	15.9	1.2
	70代以上	317	45.1	7.6	6.6	6.3	29.7	19.6	35.3	8.2	42.3	24.3	4.1
居住地区別	旧市内	324	39.5	3.1	2.5	4.0	26.2	14.8	27.8	3.4	46.9	25.3	0.9
	北上	293	35.8	4.4	5.8	9.9	35.5	21.5	34.5	5.5	52.6	23.9	1.0
	錦田	227	52.9	7.0	6.6	7.0	32.2	19.8	28.6	3.1	52.0	26.0	1.3
	中郷	238	41.6	7.1	5.9	8.8	37.0	34.9	30.7	8.0	49.2	23.9	3.4

1位

2位

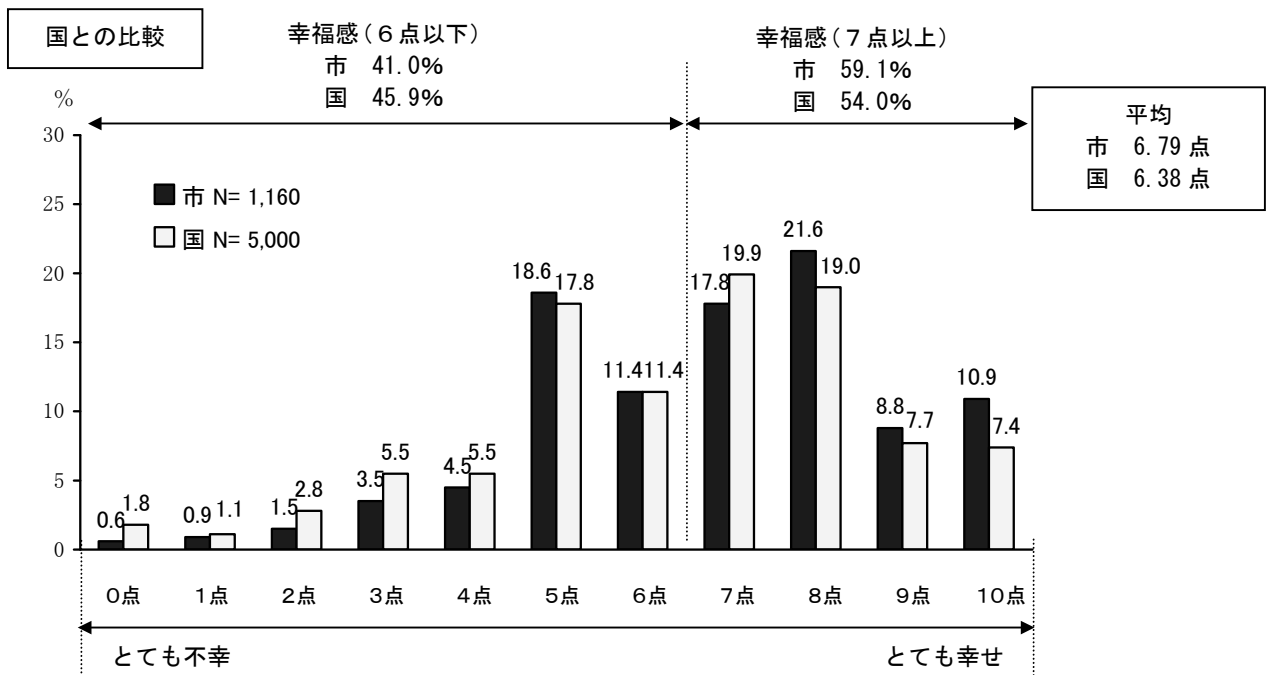
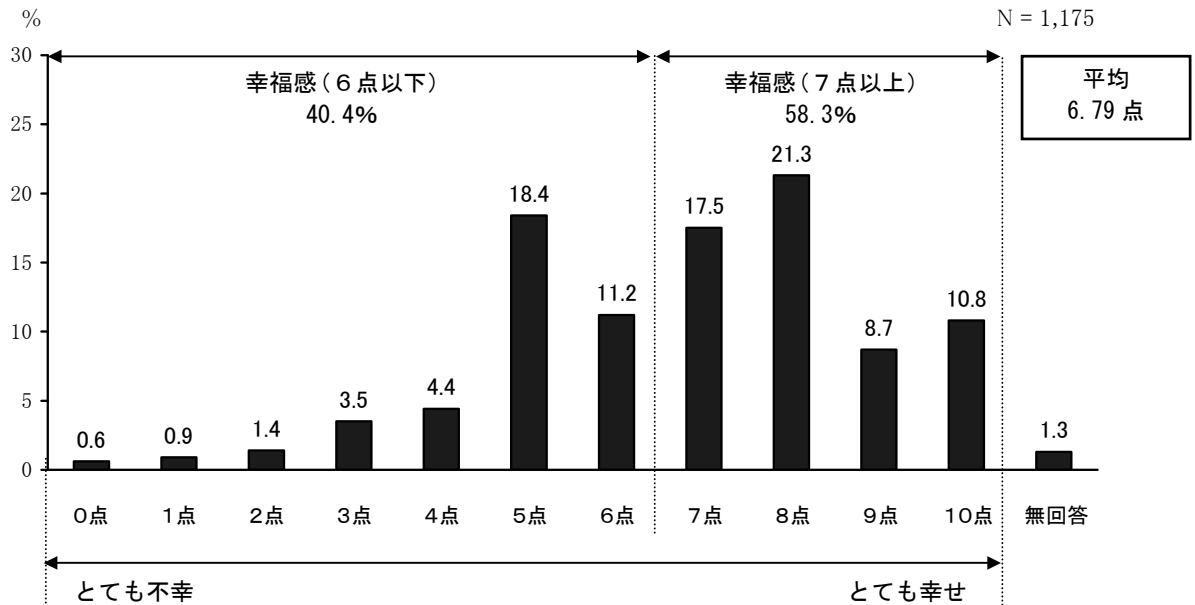
3位

5 ご自身の『幸福度と健康づくり』について

問12 現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。

—現在の幸福度の平均は6.79点、平均以上は58.3%—

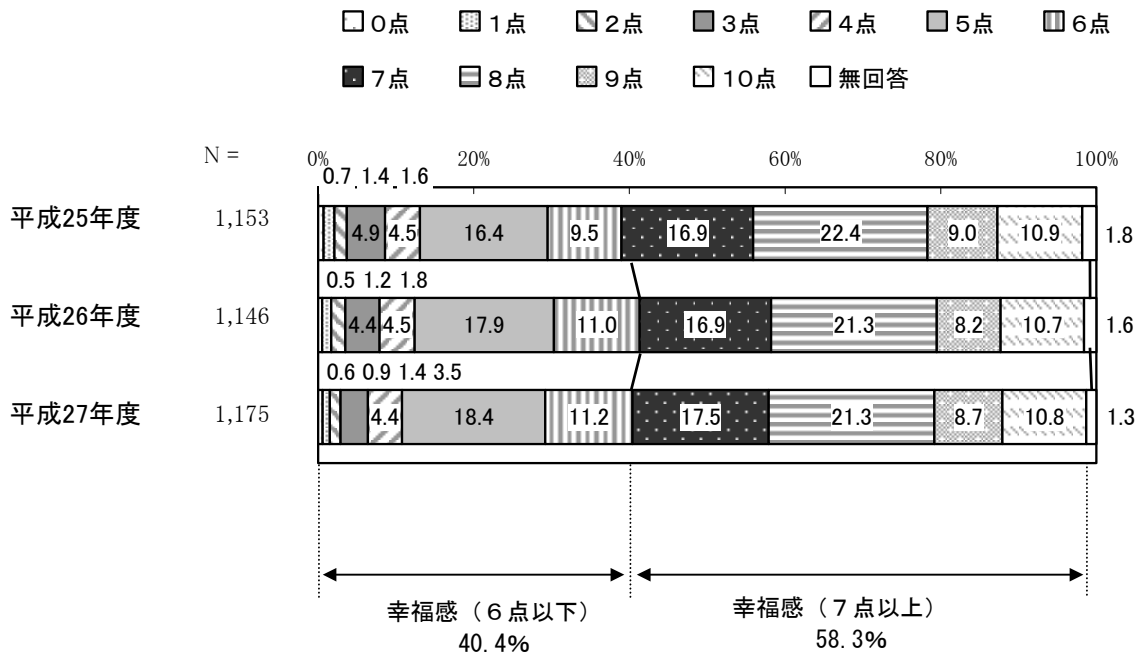
「8点」の割合が21.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.4%、「7点」の割合が17.5%となっています。平均は6.79点で、平均以上の“幸福感（7点以上）”（58.3%）は約6割となっています。



※国 厚生労働省「健康意識に関する調査」平成26年2月実施
※国の調査と比較するため比率については無回答を除き再集計しています。

【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



単位：%

区分	有効回答数 (件)	幸福感		無回答	平均 (点)
		6点以下	7点以上		
平成 25 年度	1,153	39.0	59.2	1.8	6.76
平成 26 年度	1,146	41.3	57.1	1.6	6.72
平成 27 年度	1,175	40.4	58.3	1.3	6.79

【属性別比較】

性別でみると、“幸福感（7点以上）”は、女性（61.2%）が、男性（55.0%）より高くなっています。

年代別でみると、“幸福感（7点以上）”は、30代（61.1%）で最も高くなっています。一方、20代（52.6%）で低くなっています。

居住地区別でみると、“幸福感（7点以上）”は、北上（61.4%）で最も高く、錦田（53.3%）で低くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
性別	男性	505	0.2	0.8	1.4	4.2	4.6	19.8	12.7	18.8	21.0	7.7	7.5	1.4
	女性	651	0.9	0.9	1.5	2.9	4.5	16.9	10.1	17.1	21.5	9.5	13.1	1.1
年代別	20代	78	1.3	2.6	2.6	3.8	5.1	12.8	17.9	20.5	16.7	6.4	9.0	1.3
	30代	149	0.7	0.7	2.0	6.0	3.4	12.8	13.4	20.1	22.8	8.1	10.1	0.0
	40代	159	0.6	0.6	3.1	3.1	5.0	18.2	10.1	18.9	21.4	9.4	9.4	0.0
	50代	218	0.5	1.4	0.5	5.0	5.5	18.8	8.7	21.6	19.7	9.2	8.7	0.5
	60代	246	0.4	0.8	1.2	2.8	4.9	21.1	8.9	18.3	25.2	8.1	8.1	0.0
	70代以上	317	0.6	0.3	0.9	1.9	3.5	20.2	12.3	11.7	20.2	8.5	15.8	4.1
居住地区別	旧市内	324	0.6	1.2	2.5	1.5	3.4	18.5	10.5	13.9	25.6	11.1	9.6	1.5
	北上	293	0.7	0.3	0.7	4.8	4.1	14.3	12.3	19.1	22.5	8.2	11.6	1.4
	錦田	227	0.4	0.4	1.8	5.3	4.0	22.0	11.9	18.5	16.3	6.6	11.9	0.9
	中郷	238	0.4	1.3	1.3	2.9	5.9	18.1	10.9	18.9	21.0	8.4	10.1	0.8

1位

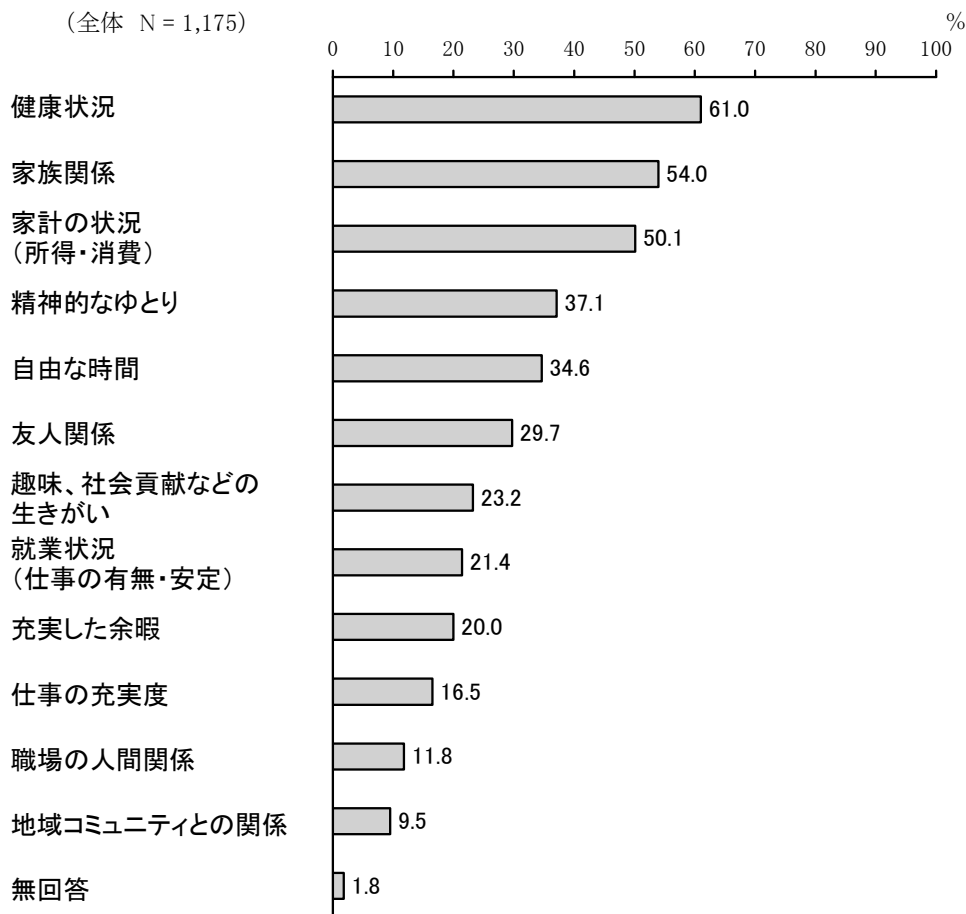
2位

3位

問 13 問 12 で、幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。(〇はいくつでも)

—幸福感を判断する際に重視するのは「健康状況」「家族関係」—

「健康状況」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「家族関係」の割合が 54.0%、「家計の状況(所得・消費)」の割合が 50.1%となっています。



【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、「健康状況」「家族関係」「家計の状況」「精神的なゆとり」「自由な時間」の順位に変化はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家計の状況(所得・消費)	就業状況(仕事の有無・安定)	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの生きがい	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの関係	無回答
平成 25 年度	1,153	50.9	25.5	60.4	28.5	22.2	13.9	42.4	21.4	57.0	30.4	10.2	8.2	2.3
平成 26 年度	1,146	50.7	27.0	60.7	29.7	21.8	15.3	44.2	21.1	58.6	28.1	10.5	7.7	1.7
平成 27 年度	1,175	50.1	21.4	61.0	34.6	20.0	16.5	37.1	23.2	54.0	29.7	11.8	9.5	1.8

1 位

2 位

3 位

【属性別比較】

性別でみると、「健康状況」（男性 58.6%、女性 63.7%）が最も高くなっています。また、男性では「家計の状況（所得・消費）」（50.3%）が2位であるのに対し、女性は「家族関係」（57.6%）が2位となっています。

年代別でみると、「健康状況」は、40代以上で6割を超え、高くなっており、「家族関係」は30代以上で5割を超え、高くなっています。20代は「家族関係」と「精神的なゆとり」を最も重視しています。

居住地区別でみると、中郷地区を除く地区で「健康状況」が最も高くなっています。また、「家族関係」は、中郷（58.8%）が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数（件）	家計の状況 （所得・消費）	就業状況 （仕事の有無・安定）	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの 生きがい	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティ との関係	無回答
性別	男性	505	50.3	25.1	58.6	33.5	21.4	20.0	33.7	25.3	48.7	22.8	12.3	9.1	1.2
	女性	651	50.4	19.2	63.7	35.2	18.7	14.1	40.7	21.5	57.6	34.7	11.7	9.7	2.3
年代別	20代	78	42.3	32.1	44.9	41.0	30.8	25.6	48.7	26.9	48.7	30.8	19.2	3.8	2.6
	30代	149	49.0	26.8	47.0	32.2	22.1	23.5	37.6	18.1	57.0	32.9	16.8	6.7	0.7
	40代	159	64.8	37.1	63.5	34.6	17.6	22.6	39.6	19.5	56.6	27.0	22.0	6.9	0.6
	50代	218	60.1	31.2	66.1	26.6	19.7	22.0	42.2	28.4	56.4	25.2	14.2	13.8	0.5
	60代	246	53.7	19.9	63.8	38.6	19.9	16.7	37.4	24.4	50.4	28.5	9.8	9.3	1.6
	70代以上	317	35.3	2.8	64.7	36.0	17.4	3.8	29.0	22.1	52.7	32.8	2.5	10.7	3.8
居住地区別	旧市内	324	50.3	19.8	58.6	31.5	19.4	15.4	36.7	23.1	52.5	27.5	11.1	8.3	1.5
	北上	293	53.9	19.5	65.9	39.2	20.5	19.5	33.4	25.3	56.0	26.6	13.0	10.6	1.7
	錦田	227	50.7	23.3	63.9	35.2	21.6	15.9	43.6	19.8	49.8	30.4	11.5	9.7	0.9
	中郷	238	49.6	21.8	56.7	31.9	21.4	15.5	34.5	23.5	58.8	32.8	12.2	9.7	1.7

1位

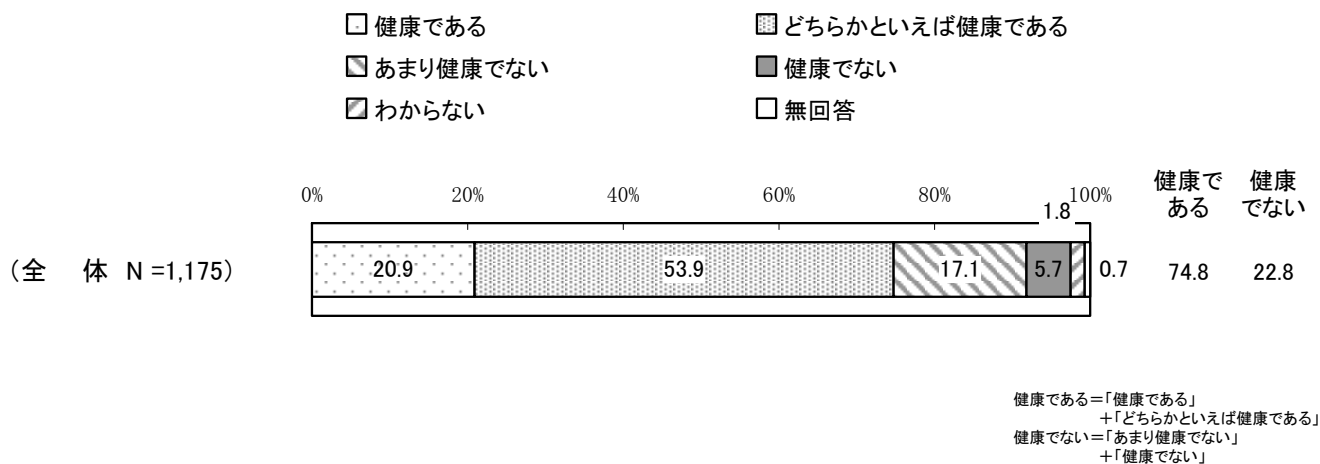
2位

3位

問 14 あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(〇はひとつ)

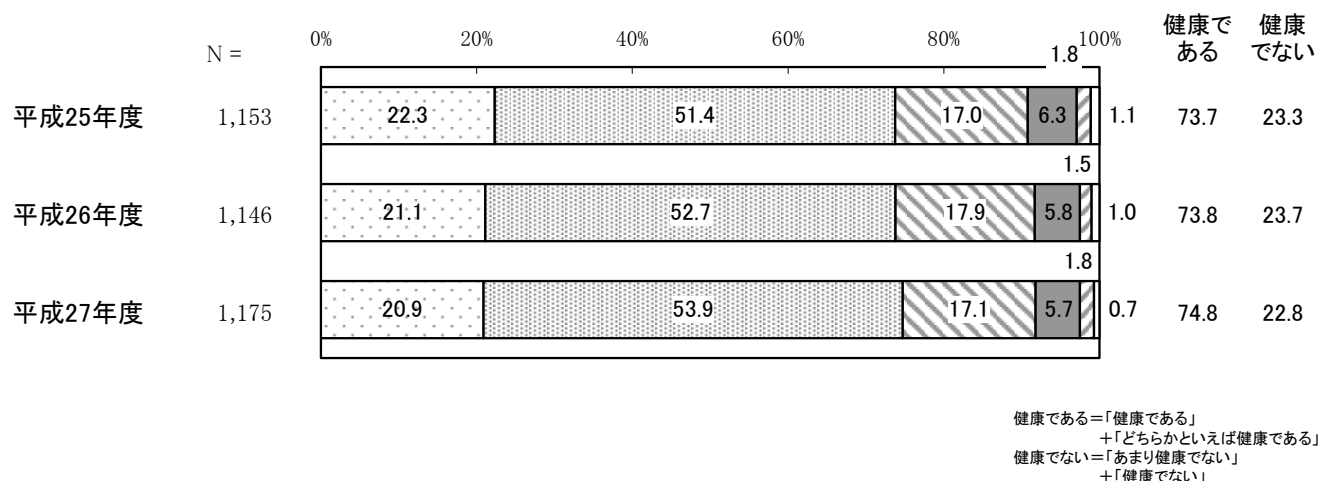
—現在健康であると感じている人は 74.8%—

「健康である」(20.9%)と「どちらかといえば健康である」(53.9%)を合わせた“健康である”は 74.8%となっています。一方「あまり健康でない」(17.1%)と「健康でない」(5.7%)を合わせた“健康でない”は 22.8%となっています。



【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“健康である”は 7 割を超えています。

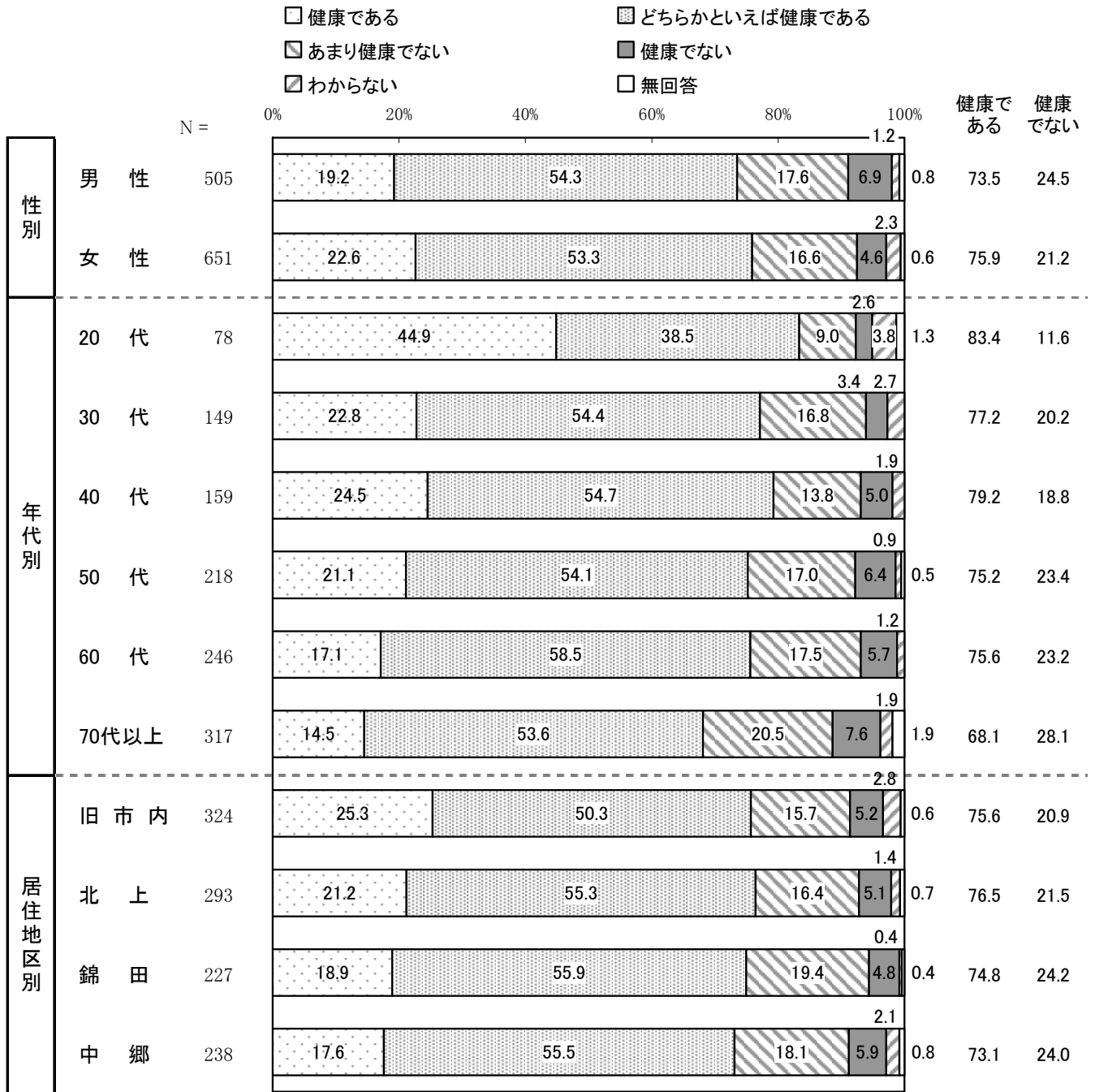


【属性別比較】

性別でみると、“健康である”（男性 73.5%、女性 75.9%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割を超えています。

年代別でみると、「健康である」は、年代が上がるにつれておおむね低くなっています。「どちらかといえば健康である」は、60代（58.5%）で約6割と高くなっています。また、“健康である”は70代以上（68.1%）で低くなっています。

居住地区別でみると、“健康である”は、北上（76.5%）が最も高く、次いで旧市内（75.6%）となっています。一方、“健康でない”は、錦田（24.2%）で最も高くなっています。

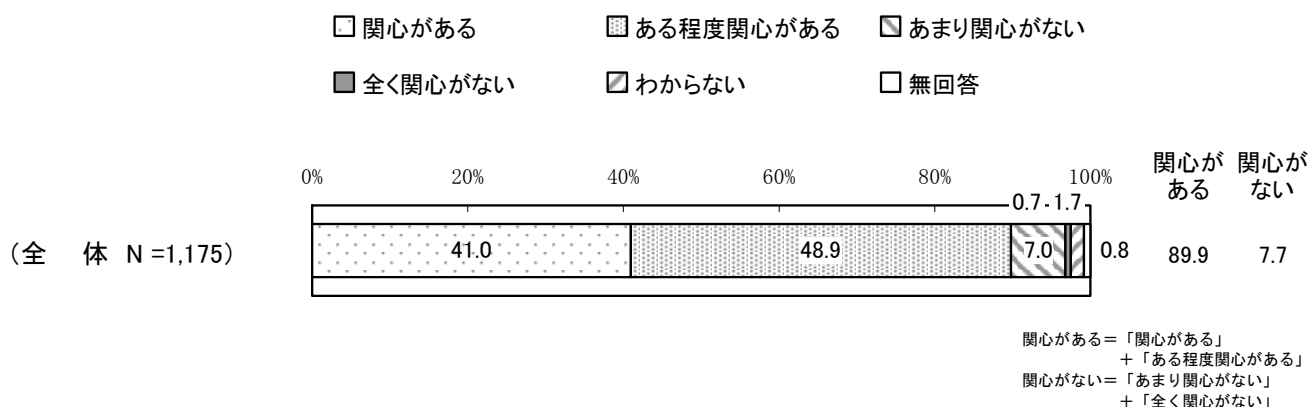


健康である＝「健康である」
 ＋「どちらかといえば健康である」
 健康でない＝「あまり健康でない」
 ＋「健康でない」

問 15 あなたは、健康づくりに関心がありますか。(〇はひとつ)

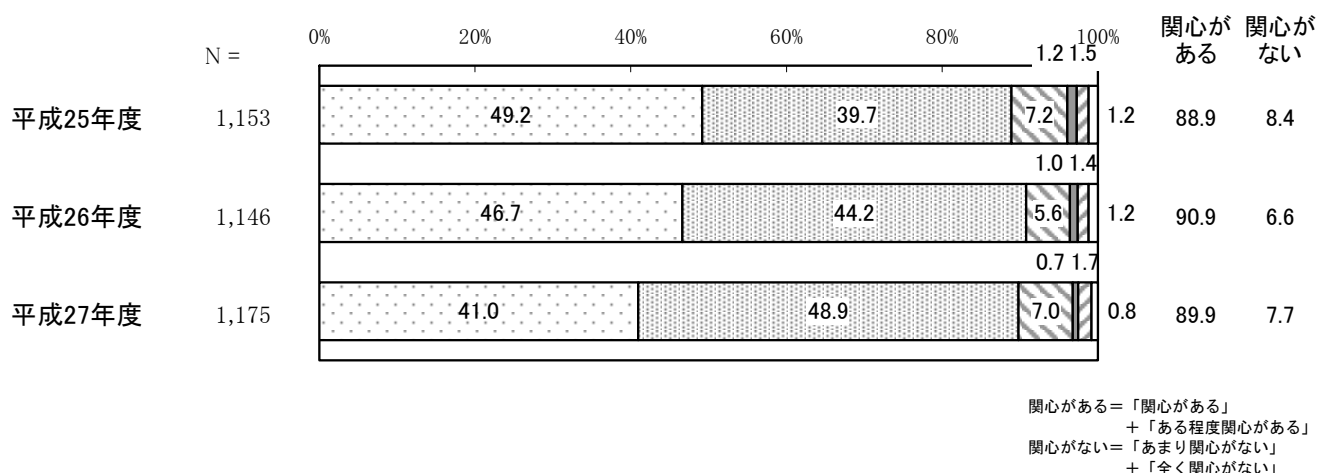
—健康づくりに“関心がある”のは89.9%—

「ある程度関心がある」(48.9%)が最も高く、「関心がある」(41.0%)を合わせた“関心がある”は89.9%となっています。一方「あまり関心がない」(7.0%)と「全く関心がない」(0.7%)を合わせた“関心がない”は7.7%となっています。



【時系列比較】

平成25年度調査、平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“関心がある”割合は約9割を占めています。

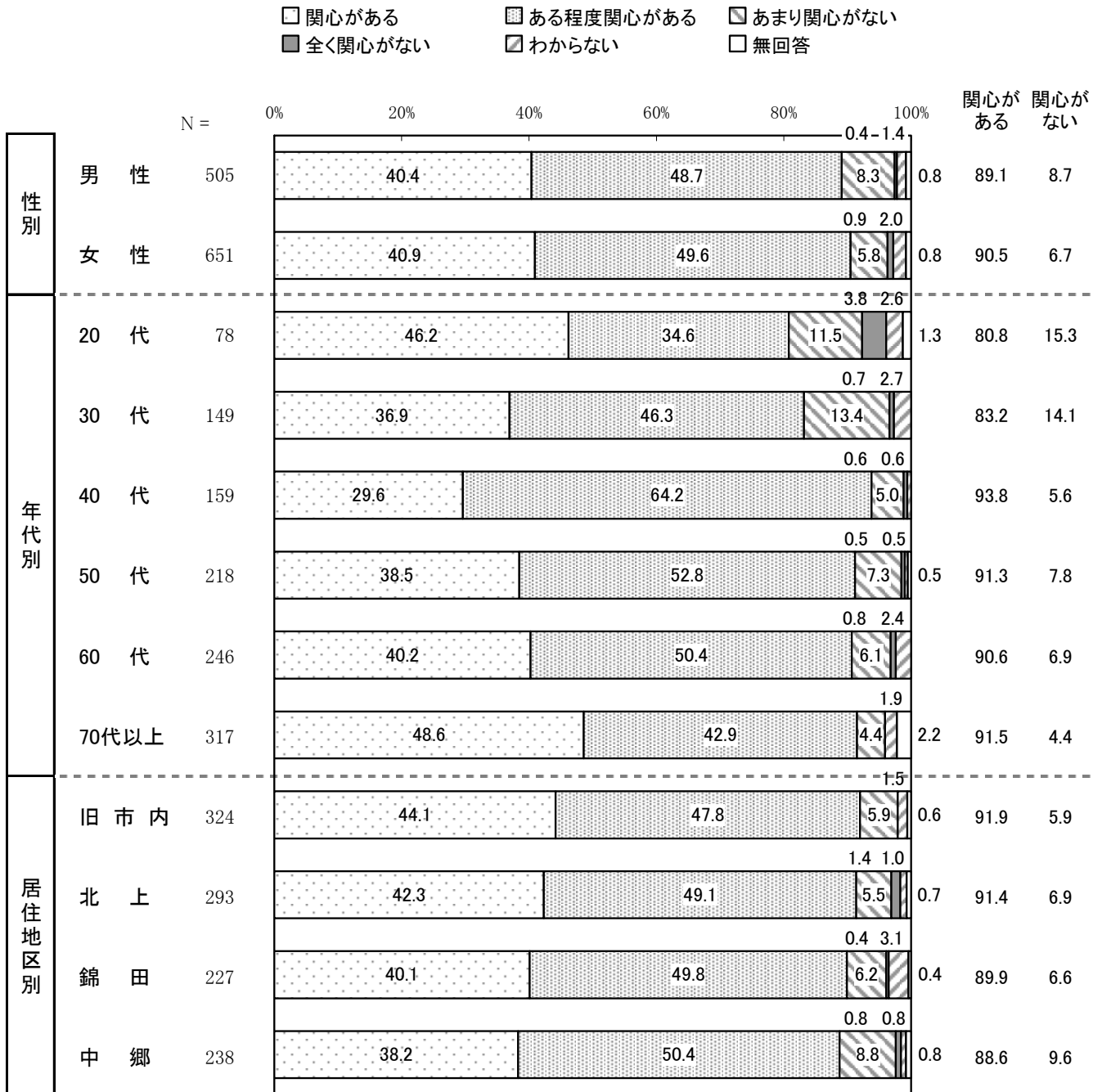


【属性別比較】

性別でみると、“関心がある”（男性 89.1%、女性 90.5%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性ともおよそ9割となっています。

年代別でみると、「関心がある」は、70代以上（48.6%）が約5割と最も高く、“関心がない”は、20代（15.3%）で1割半ばと、高くなっています。

居住地区別でみると、“関心がある”は、旧市内（91.9%）が最も高いですが、居住地区による差はみられません。



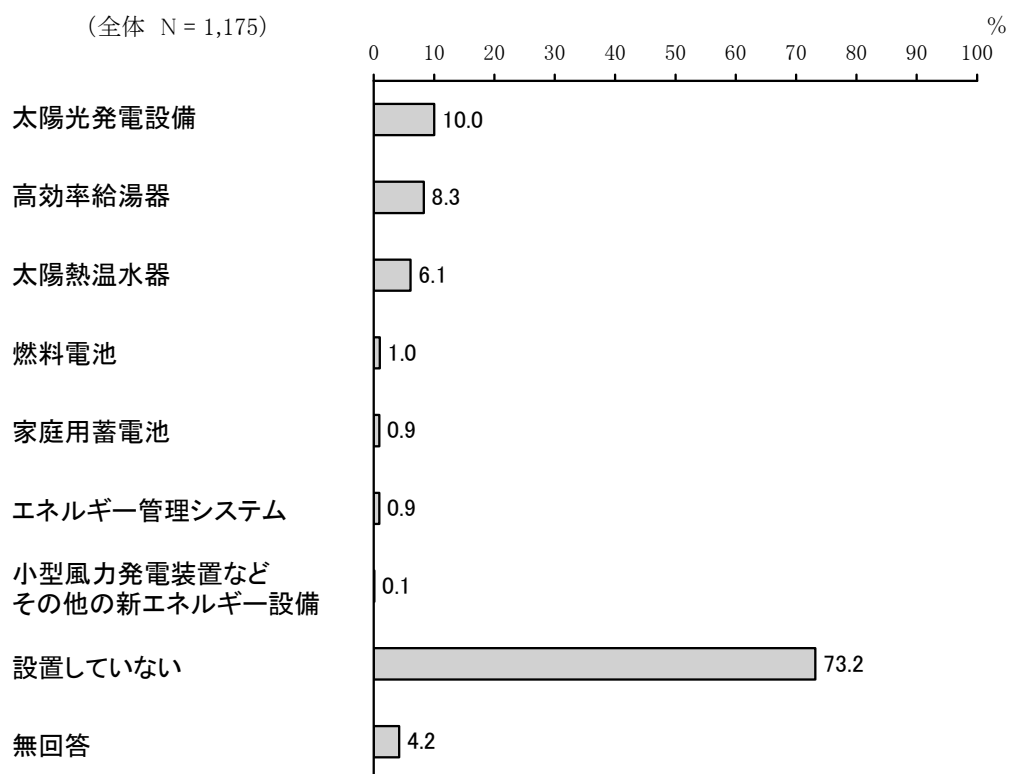
関心がある = 「関心がある」 + 「ある程度関心がある」
 関心がない = 「あまり関心がない」 + 「全く関心がない」

6 新エネルギー・省エネルギー設備について

問 16 あなたがお住まいの住宅に新エネルギー・省エネルギー設備は設置されていますか。(〇はいくつでも)

—新エネルギー・省エネルギー設備設置率は 22.6%—

「設置していない」の割合が 73.2%と最も高く、次いで「太陽光発電設備」の割合が 10.0%となっています。「設置していない」(73.2%)と「無回答」(4.2%)を除いた“新エネルギー・省エネルギー設備を設置している”は、22.6%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「設置していない」（男性 73.7%、女性 72.8%）が最も高くなっています。また、「太陽光発電設備」（男性 9.9%、女性 10.1%）が2位となっています。

年代別でみると、いずれの年代でも「設置していない」が最も高くなっています。次いで、20代から60代では「太陽光発電設備」が2位であるのに対し、70代以上で「太陽熱温水器」（6.6%）が2位となっています。

居住地区別でみると、いずれの居住地区でも「設置していない」が最も高く、7割台となっています。次いで、「太陽光発電設備」が高く、約1割となっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	太陽光 発電設備	太陽熱 温水器	高効率 給湯器	家庭用 蓄電池	燃料電池	エネルギー 管理システム	小型風力発電装置など 他の新エネルギー設備	設置 していない	無 回答
性別	男性	505	9.9	5.9	8.5	1.2	1.0	0.6	0.0	73.7	3.4
	女性	651	10.1	6.1	8.1	0.8	1.1	1.1	0.2	72.8	4.8
年代別	20代	78	11.5	5.1	6.4	2.6	0.0	3.8	0.0	78.2	0.0
	30代	149	16.1	2.7	11.4	0.7	1.3	2.0	0.0	71.1	0.0
	40代	159	11.9	3.1	11.3	1.9	1.9	0.6	0.6	72.3	3.1
	50代	218	9.6	8.3	7.3	0.5	1.4	0.5	0.0	76.1	1.8
	60代	246	11.0	8.1	9.3	0.4	0.4	0.8	0.0	70.7	4.5
	70代以上	317	5.4	6.6	5.0	0.9	0.6	0.0	0.0	74.1	8.5
居住地区別	旧市内	324	9.9	5.6	6.8	1.2	0.6	1.9	0.0	75.3	5.2
	北上	293	9.9	7.2	8.5	0.7	1.7	0.7	0.0	73.0	2.4
	錦田	227	11.5	7.0	11.5	0.9	0.9	0.4	0.0	70.9	1.8
	中郷	238	10.5	5.0	7.1	0.0	1.3	0.4	0.4	73.5	4.2

1位

2位

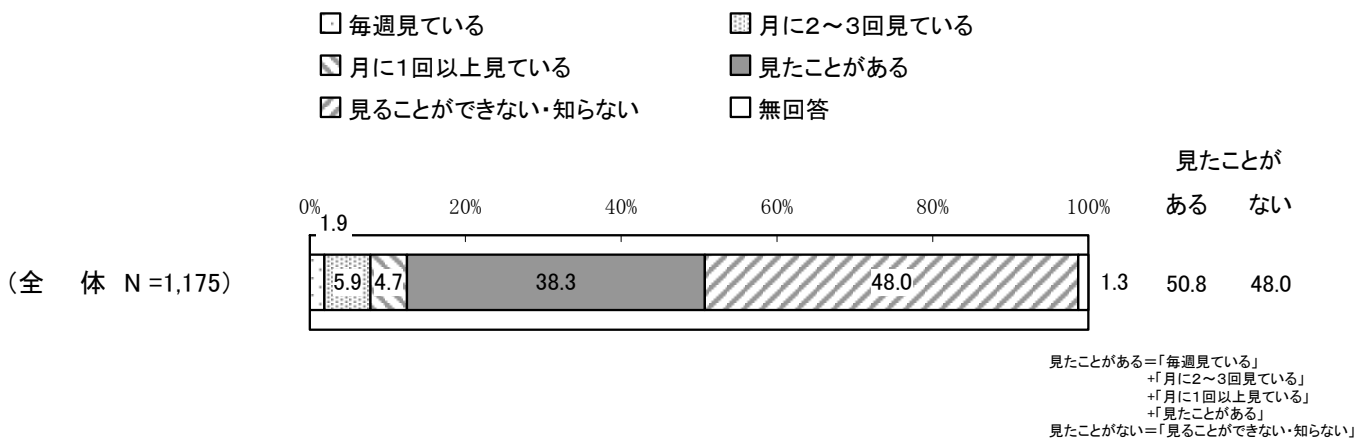
3位

7 三島市広報番組の視聴状況について

問 17 三島市ではケーブルテレビの12chで、「ニュースみしま」、「みしま広報室」の2つの広報番組を放送しています。あなたの視聴状況はどれぐらいの頻度ですか。(〇はひとつ)

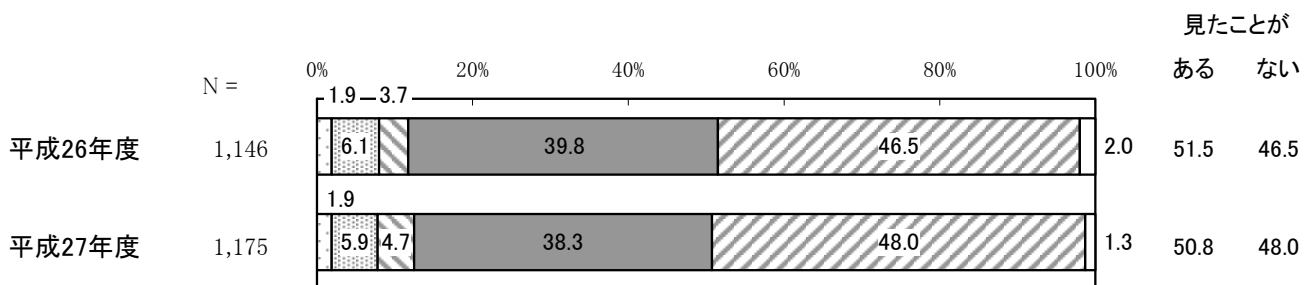
—三島市広報番組を“見たことがある”のは50.8%—

「見ることができない・知らない」の割合が48.0%と最も高く、次いで「見たことがある」の割合が38.3%となっています。「毎週見ている」(1.9%)、「月に2～3回」(5.9%)、「月に1回以上」(4.7%)、「見たことがある」(38.3%)を合わせた“見たことがある”割合は50.8%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

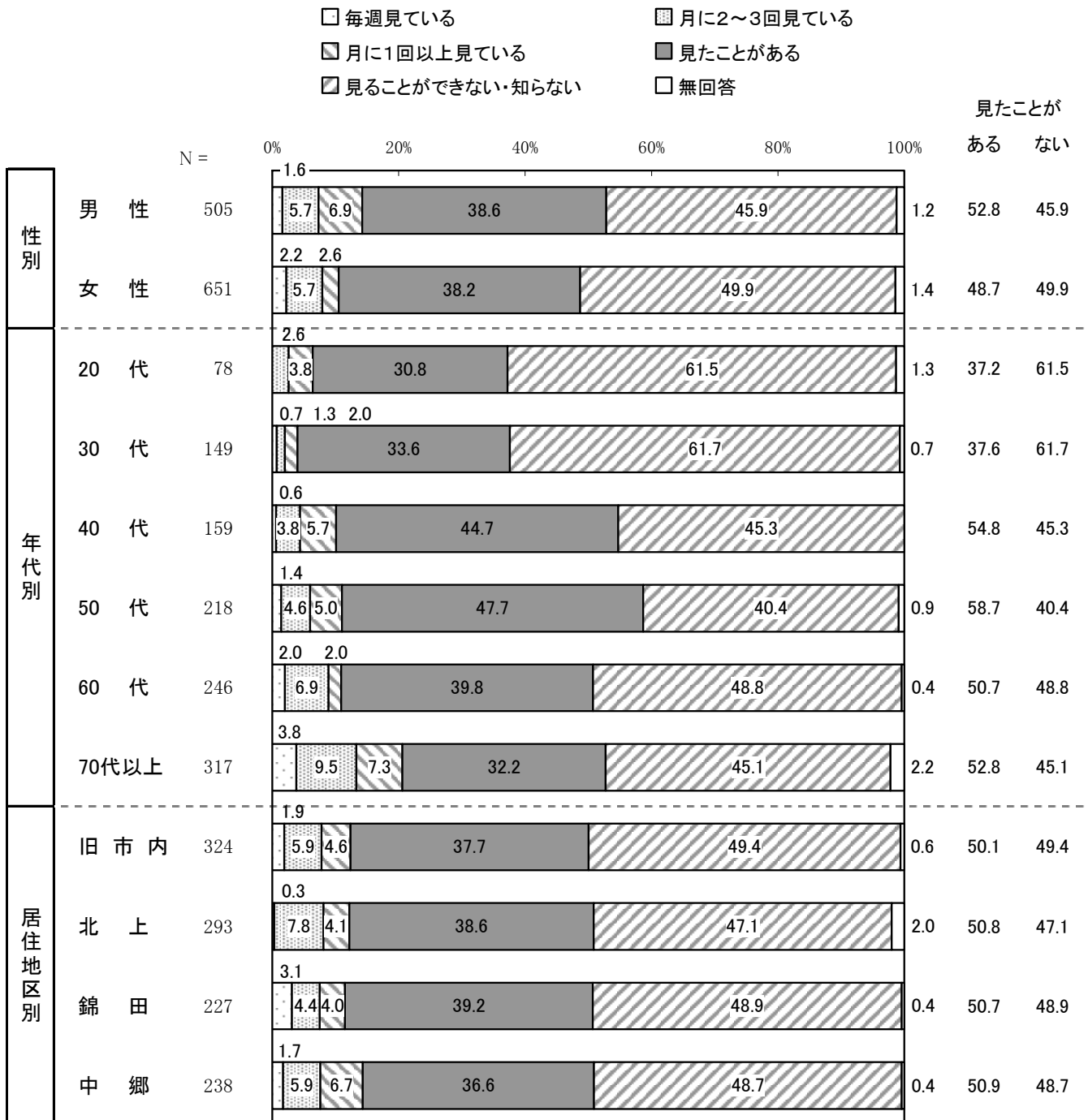


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、「見たことがある」は、40代以上で5割を超えています。「毎週見ている」「月に2～3回見ている」は60代以上で約1割となっています。

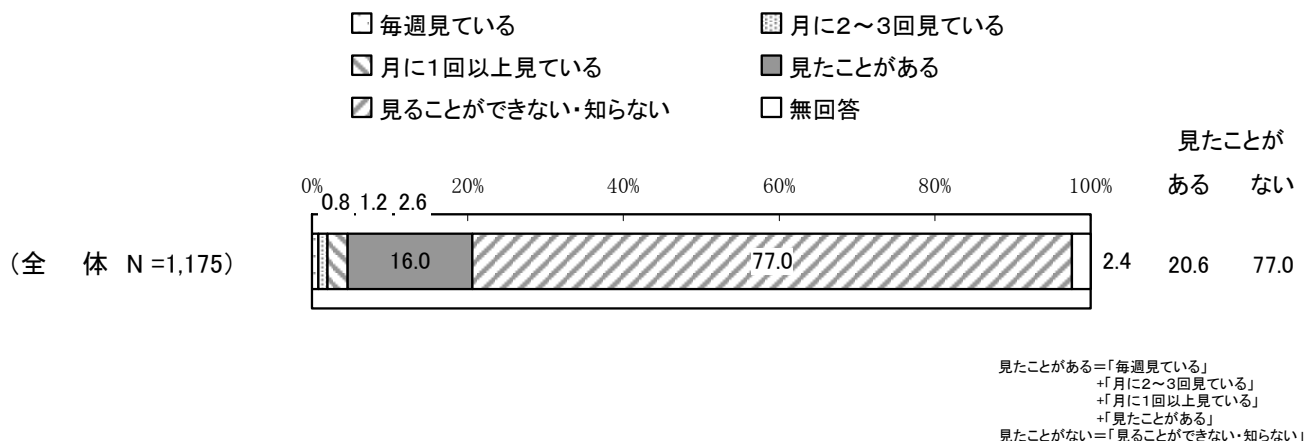
居住地区別でみると、居住地区別による大きな差はみられません。



問 18 放送した広報番組をインターネットの動画サイト「YouTube」の三島市チャンネルに掲載し、内容を毎週更新しています。あなたの視聴状況はどれぐらいの頻度ですか。(〇はひとつ)

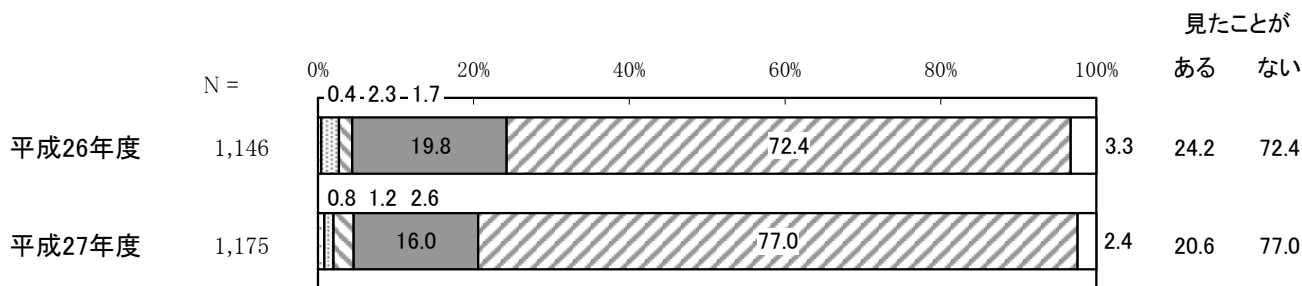
—「YouTube」の三島市チャンネルを“見たことがある”のは20.6%—

「見ることができない・知らない」の割合は77.0%でした。「毎週見ている」(0.8%)、「月に2～3回見ている」(1.2%)、「月に1回以上見ている」(2.6%)、「見たことがある」(16.0%)を合わせた“見たことがある”割合は20.6%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、“見たことがある”割合がやや減少しています。

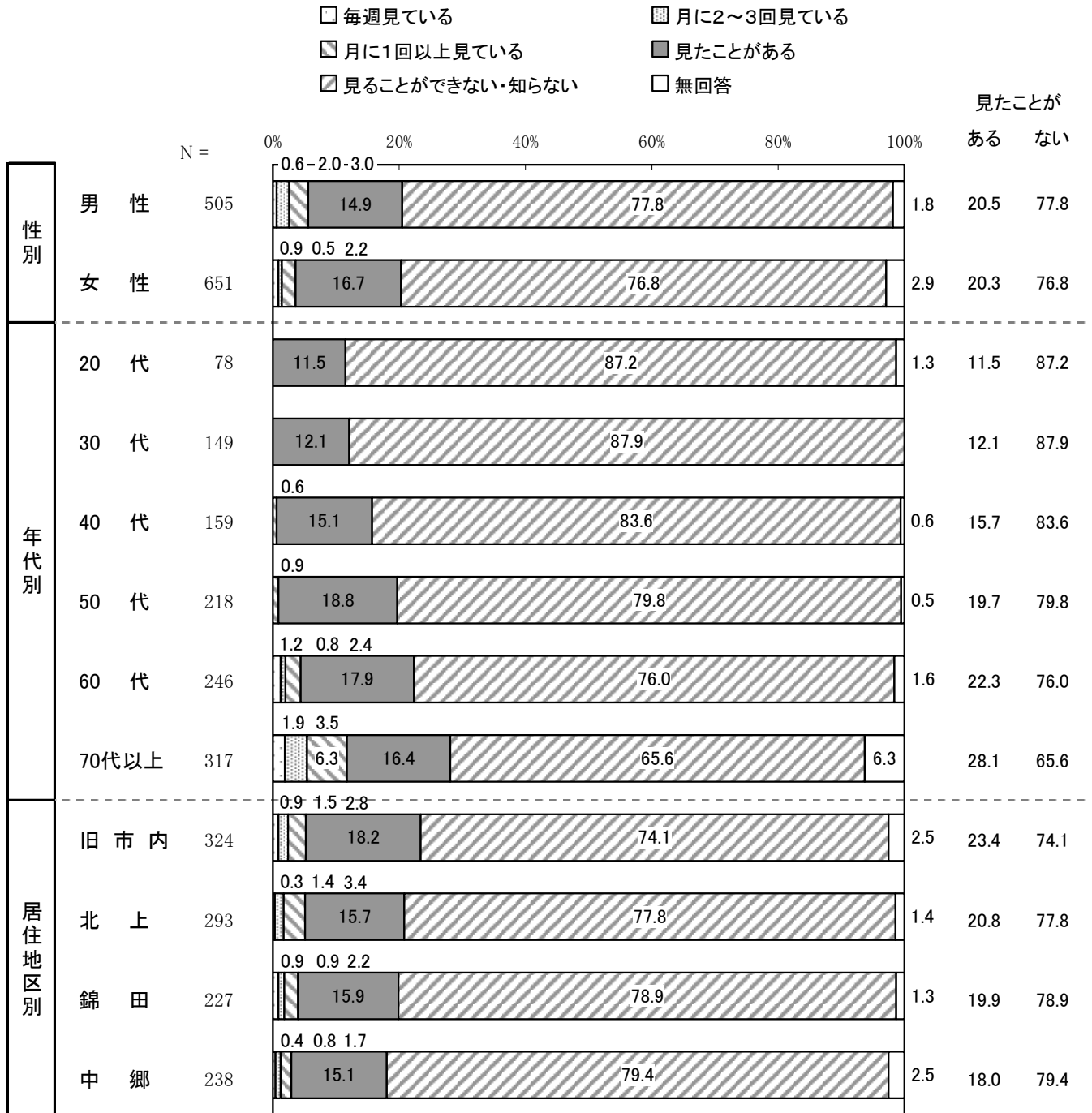


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、“見たことがある”は、60代以上で2割を超えており、70代以上（28.1%）が最も高くなっています。

居住地区別でみると、“見たことがない”割合は、中郷（79.4%）で最も高く、約8割となっています。



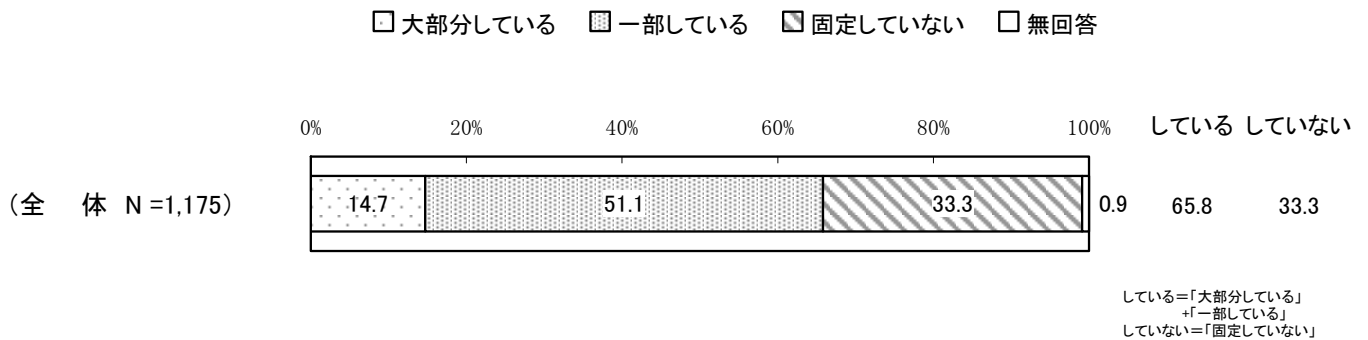
見たことがある＝「毎週見ている」
 ＋「月に2～3回見ている」
 ＋「月に1回以上見ている」
 ＋「見たことがある」
 見たことがない＝「見ることができない・知らない」

8 災害対策について

問 19 あなたは地震に備えて家具類の固定をしていますか。(○はひとつ)

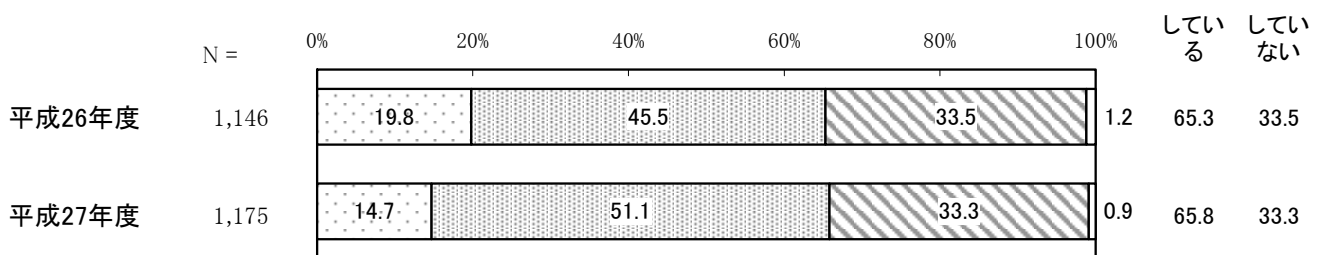
—家具の固定状況を“している”人は65.8%—

「一部している」の割合が51.1%と最も高く、次いで「固定していない」の割合が33.3%、「大部分している」の割合が14.7%となっています。「一部している」(51.1%)と「大部分している」(14.7%)を合わせた“している”割合は65.8%となります。



【時系列比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

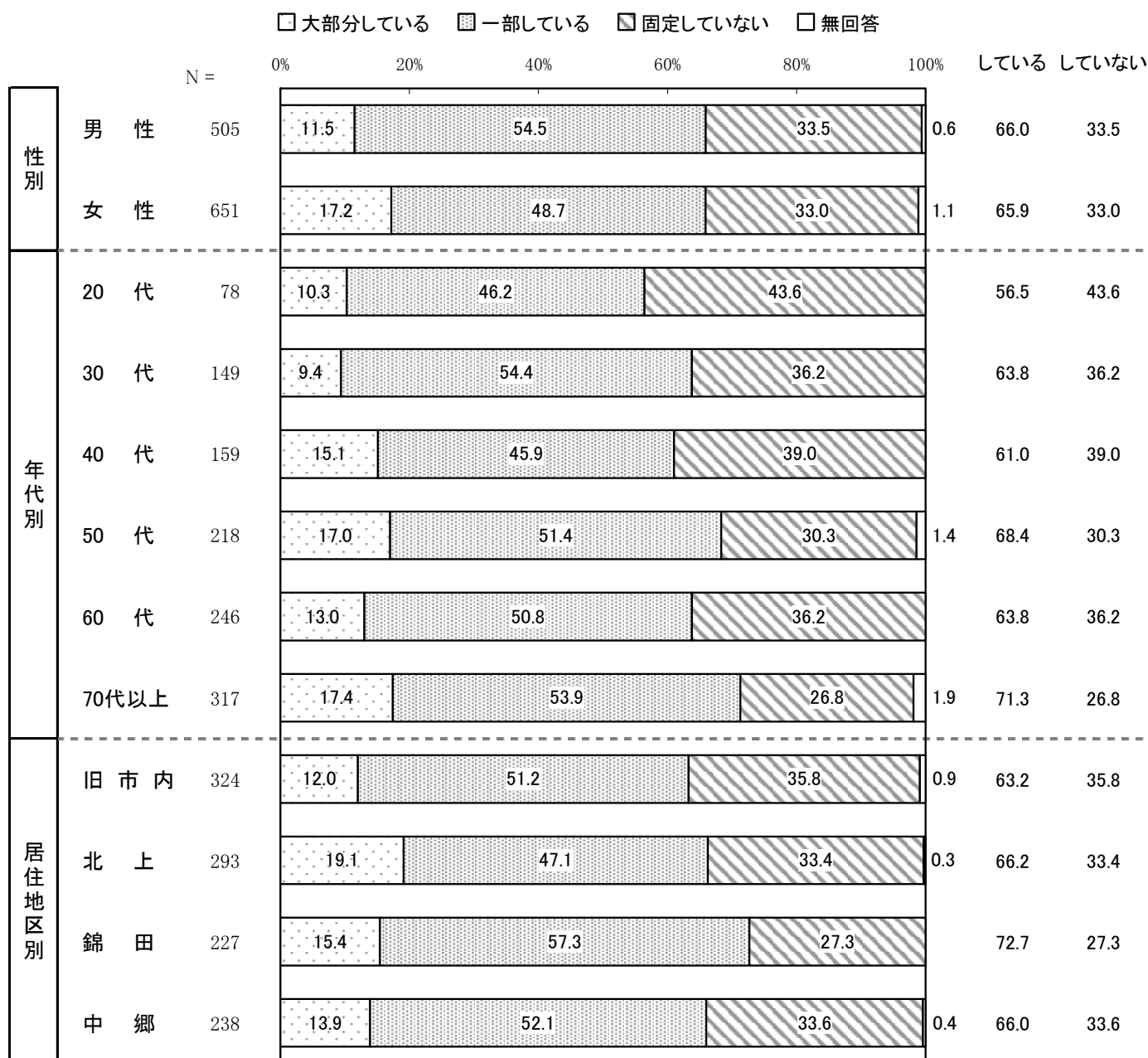


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、“している”は、70代以上（71.3%）が7割を超え最も高く、「固定していない」は20代（43.6%）で4割台と最も高くなっています。

居住地区別でみると、「固定していない」は、旧市内（35.8%）で3割台半ばと最も高くなっています。

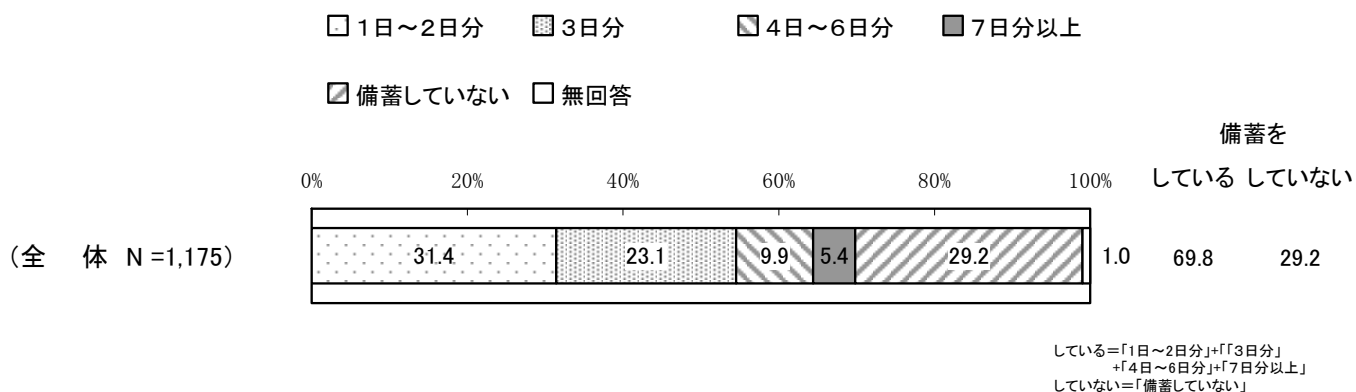


している=「大部分している」
+「一部している」
していない=「固定していない」

問 20 あなたは災害時に何日分の飲料水の備蓄をしていますか。ひとり1日あたり3リットルで計算し、お答えください。(〇はひとつ)

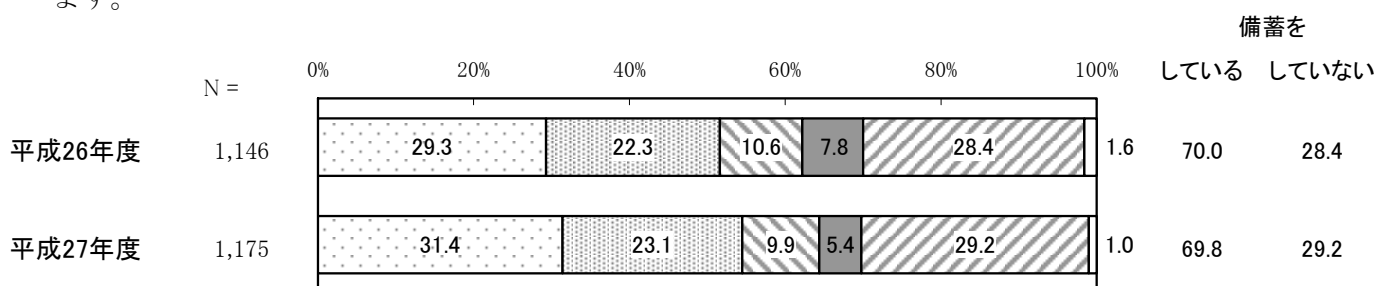
—飲料水の備蓄を“している”割合は69.8%—

「1日～2日分」の割合が31.4%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が29.2%、「3日分」の割合が23.1%となっています。1日分以上の飲料水を備蓄している割合は69.8%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“している”割合は約7割となっています。

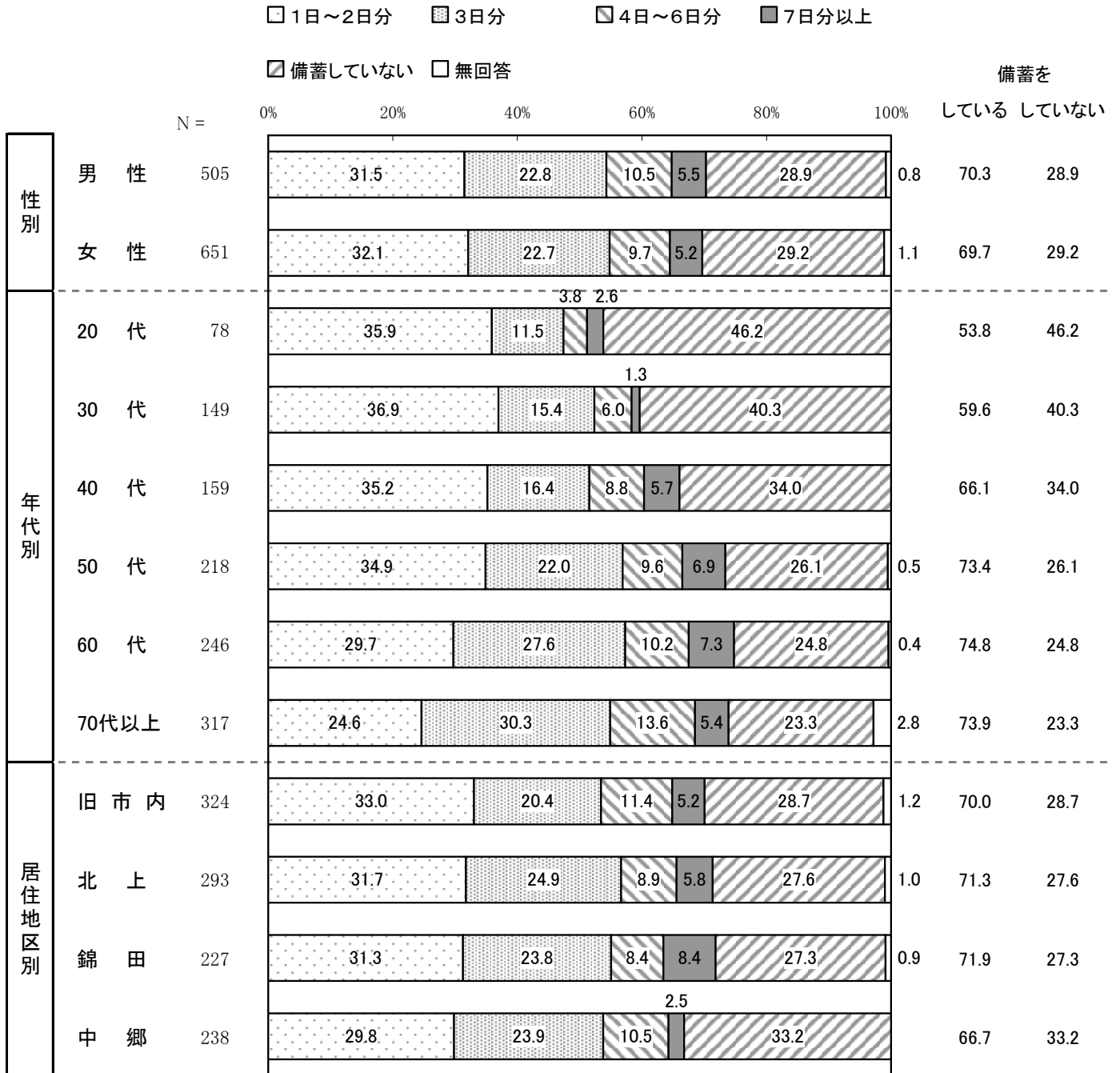


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、備蓄を“していない”割合は20代が46.2%で最も高くなっています。

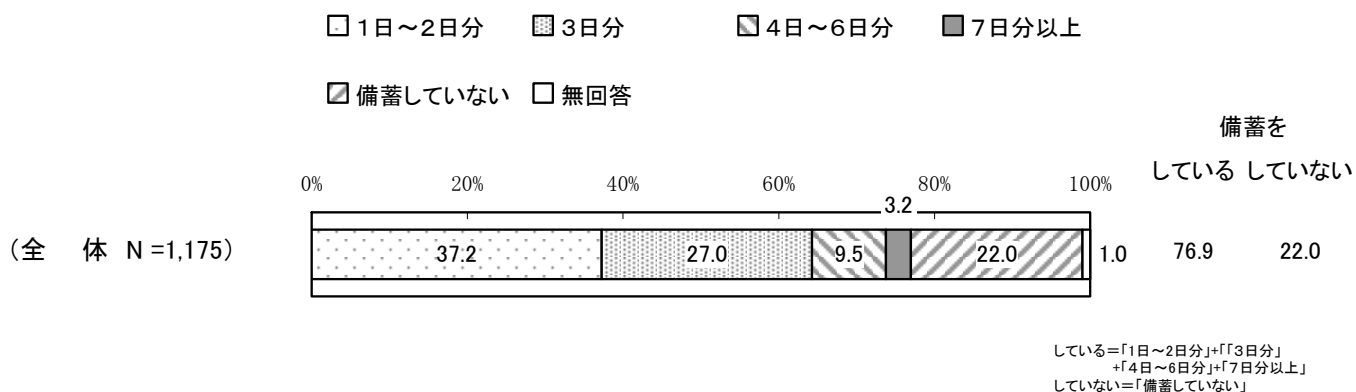
居住地区別でみると、備蓄を“している”割合は錦田（71.9%）で最も高く、備蓄を“していない”割合は中郷（33.2%）で3割を超えています。



問 21 あなたは災害時に何日分の食料（レトルト食品、ラーメン、缶詰などを含む。）の備蓄をしていますか。（〇はひとつ）

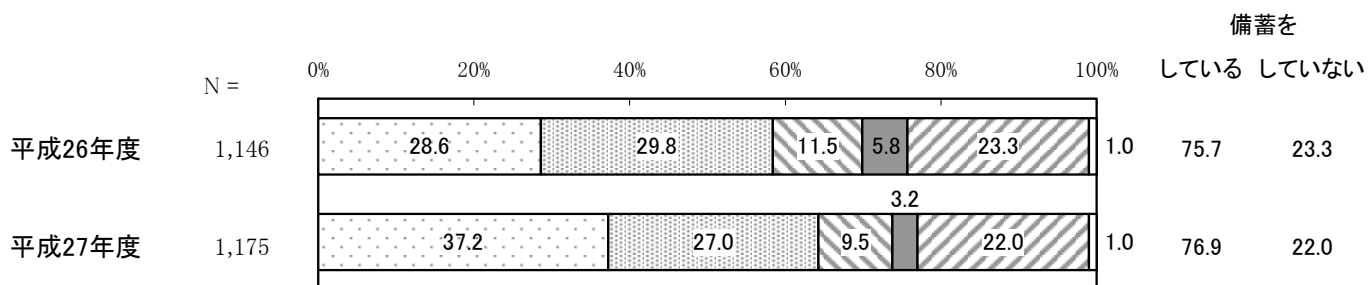
—食料の備蓄を“している”割合は76.9%—

「1日～2日分」の割合が37.2%と最も高く、次いで「3日分」の割合が27.0%、「備蓄していない」の割合が22.0%となっています。1日分以上の食料を備蓄している割合は76.9%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査と比較すると、“している”割合は増加しています。

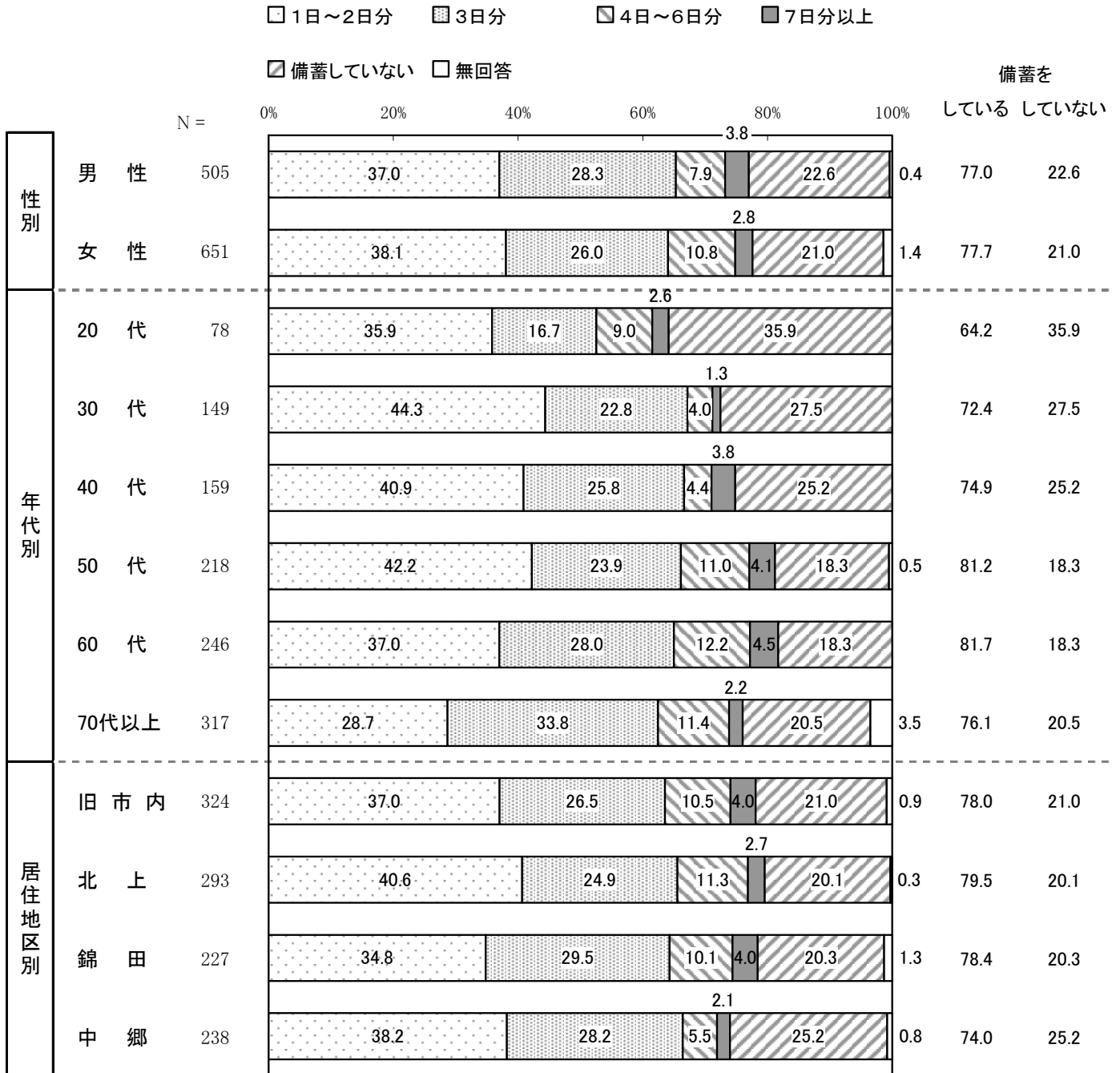


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、備蓄を“していない”割合は20代が35.9%で最も高くなっています。

居住地区別でみると、備蓄を“している”割合は北上（79.5%）で最も高く、備蓄を“していない”割合は中郷（25.2%）で2割台半ばとなっています。



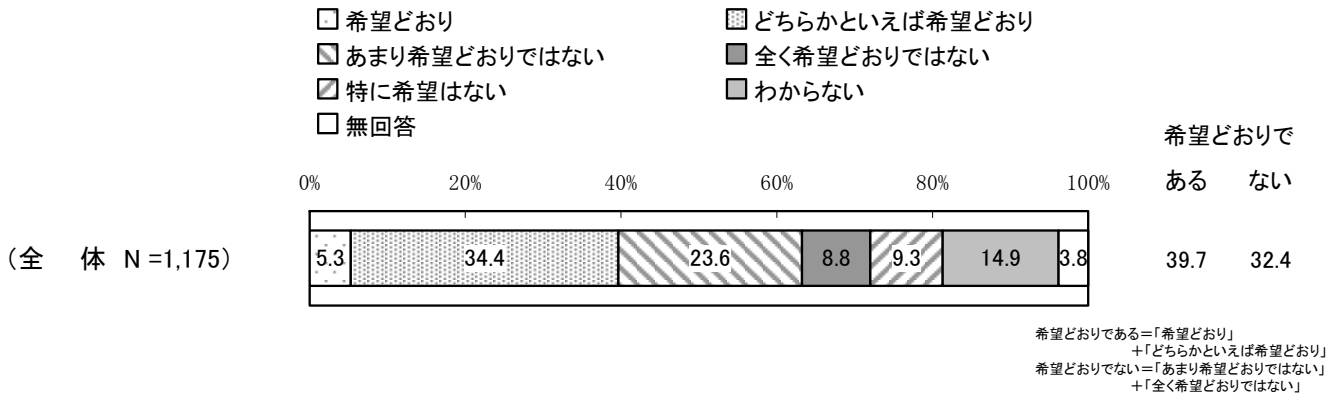
している＝「1日～2日分」＋「3日分」
 ＋「4日～6日分」＋「7日分以上」
 していない＝「備蓄していない」

9 男女共同参画について

問 22 「ワークライフバランス（仕事と生活の調和）」に関して、毎日の生活は希望どおりにバランスが取れていますか。（○はひとつ）

—仕事と生活が“希望通りにバランスが取れている”割合は39.7%—

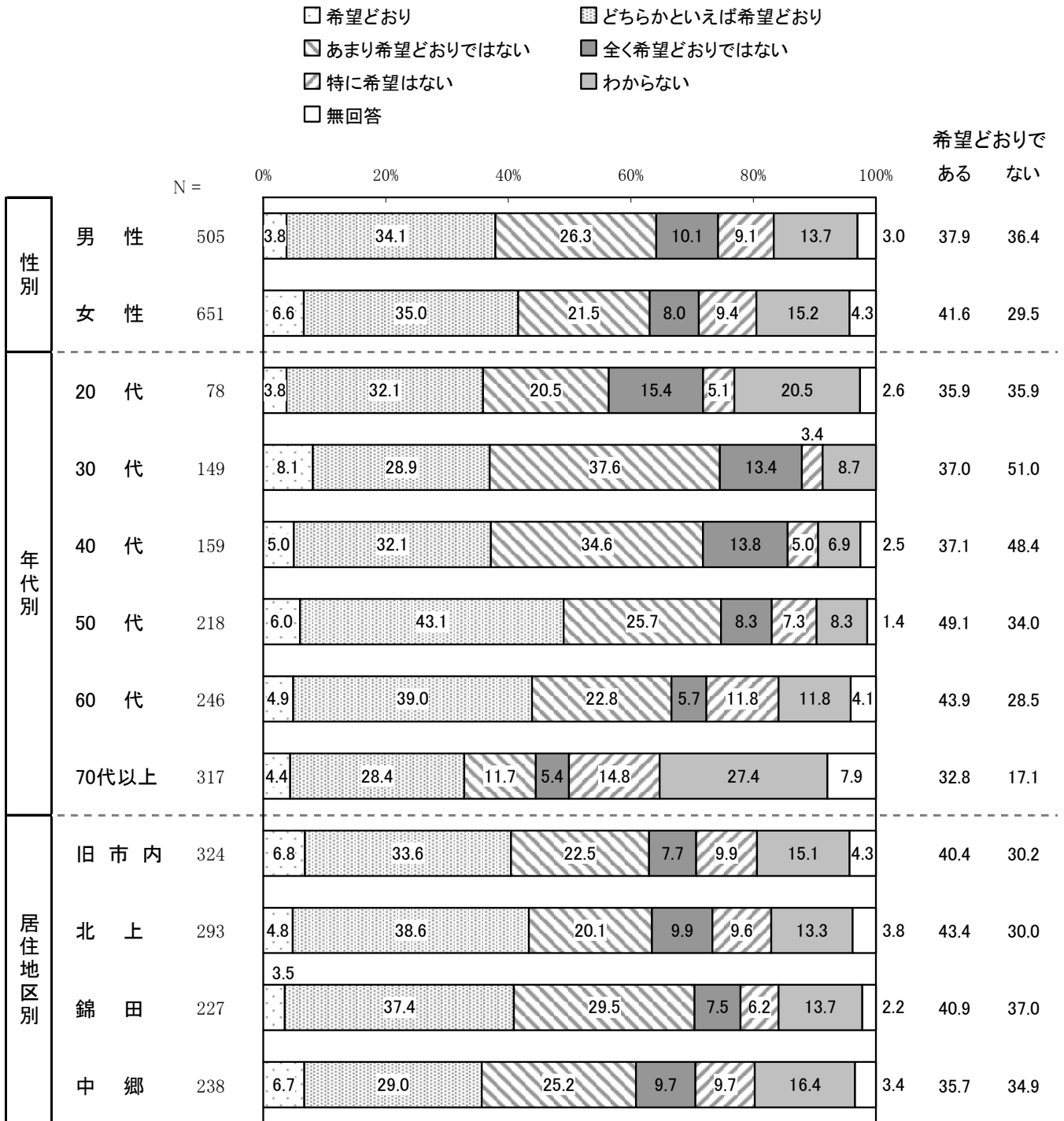
「どちらかといえば希望どおり」（34.4%）が最も高く、「希望どおり」（5.3%）をあわせた“希望どおり”は39.7%となっています。一方、「あまり希望どおりではない」（23.6%）、「全く希望どおりではない」（8.8%）を合わせた“希望どおりではない”は32.4%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、“希望どおり”は、女性（41.6%）が、男性（37.9%）より高くなっています。
 年代別でみると、“希望どおり”は50代（49.1%）が最も高く、“希望どおりでない”は30代（51.0%）で5割を超えています。

居住地区別でみると、“希望どおり”は北上（43.4%）が最も高く、“希望どおりでない”は錦田（37.0%）で約4割となっています。



希望どおりである＝「希望どおり」
 ＋「どちらかといえば希望どおり」
 希望どおりでない＝「あまり希望どおりではない」
 ＋「全く希望どおりではない」

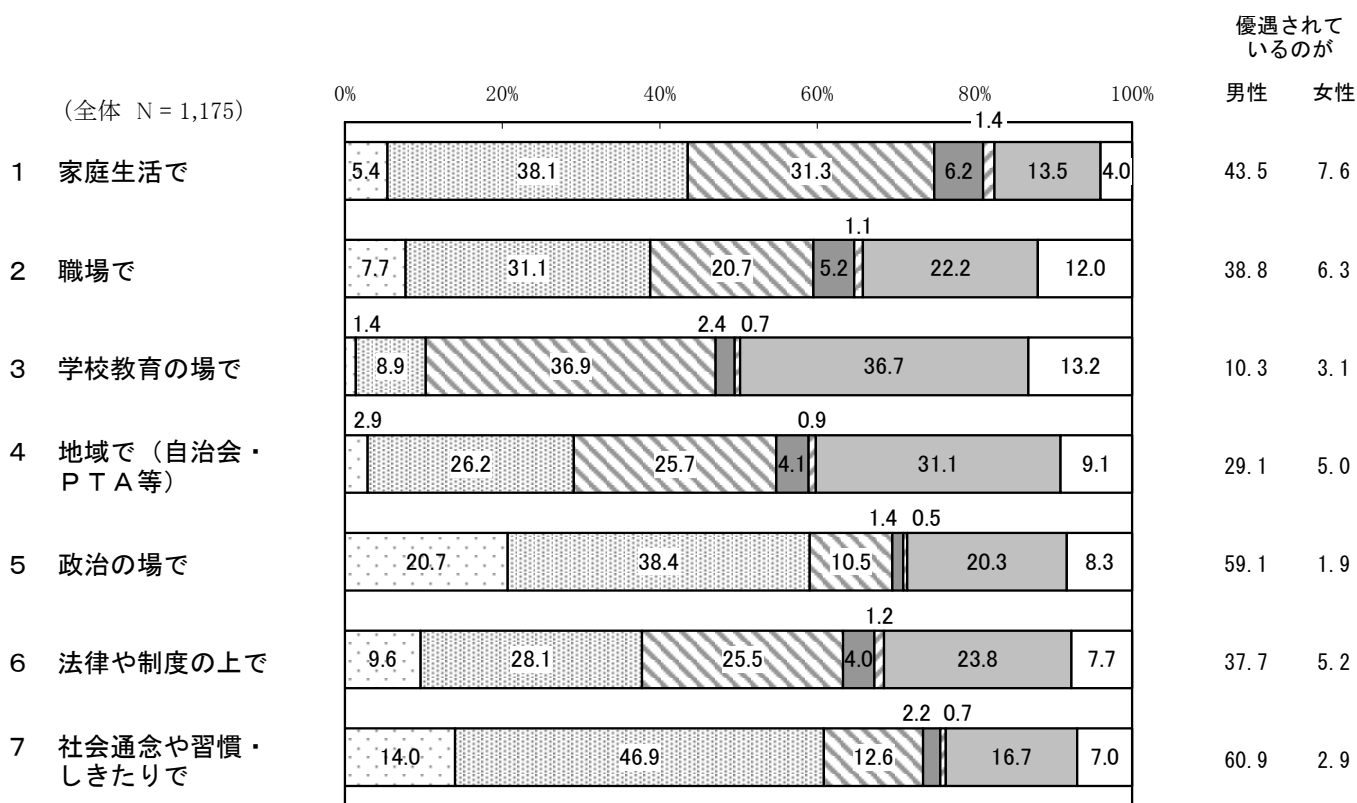
問 23 次のような分野で男女は平等になっていると思いますか。1~7の項目ごとに該当する番号を選んでください（それぞれ○はひとつ）

—男性優遇の分野は『政治の場』『社会通念・習慣・しきたり』で約6割—

男女平等について聞いたところ、いずれの分野でも「男性が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”が「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が非常に優遇されている」を合わせた“女性優遇”を上回っています。

“男性優遇”は、『5 政治の場で』（59.1%）、『7 社会通念や習慣・しきたりで』（60.9%）で約6割となっています。また、「男性が非常に優遇されている」は、『5 政治の場で』（20.7%）で約2割となっています。

- 男性が非常に優遇されている
- 男女平等になっている
- 女性が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない



優遇されているのが男性＝「男性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば男性が優遇されている」
 優遇されているのが女性＝「女性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば女性が優遇されている」

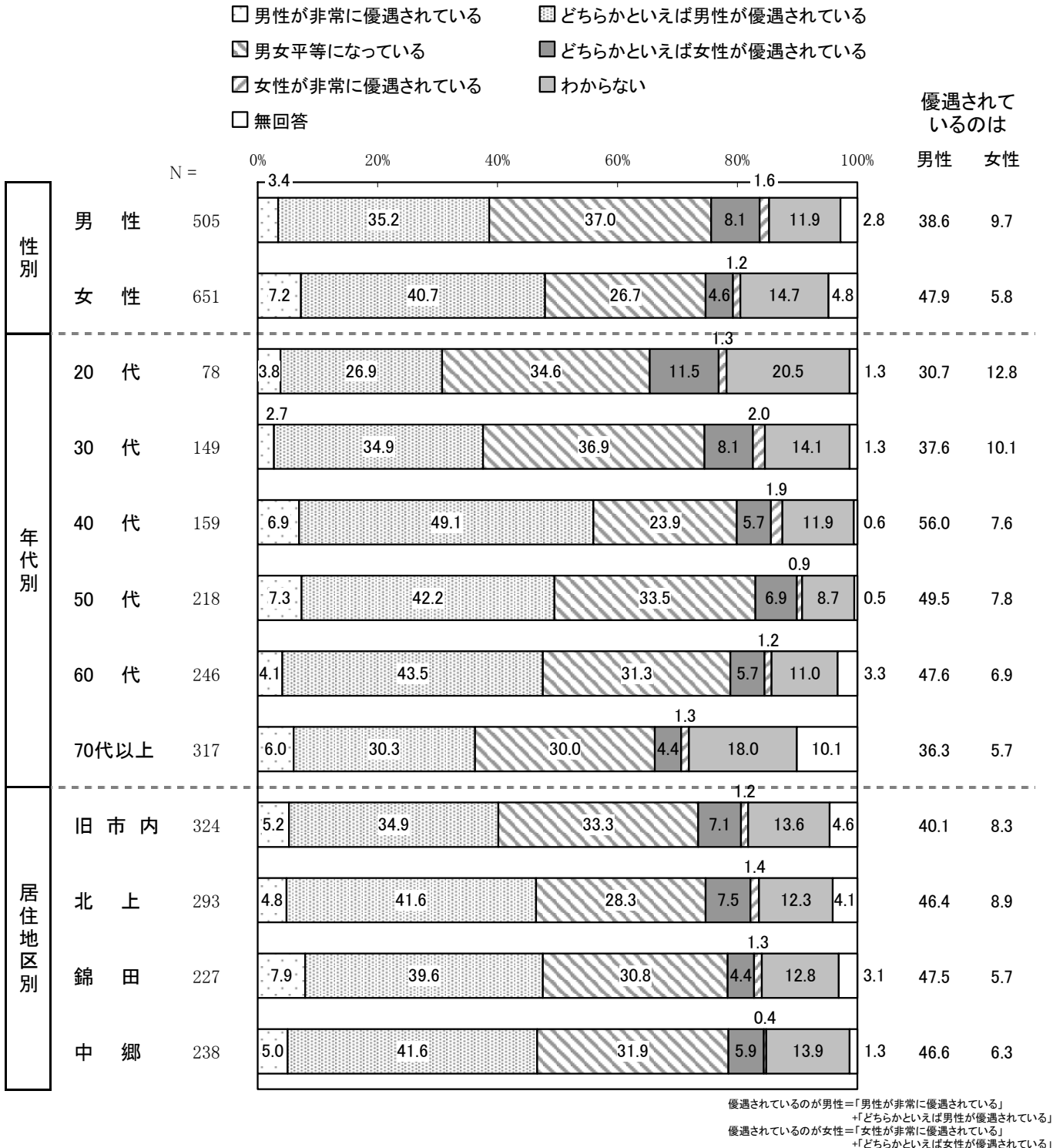
①家庭生活で

【属性別比較】

性別でみると、“男性優遇”は女性（47.9%）が、男性（38.6%）より高くなっています。また、“女性優遇”は男性（9.7%）が、女性（5.8%）より高くなっています。

年代別でみると、“男性優遇”は40代（56.0%）が最も高く、次いで50代（49.5%）、60代（47.6%）となっていますが、20代（30.7%）は約3割と低くなっています。

居住地区別でみると、“男性優遇”は錦田（47.5%）で最も高く、次いで中郷（46.6%）となっています。また、“女性優遇”は北上（8.9%）、旧市内（8.3%）で高くなっています。



②職場で

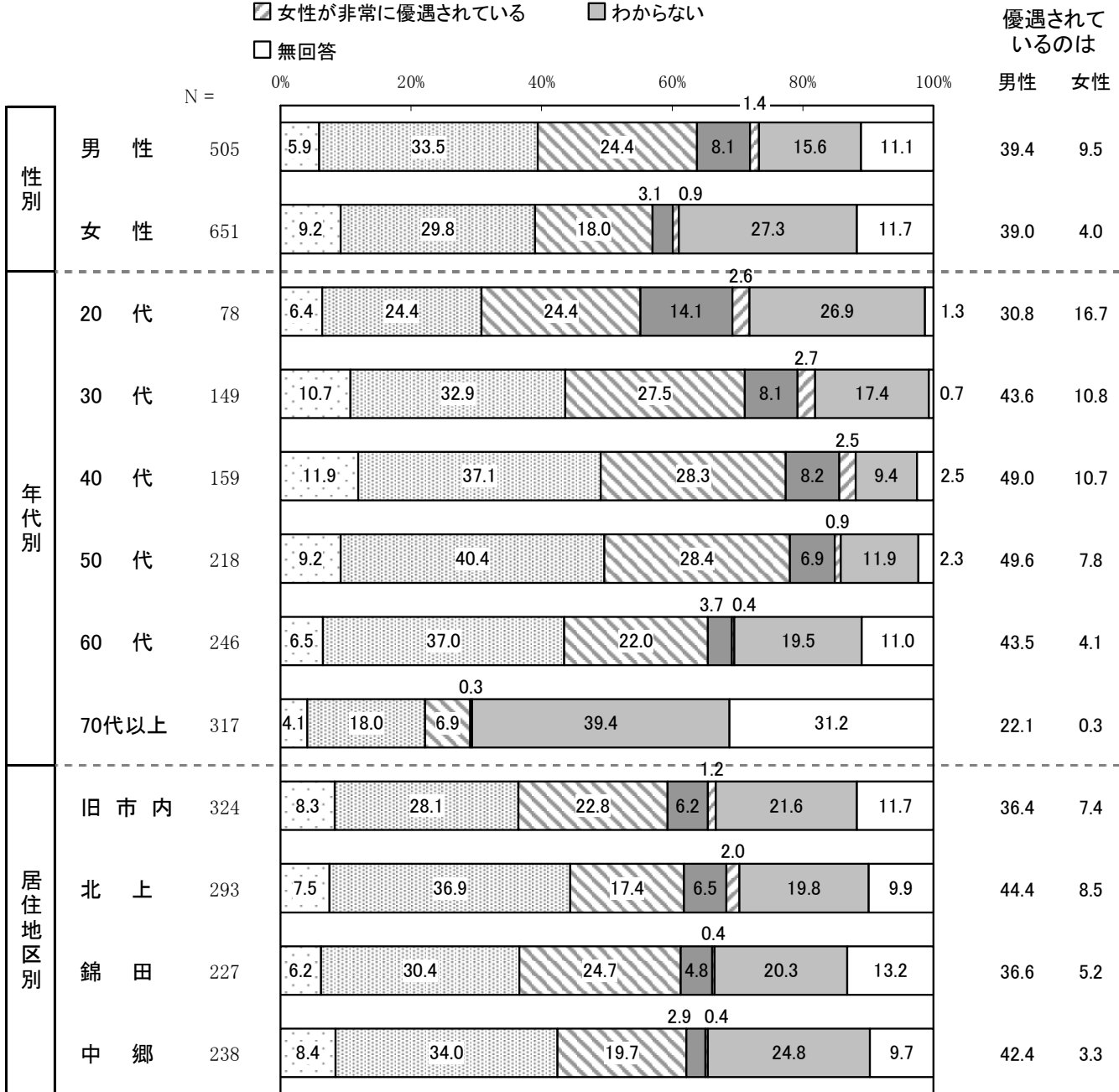
【属性別比較】

性別でみると、“男性優遇”は性別による大きな差はみられません。また、“女性優遇”は男性（9.5%）が、女性（4.0%）より高くなっています。

年代別でみると、“男性優遇”は50代（49.6%）が最も高く、次いで40代（49.0%）となっていますが、年齢が下がるにつれ“女性優遇”は高くなり、20代（16.7%）で1割台半ばとなっています。

居住地区別でみると、“男性優遇”は北上（44.4%）で最も高く、次いで中郷（42.4%）となっています。また、“女性優遇”は北上（8.5%）で高くなっています。

- 男性が非常に優遇されている
- 男女平等になっている
- 女性が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない



優遇されているのが男性＝「男性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば男性が優遇されている」
 優遇されているのが女性＝「女性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば女性が優遇されている」

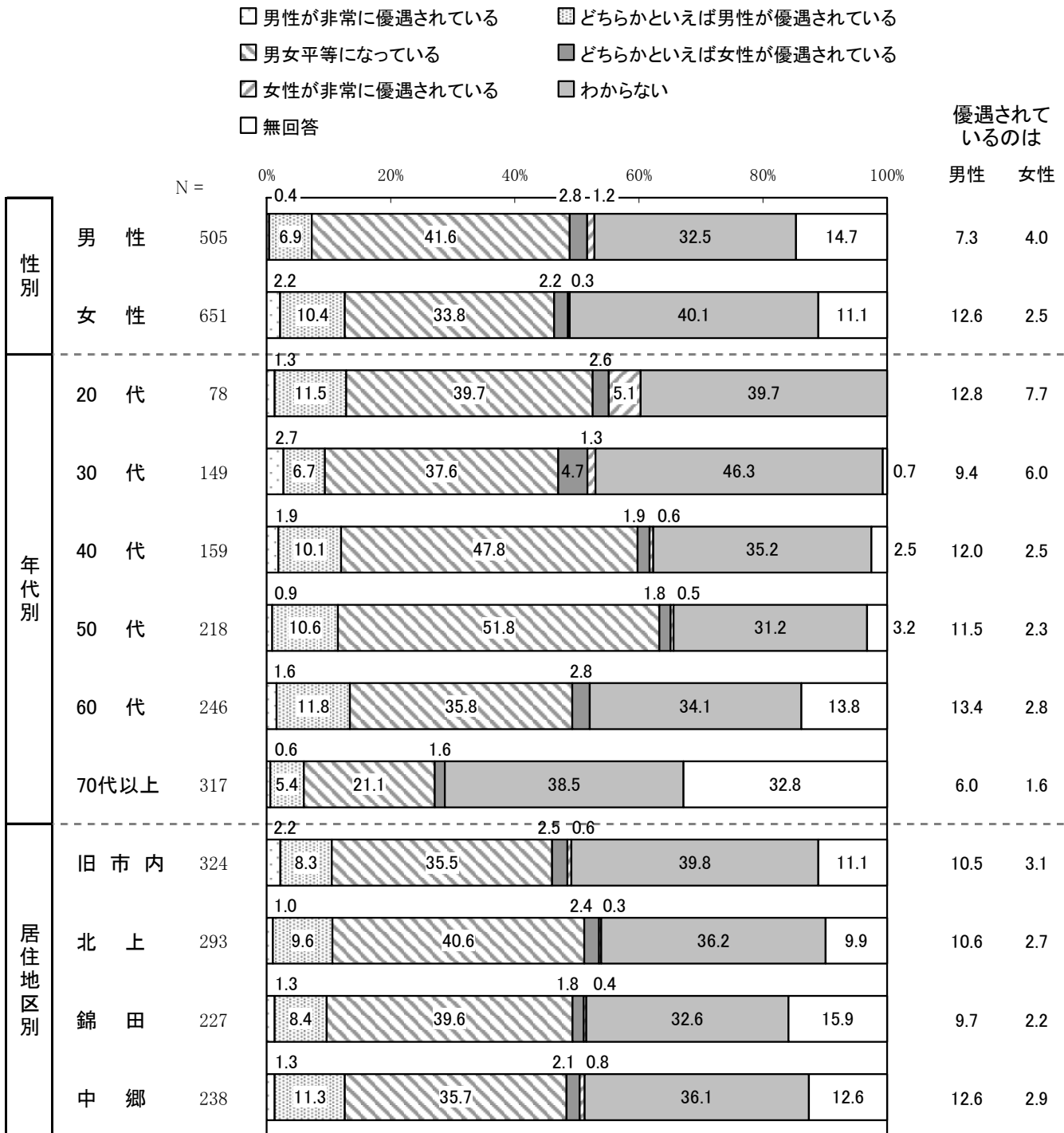
③学校教育の場で

【属性別比較】

性別でみると、「男性優遇」は女性（12.6%）が、男性（7.3%）より高くなっています。また、「男女平等になっている」は男性（41.6%）が、女性（33.8%）より高くなっています。

年代別でみると、「男性優遇」は60代（13.4%）が最も高くなっています。また、「男女平等になっている」は50代（51.8%）が最も高くなっています。

居住地区別でみると、「男性優遇」は中郷（12.6%）で最も高くなっています。また、「男女平等になっている」は北上（40.6%）で高く、4割を超えています。



優遇されているのが男性＝「男性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば男性が優遇されている」
 優遇されているのが女性＝「女性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば女性が優遇されている」

④地域で（自治会・PTA等）

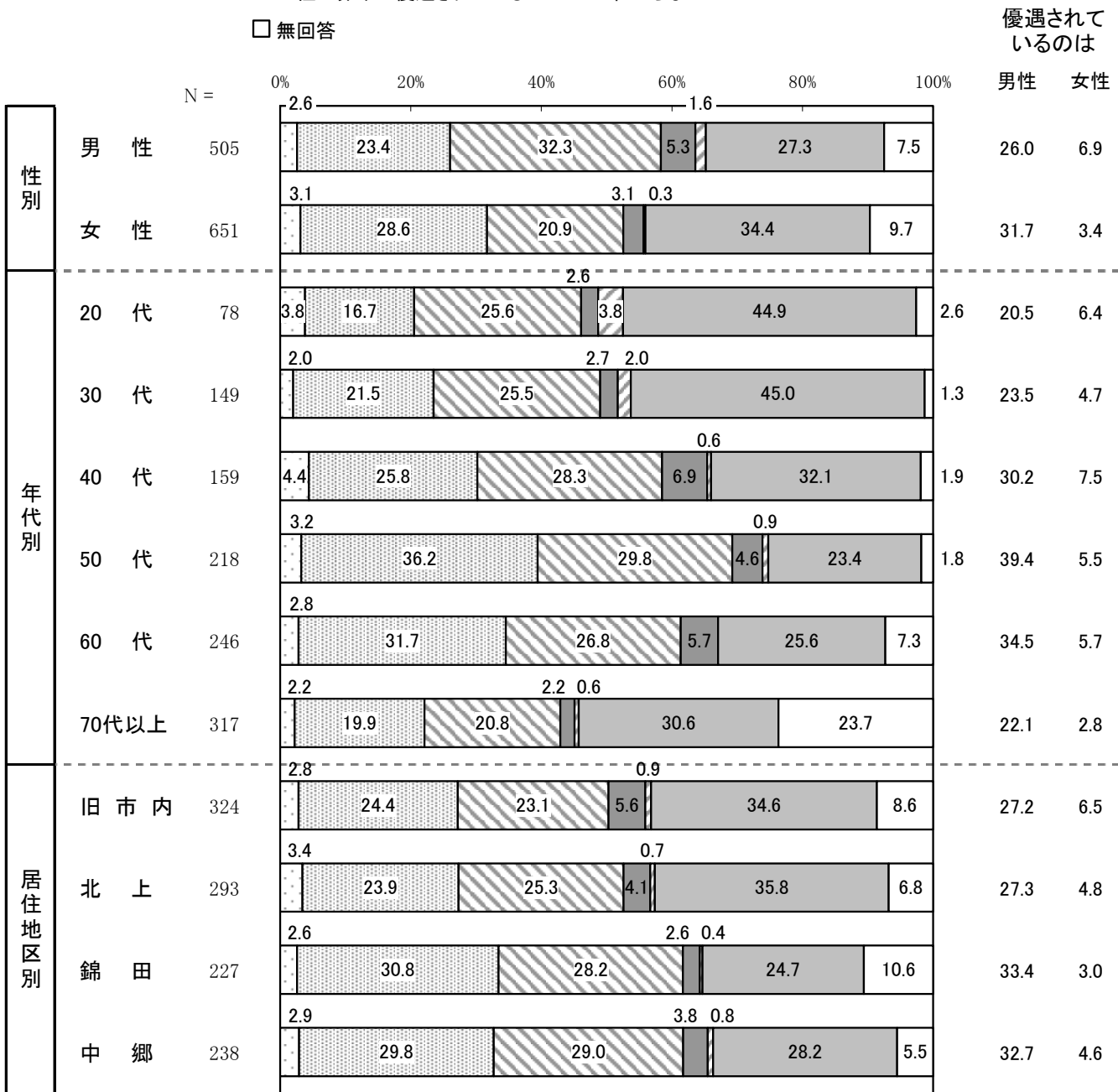
【属性別比較】

性別でみると、「男性優遇」は女性（31.7%）が、男性（26.0%）より高くなっています。また、「女性優遇」は男性（6.9%）が、女性（3.4%）より高くなっています。

年代別でみると、「男性優遇」は50代（39.4%）が最も高く、次いで60代（34.5%）となっています。また、「男女平等になっている」は50代（29.8%）で約3割と高くなっています。

居住地区別でみると、「男性優遇」は錦田（33.4%）で最も高く、次いで中郷（32.7%）となっています。また、「女性優遇」は旧市内（6.5%）で高くなっています。

- 男性が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性が優遇されている
- ▩ 男女平等になっている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- ▧ 女性が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



優遇されているのが男性＝「男性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば男性が優遇されている」
 優遇されているのが女性＝「女性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば女性が優遇されている」

⑤政治の場で

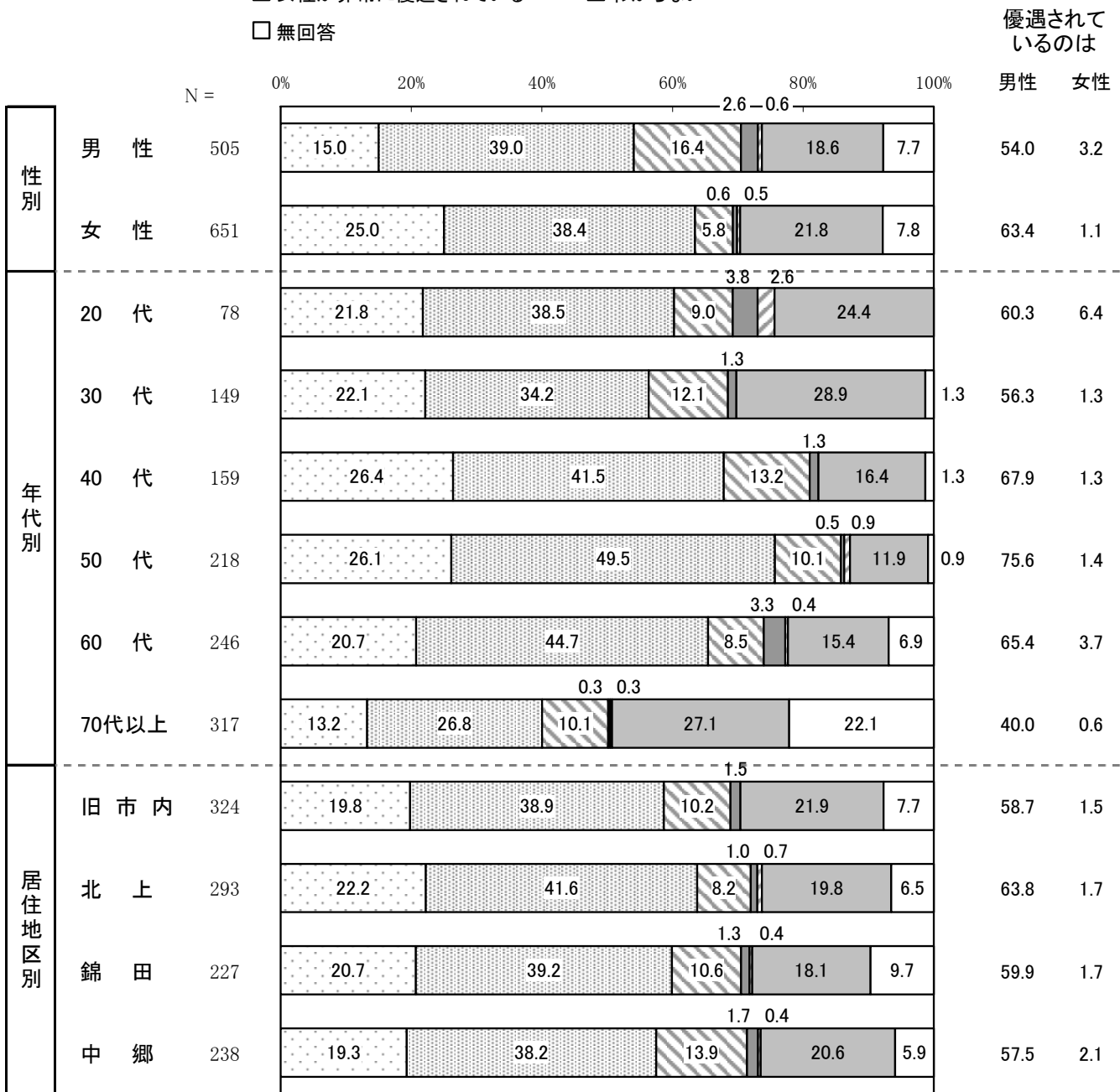
【属性別比較】

性別でみると、“男性優遇”は女性（63.4%）が、男性（54.0%）より高くなっています。また、“女性優遇”は男性（3.2%）が、女性（1.1%）より高くなっています。

年代別でみると、“男性優遇”は50代（75.6%）が最も高く、次いで40代（67.9%）となっています。また、“女性優遇”は70代以上（0.6%）で低くなっています。

居住地区別でみると、“男性優遇”は北上（63.8%）で最も高く、6割を超えています。また、“女性優遇”は旧市内（1.5%）で低くなっています。

- 男性が非常に優遇されている
- 男性が平等になっている
- 女性が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない



優遇されているのが男性＝「男性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば男性が優遇されている」
 優遇されているのが女性＝「女性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば女性が優遇されている」

⑥法律や制度の上で

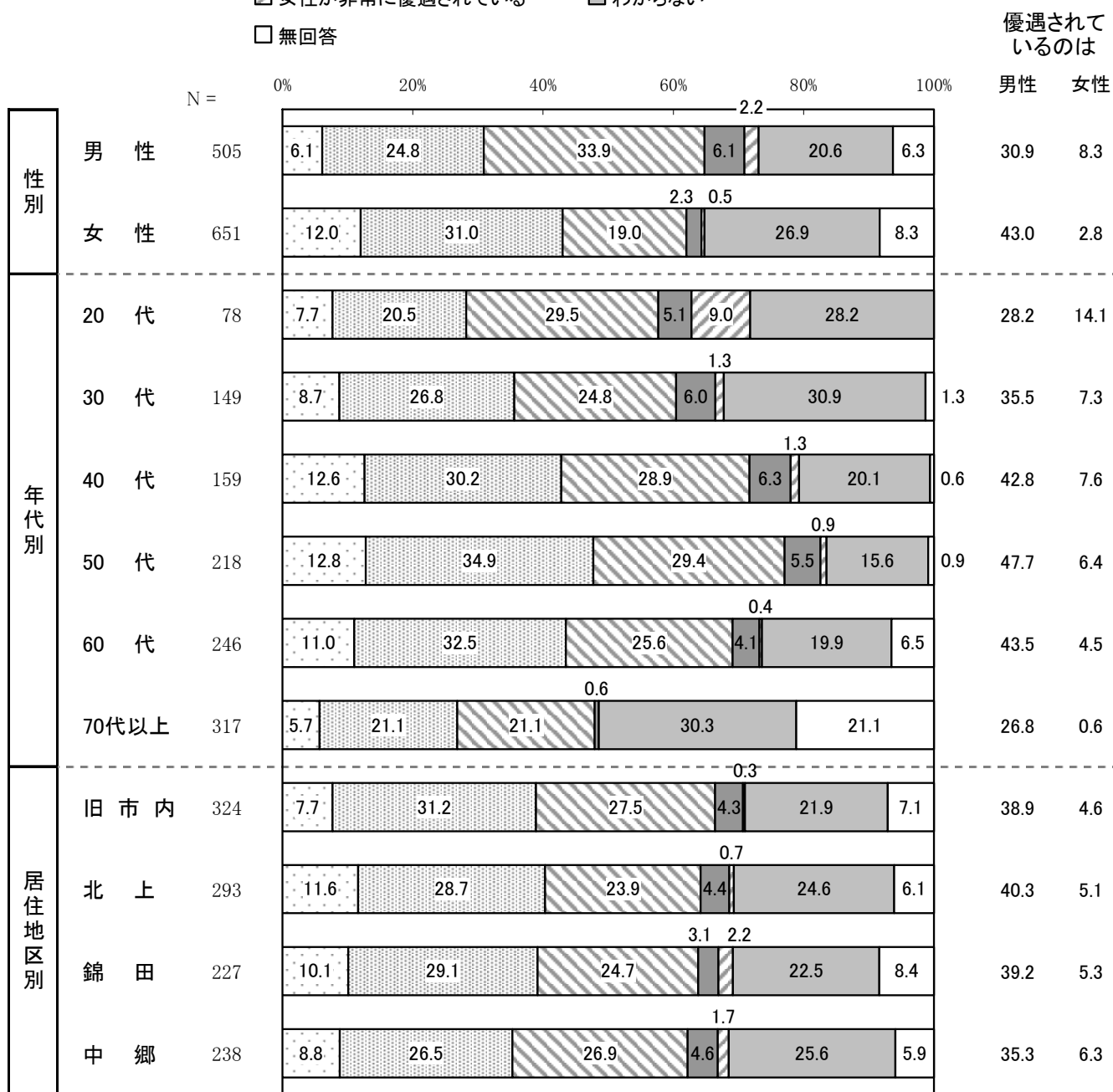
【属性別比較】

性別でみると、「男性優遇」は女性（43.0%）が、男性（30.9%）より高くなっています。また、「男女平等になっている」は男性（33.9%）が、女性（19.0%）より高くなっています。

年代別でみると、「男性優遇」は50代（47.7%）が最も高く、約5割となっています。また、「女性優遇」は20代（14.1%）で高くなっています。

居住地区別でみると、「男性優遇」は北上（40.3%）で最も高く、4割を超えています。また、「女性優遇」は旧市内（4.6%）で低くなっています。

- 男性が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性が優遇されている
- ▩ 男女平等になっている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- ▧ 女性が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



優遇されているのが男性＝「男性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば男性が優遇されている」
 優遇されているのが女性＝「女性が非常に優遇されている」
 +「どちらかといえば女性が優遇されている」

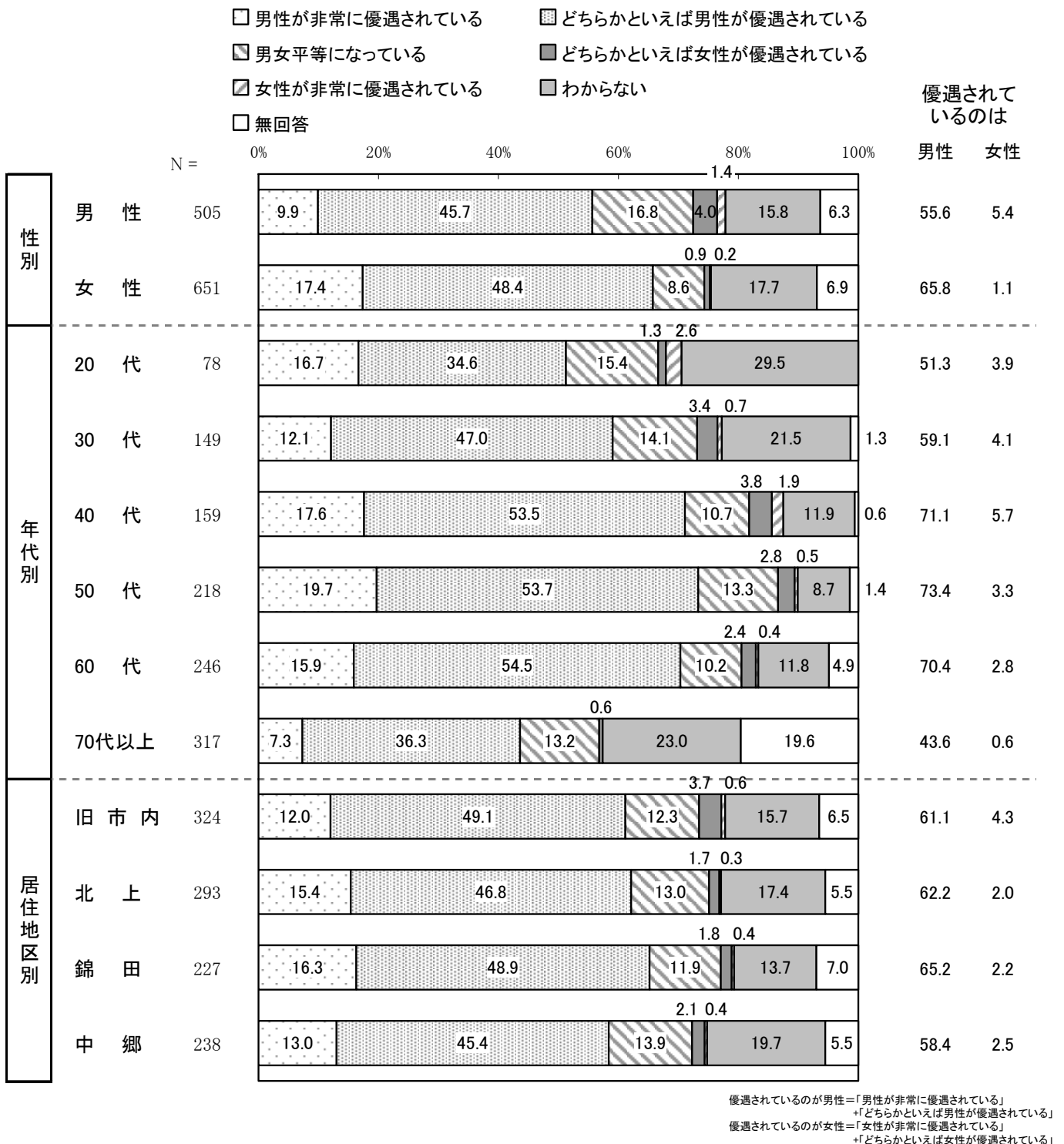
⑦社会通念や習慣・しきたりで

【属性別比較】

性別でみると、“男性優遇”は女性（65.8%）が、男性（55.6%）より高くなっています。また、“女性優遇”は男性（5.4%）が、女性（1.1%）より高くなっています。

年代別でみると、“男性優遇”は50代（73.4%）が最も高く、次いで40代（71.1%）、60代（70.4%）で、いずれも7割を超えています。

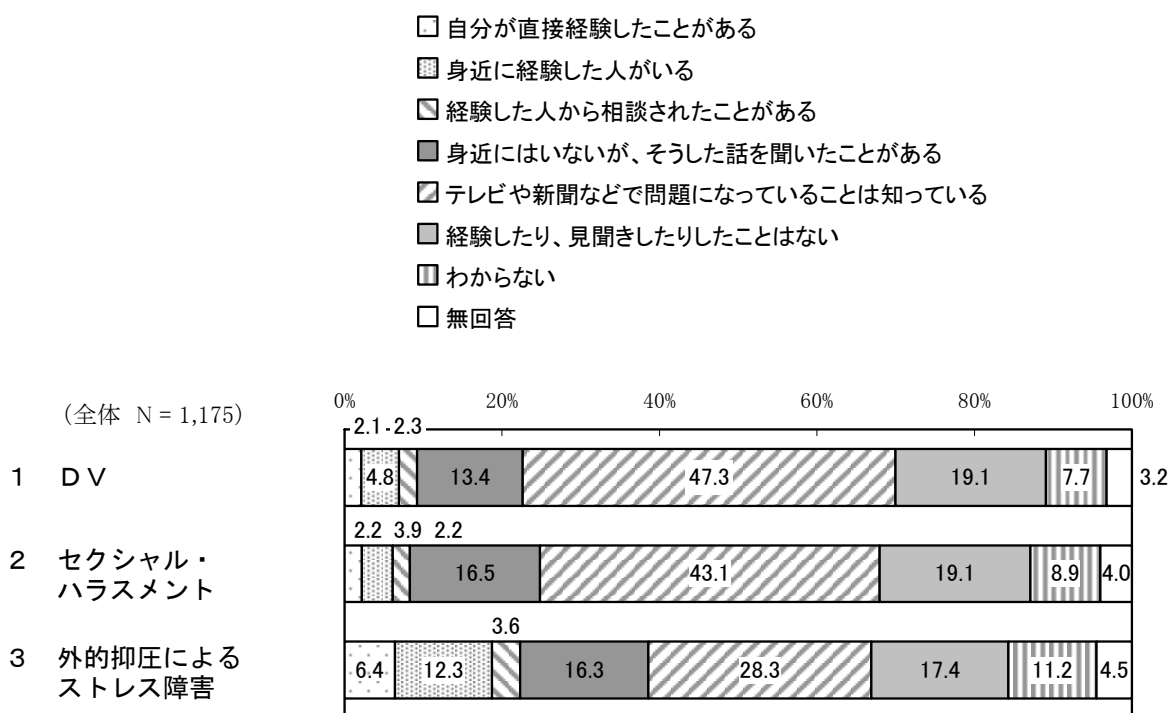
居住地区別でみると、中郷地区を除く地区で“男性優遇”の割合が6割を超えています。また、“女性優遇”は旧市内（4.3%）で高くなっています。



問 24 次のようなことを過去1年間に経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。
1～3の項目ごとに該当する番号を選んでください。(それぞれ○はひとつ)

—「外的抑圧によるストレス障害」を身近に経験した人は18.7%—

DV、セクシュアル・ハラスメント、ストレス障害による人権侵害について聞いたところ、『3 外的抑圧によるストレス障害（不眠、拒食、出社拒否など）』で「自分が直接経験したことがある」(6.4%)、「身近に経験した人がある」(12.3%)を合わせた“経験したことがある”(18.7%)は約2割となっています。



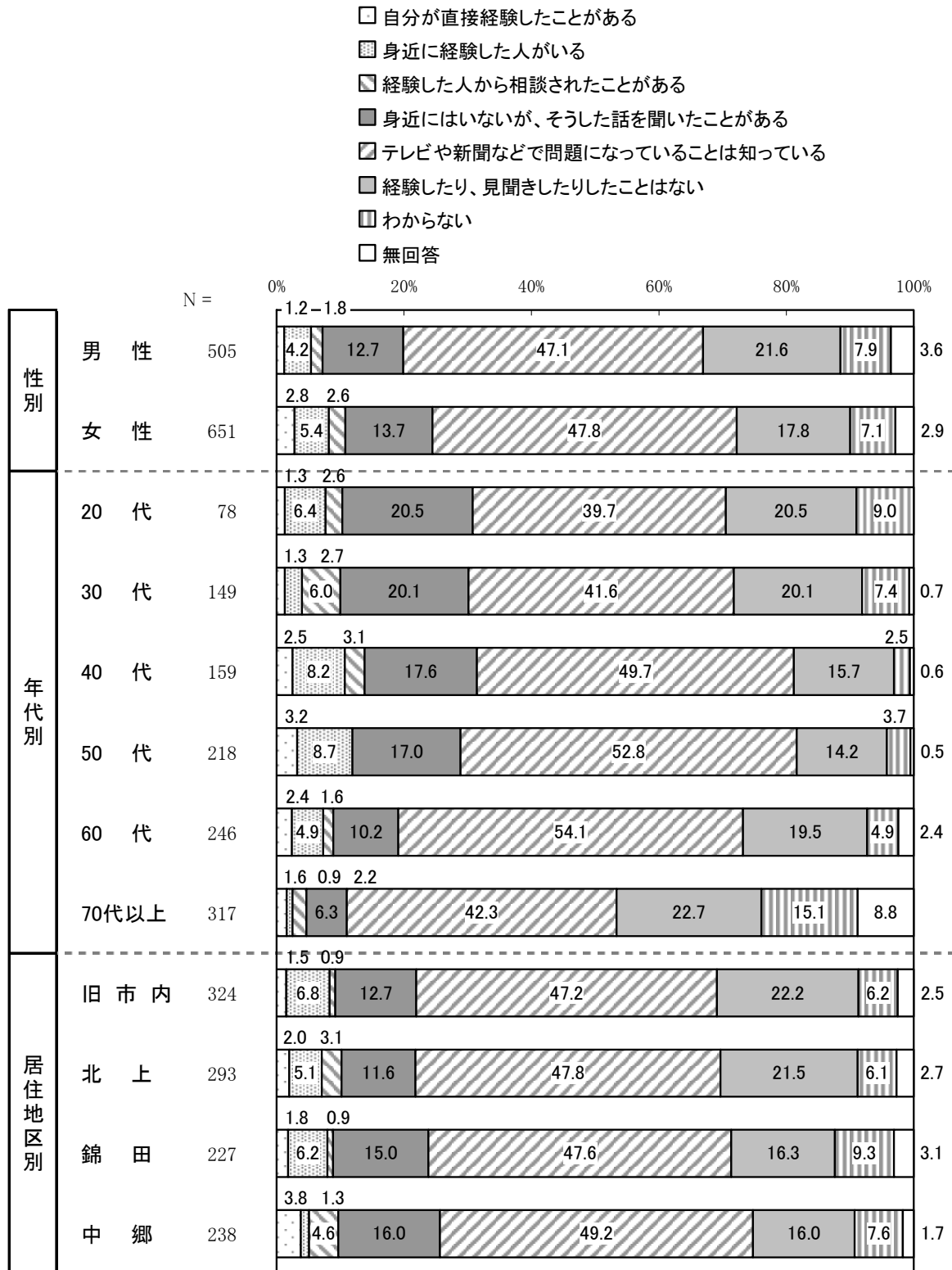
①DV（夫婦や交際相手など親しい間柄にある男女間の暴力）

【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」の割合は20代(20.5%)で最も高くなっています。また、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合は60代(54.1%)で最も高くなっています。

居住地区別でみると、「経験したり、見聞きしたりしたことはない」は、旧市内(22.2%)で最も高くなっています。



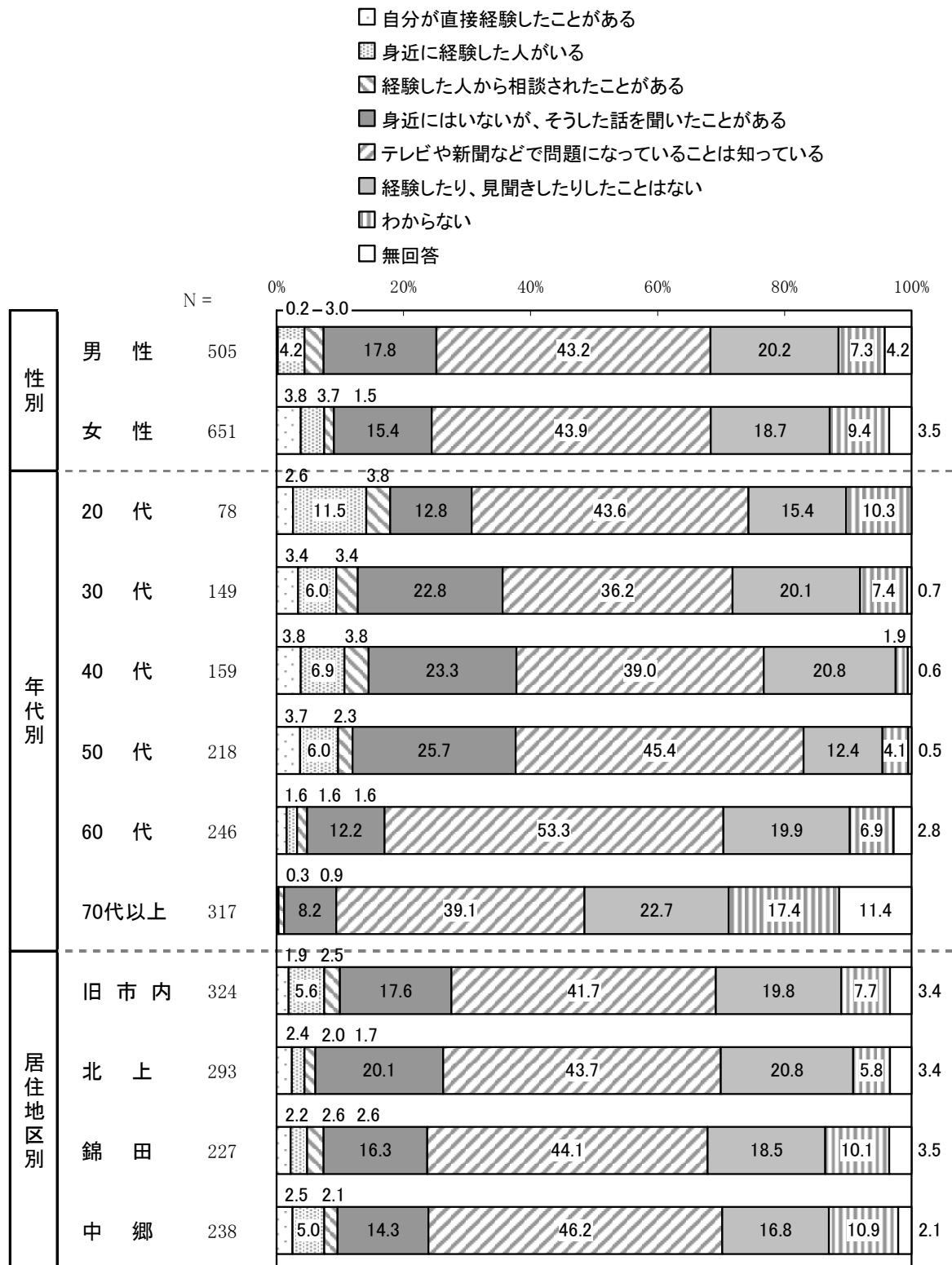
②セクシャル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）

【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、「身近に経験した人がいる」の割合は20代（11.5%）で最も高くなっています。また、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合は60代（53.3%）で最も高くなっています。

居住地区別でみると、「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」は、北上（20.1%）で最も高くなっています。



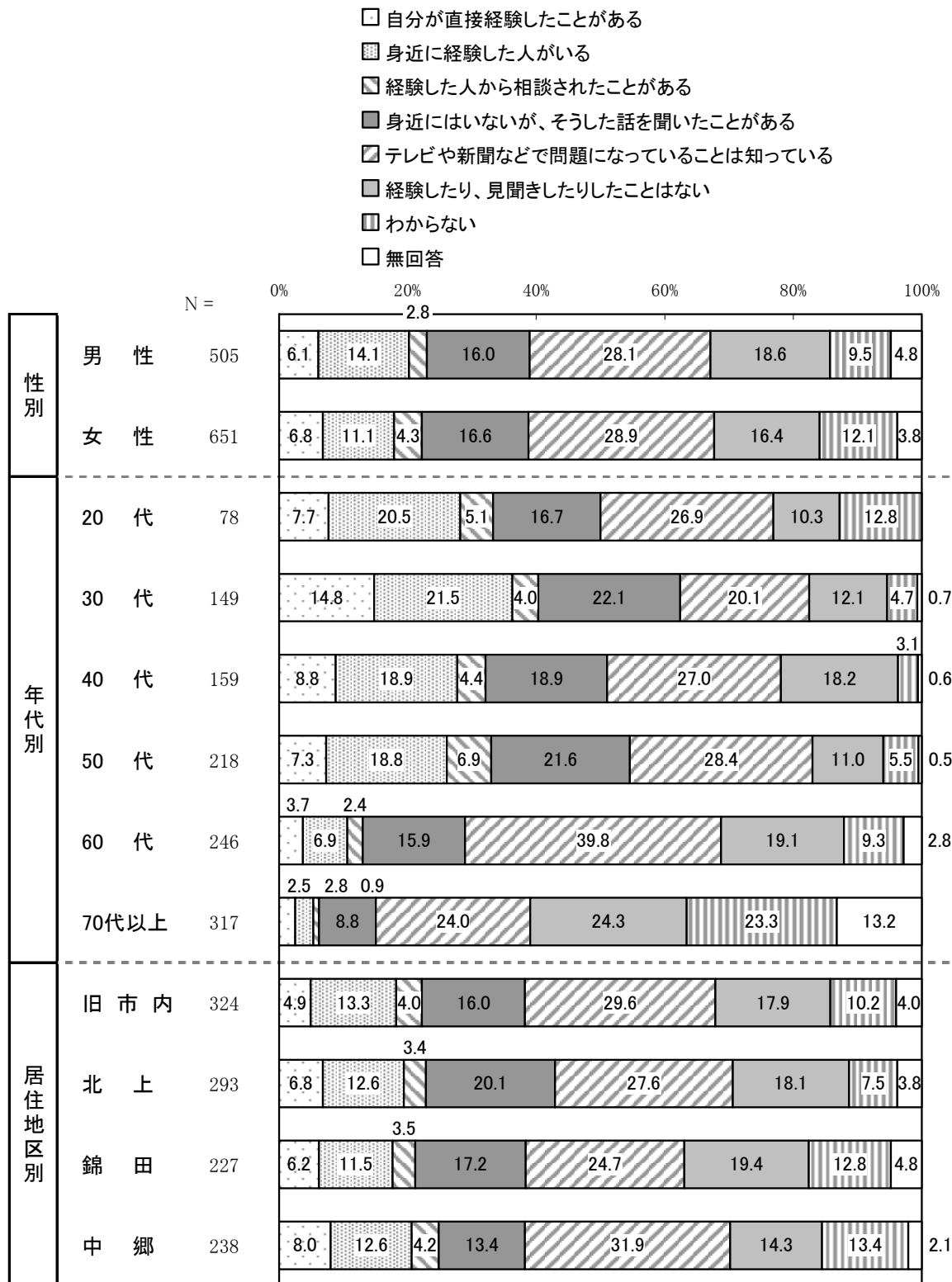
③外的抑圧によるストレス障害（不眠、拒食、出社拒否など）

【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、「自分が直接経験したことがある」の割合は30代（14.8%）で最も高くなっています。また、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合は60代（39.8%）で最も高くなっています。

居住地区別でみると、「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」は、北上（20.1%）で最も高くなっています。



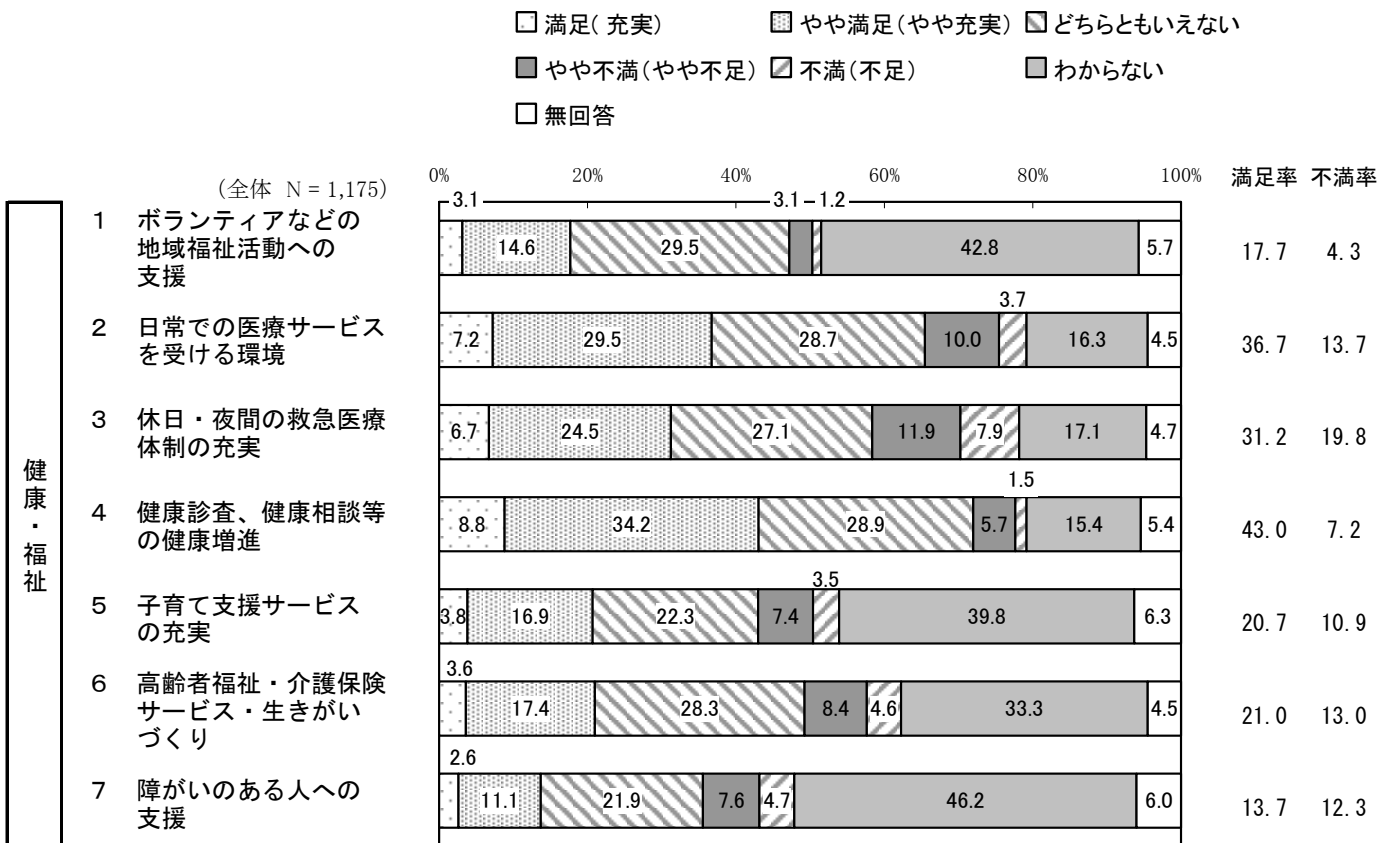
10 『市の取り組みの満足度』について

問 25 毎日の暮らしを通じて、市が行なっている施策に対する満足（充実）度についてお答えください。 1～54の項目ごとに該当する番号を選んでください。

—三島市の施策の満足率は『せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』が60.9% 不満率は『歩道の整備』で42.2%—

三島市の施策に対する満足（充実）度について聞いたところ、“満足率”は、健康福祉に関する項目では『4 健康診査、健康相談等の健康増進』（43.0%）、市民生活に関する項目では『9 消防・救急体制の確保』（31.4%）、産業振興に関する項目では『14 観光・イベントの振興』（32.7%）、都市基盤に関する項目では『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』（60.9%）、環境保全に関する項目では『29 公園・水辺空間の整備』（44.2%）、教育文化に関する項目では『33 生涯学習の振興』（21.4%）、協働行財政に関する項目では『42 「広報みしま」による市政情報の提供』（53.3%）、男女共同参画に関する項目では『43 男女平等教育の推進』（12.8%）が最も高くなっています。

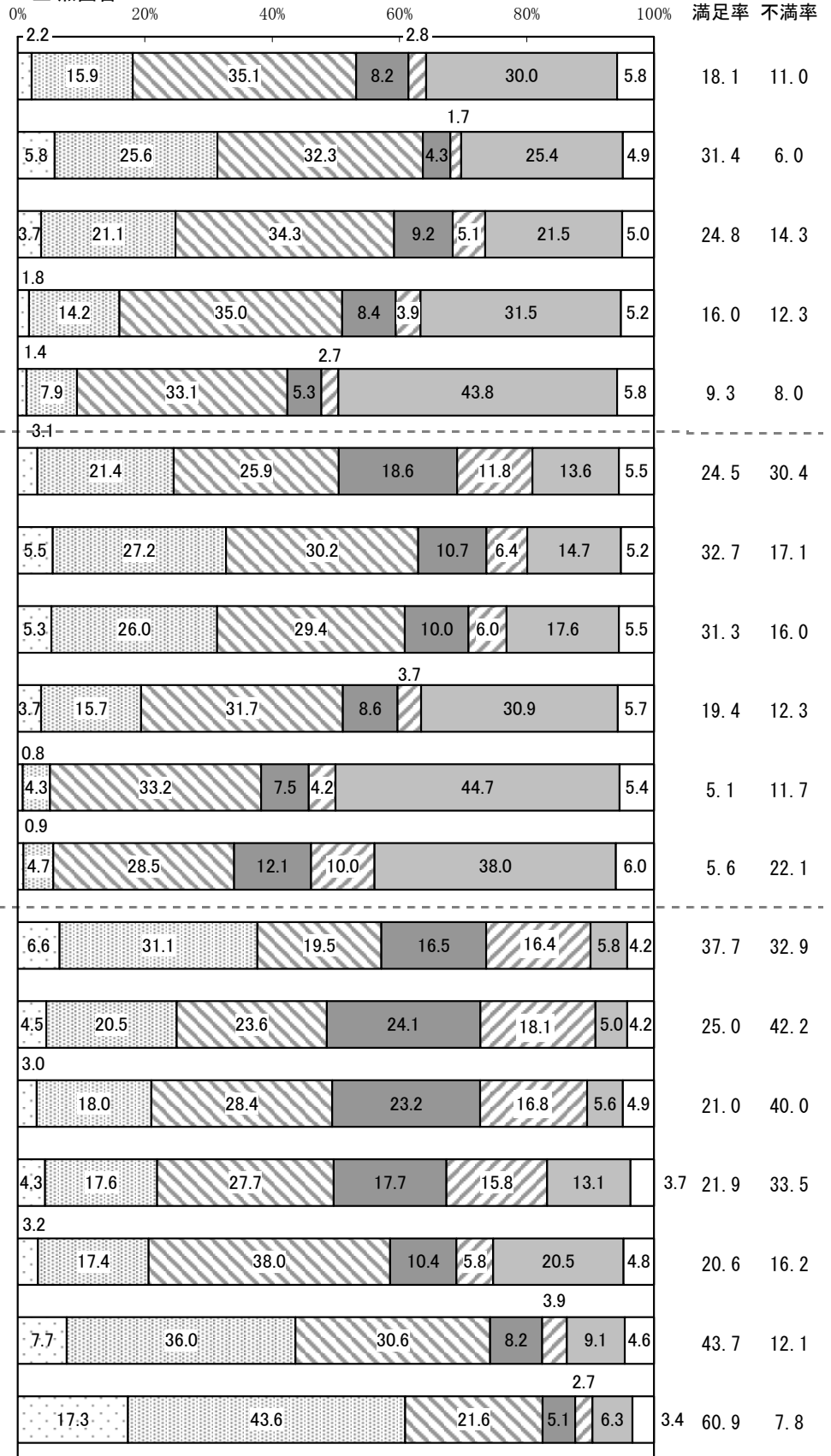
“不満率”は、健康福祉に関する項目では『3 休日・夜間の救急医療体制の充実』（19.8%）、市民生活に関する項目では『10 交通安全の対策』（14.3%）、産業振興に関する項目では『13 にぎわいある商業・商店街づくり』（30.4%）、都市基盤に関する項目では『20 歩道の整備』（42.2%）、環境保全に関する項目では『29 公園・水辺空間の整備』（15.2%）、教育文化に関する項目では『31 幼児・学校教育の充実』（10.3%）、協働行財政に関する項目では『40 市民意見を聞く機会の充実』（12.9%）、男女共同参画に関する項目では『51 女性の就業・再就職支援』（17.7%）がそれぞれ最も高くなっています。



満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

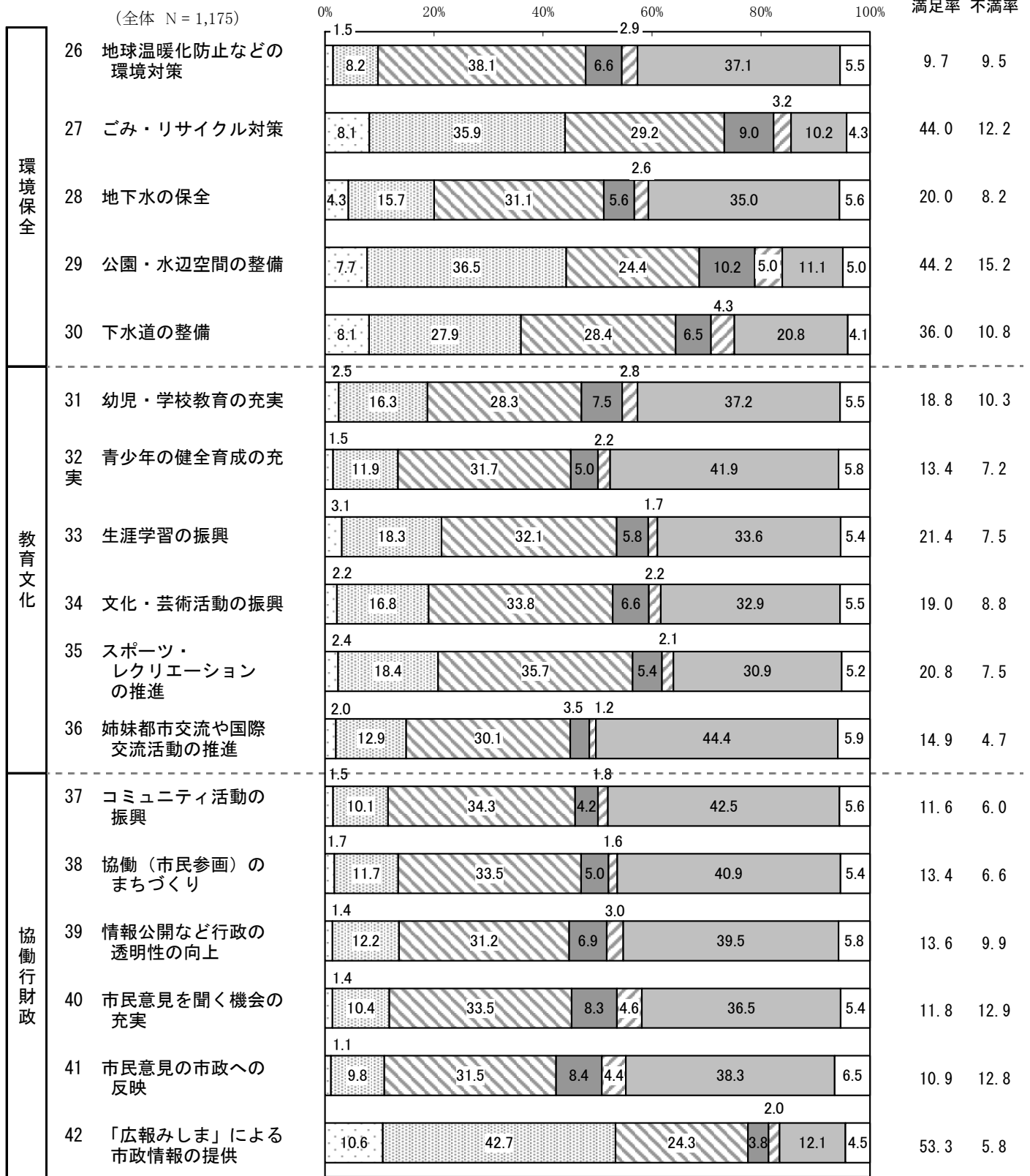
満足(充実) やや満足(やや充実) どちらともいえない
 やや不満(やや不足) 不満(不足) わからない
 無回答

(全体 N = 1,175)



満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

満足(充実) やや満足(やや充実) どちらともいえない
 やや不満(やや不足) 不満(不足) わからない
 無回答

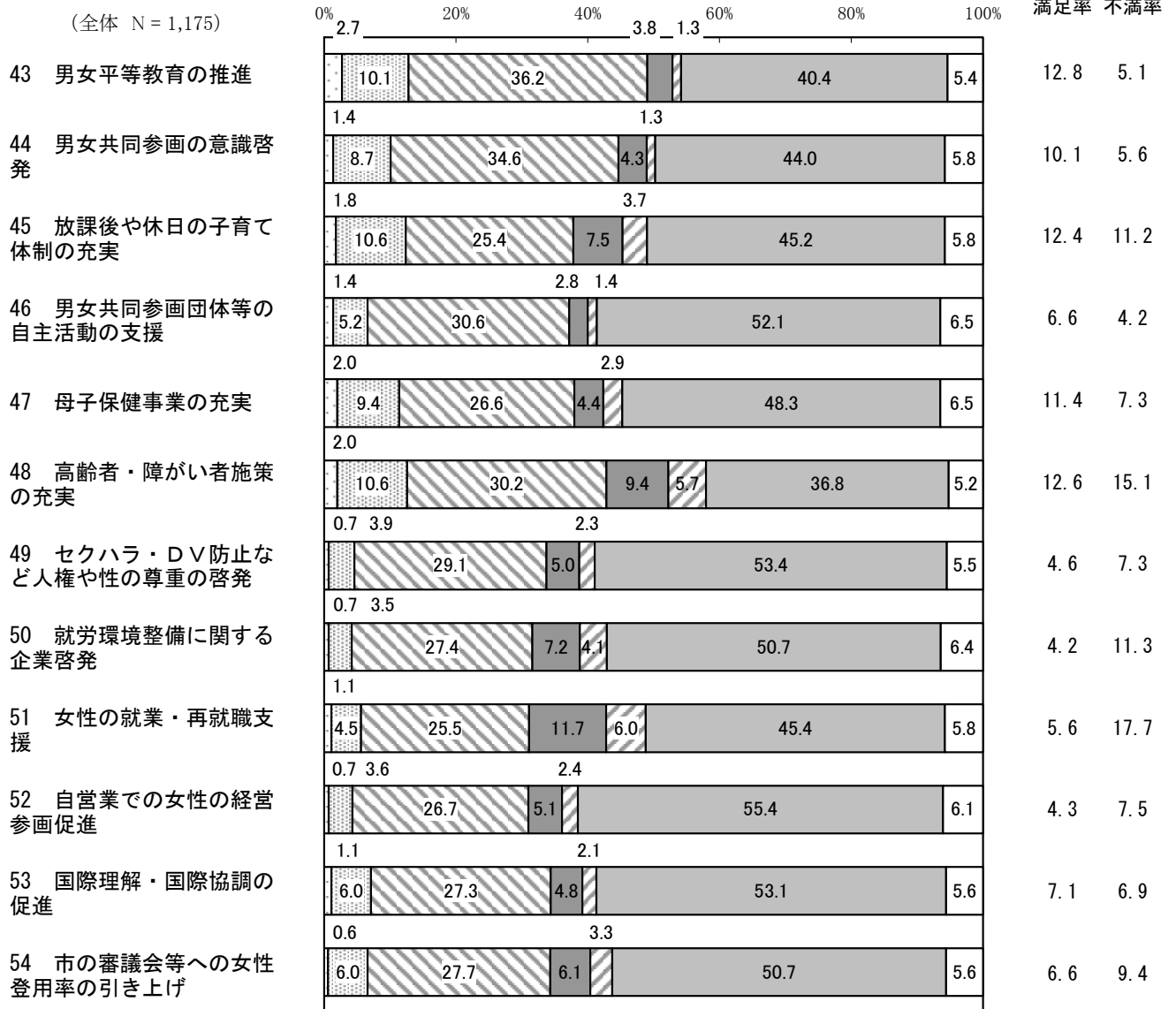


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

満足(充実) やや満足(やや充実) どちらともいえない
 やや不満(やや不足) 不満(不足) わからない
 無回答

(全体 N = 1,175)

男女共同参画



満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

満足率上位5項目

順位	項目	分類	満足率
1	25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	60.9%
2	42 「広報みしま」による市政情報の提供	協働行財政	53.3%
3	29 公園・水辺空間の整備	環境保全	44.2%
4	27 ごみ・リサイクル対策	環境保全	44.0%
5	24 美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	都市基盤	43.7%

不満率上位5項目

順位	項目	分類	満足率
1	20 歩道の整備	都市基盤	42.2%
2	21 生活道路の整備	都市基盤	40.0%
3	22 バスなどの公共交通の充実	都市基盤	33.5%
4	19 三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	32.9%
5	13 にぎわいある商業・商店街づくり	産業振興	30.4%

“満足率”が多い上位5項目は、『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』(60.9%)、『42 「広報みしま」による市政情報の提供』(53.3%)、『29 公園・水辺空間の整備』(44.2%)、『27 ごみ・リサイクル対策』(44.0%)、『24 美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成』(43.7%)であり、都市基盤に関する項目と、環境保全に関する項目がそれぞれ2つずつ含まれています。

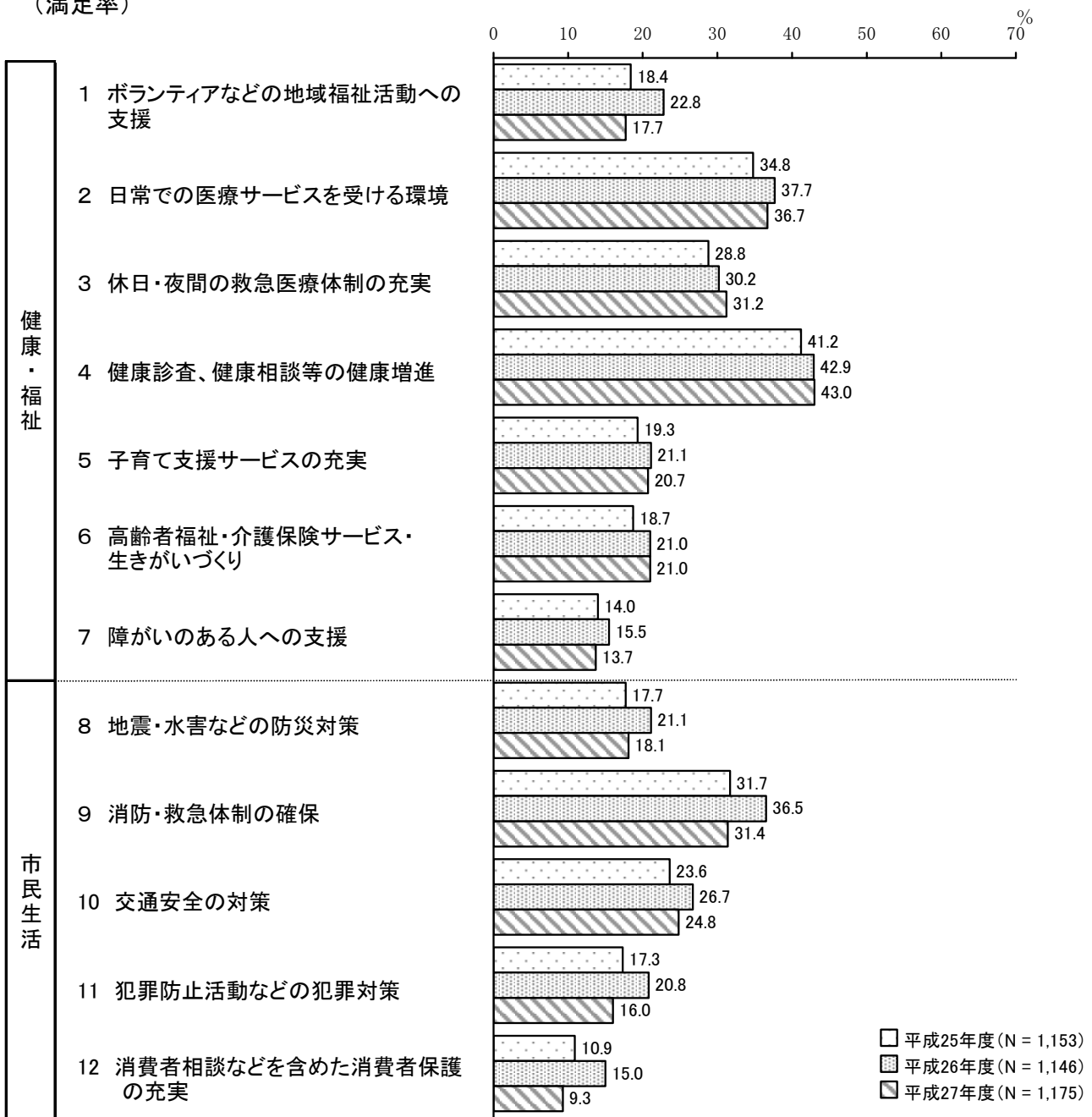
“不満率”が多い上位5項目は、『20 歩道の整備』(42.2%)、『21 生活道路の整備』(40.0%)、『22 バスなどの公共交通の充実』(33.5%)、『19 三島駅周辺(北口・南口)の整備』(32.9%)、『13 にぎわいある商業・商店街づくり』(30.4%)であり、都市基盤に関する項目が4つ含まれています。

【時系列比較】

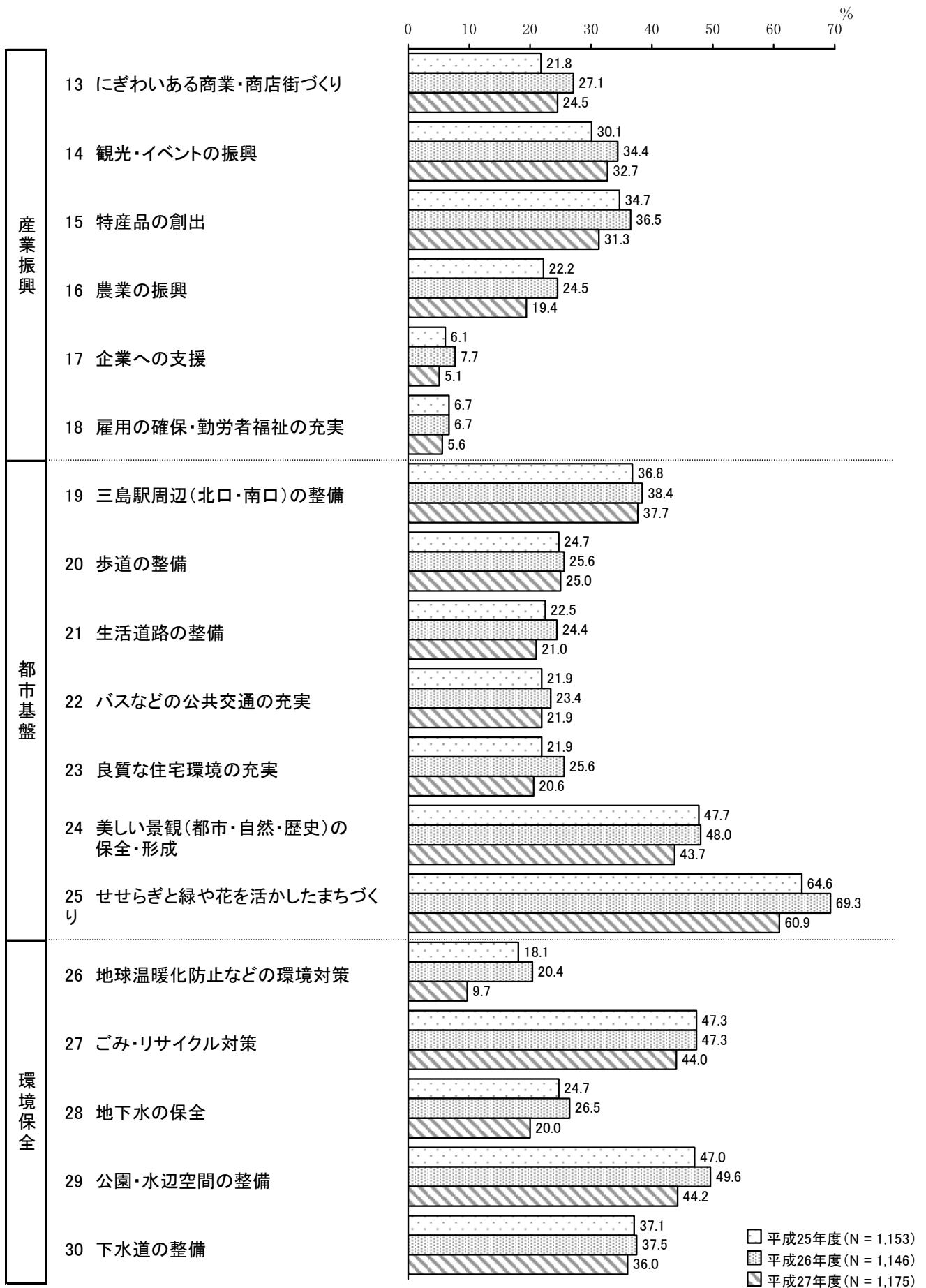
平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、“満足率”は、42 項目中 2 項目で平成 26 年度調査に比べ高くなっています。また、42 項目中 1 項目は平成 26 年度調査と同じ割合となっており、42 項目中 39 項目では平成 26 年度調査に比べ“満足率”は低くなっています。特に、『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』（60.9%）は 8.4 ポイント減少しています。

“不満率”は、42 項目中 31 項目で平成 26 年度調査に比べ低くなっており、42 項目中 2 項目は平成 26 年度調査と同じ割合となっています。一方、42 項目中 9 項目では平成 26 年度調査に比べ“不満率”は高く、『20 歩道の整備』（42.2%）は 4 割を超えています。

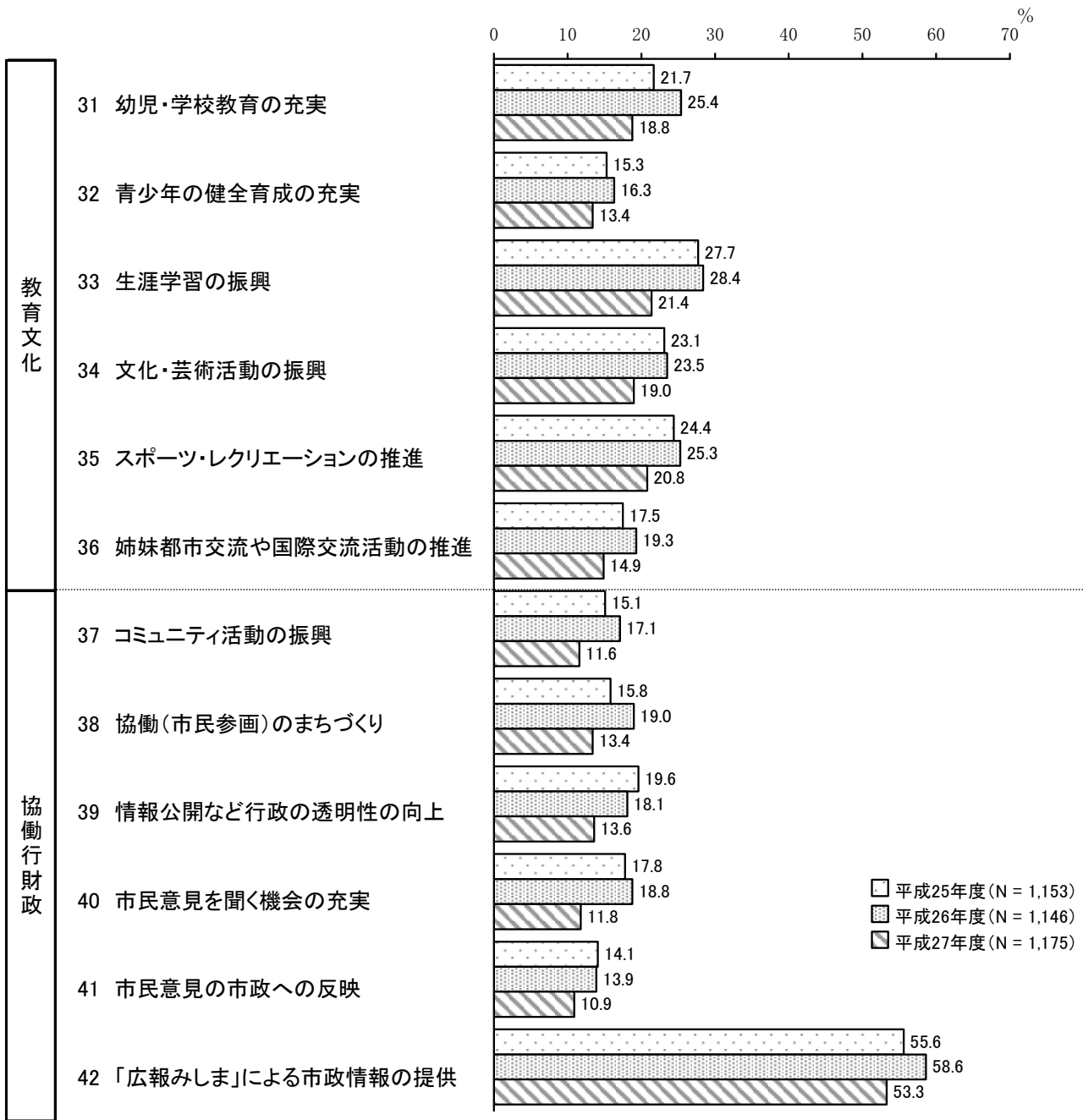
（満足率）



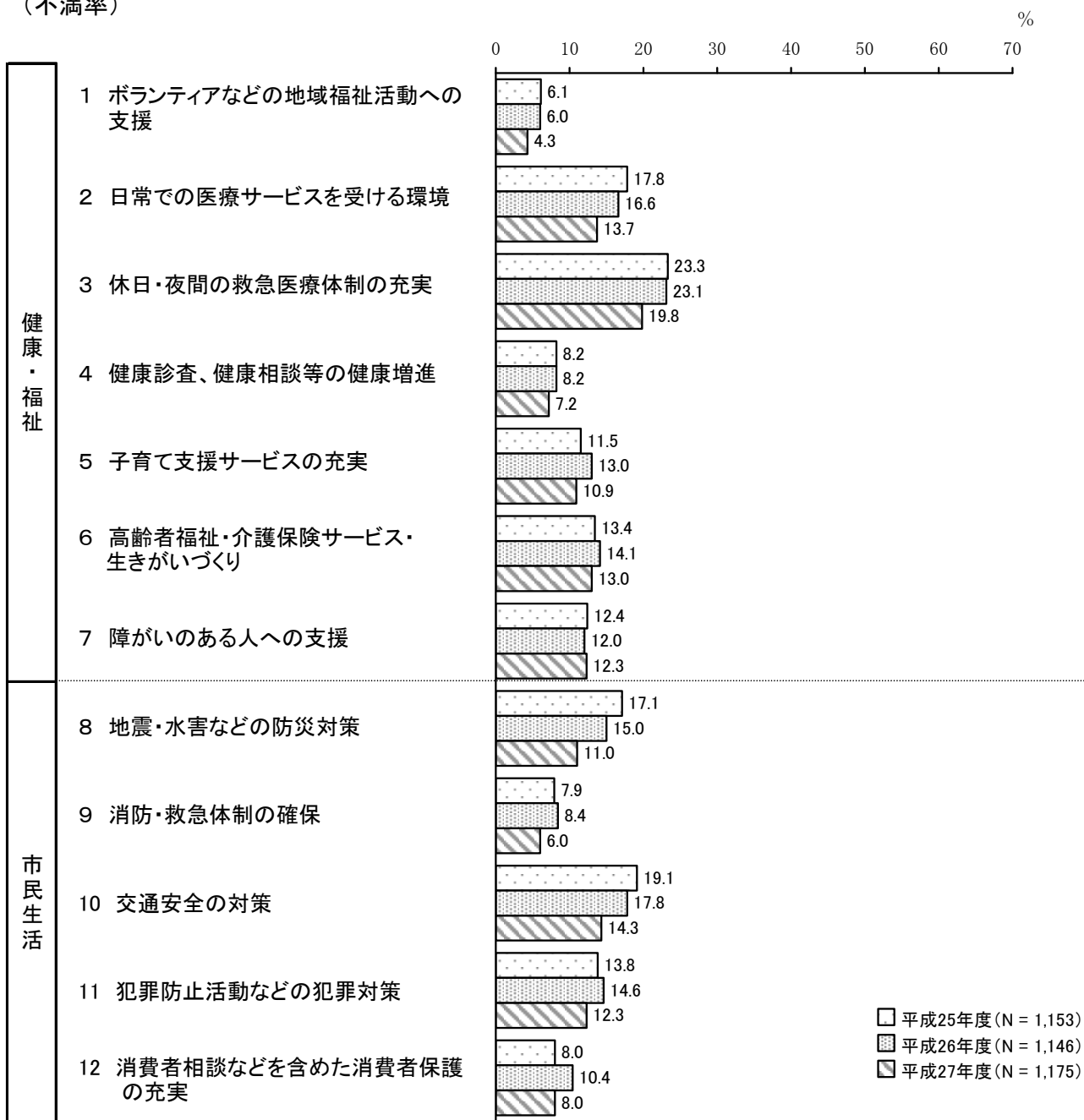
(満足率)



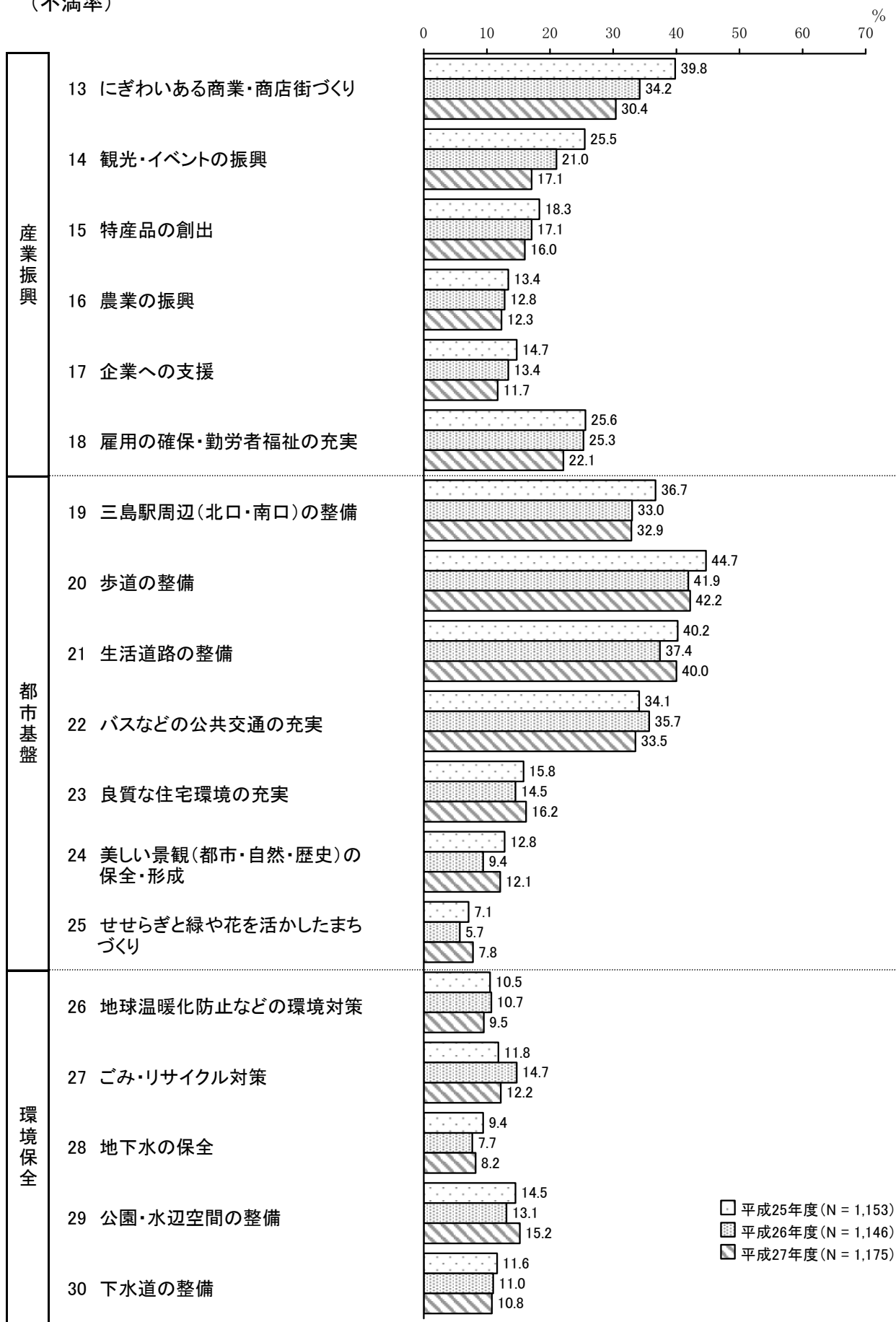
(満足率)



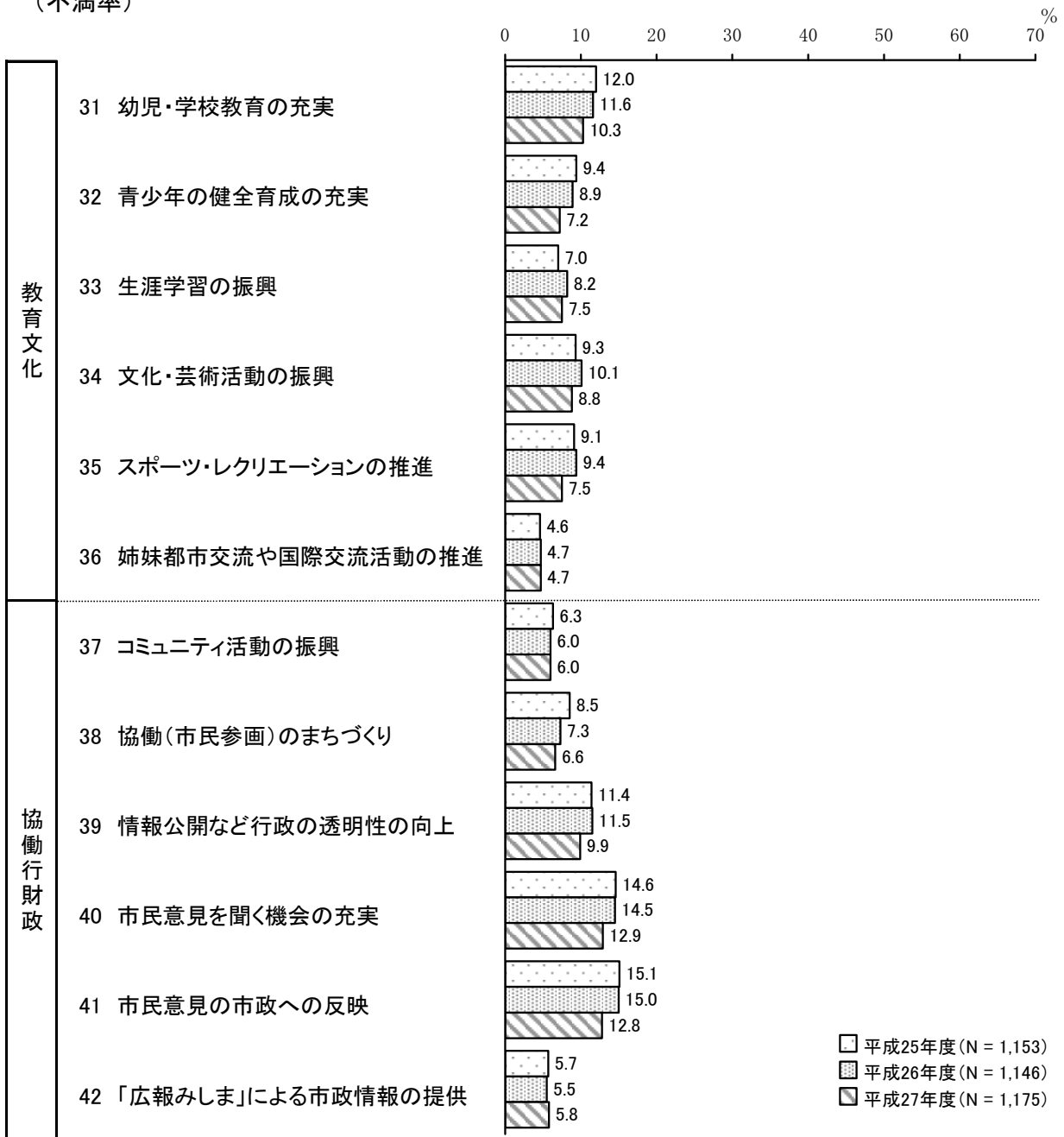
(不満足率)



(不満率)



(不満率)

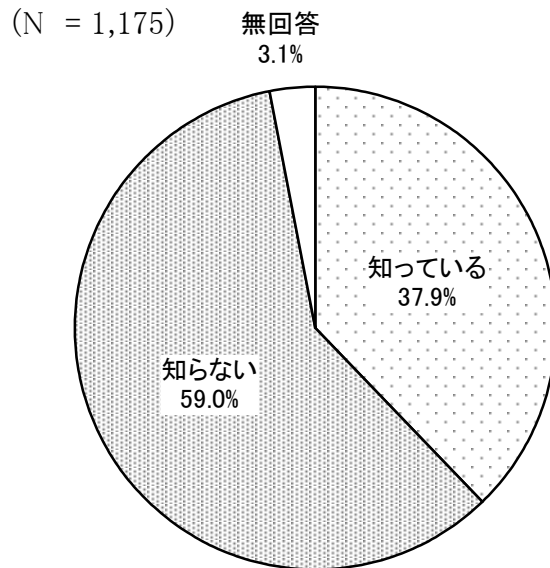


11 消費者教育について

問 26 市民相談室で消費生活相談を行なっていることを知っていますか。(〇はひとつ)

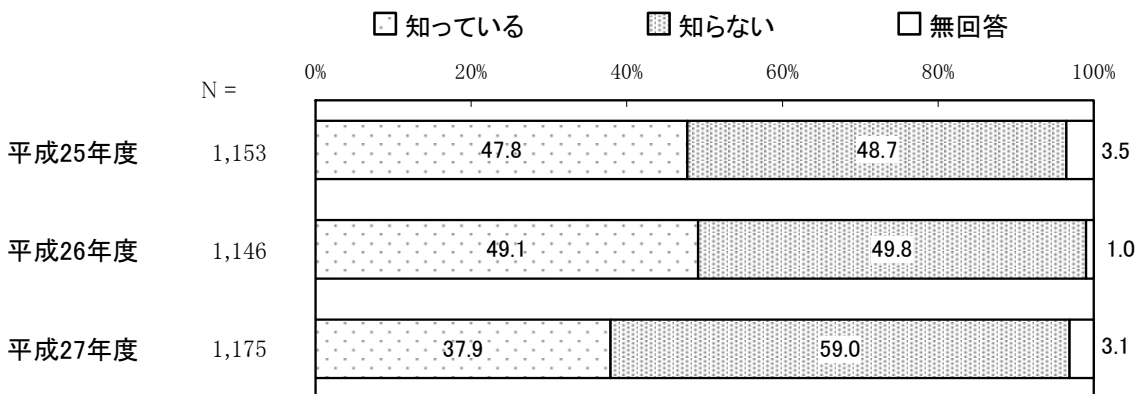
—市民相談室での消費生活相談実施の認知度は 37.9%—

「知っている」の割合が 37.9%、「知らない」の割合が 59.0%となっています。



【時系列比較】

平成 25 年度調査、平成 26 年度調査と比較すると、消費生活相談実施の認知度は減っており、4 割を下回っています。

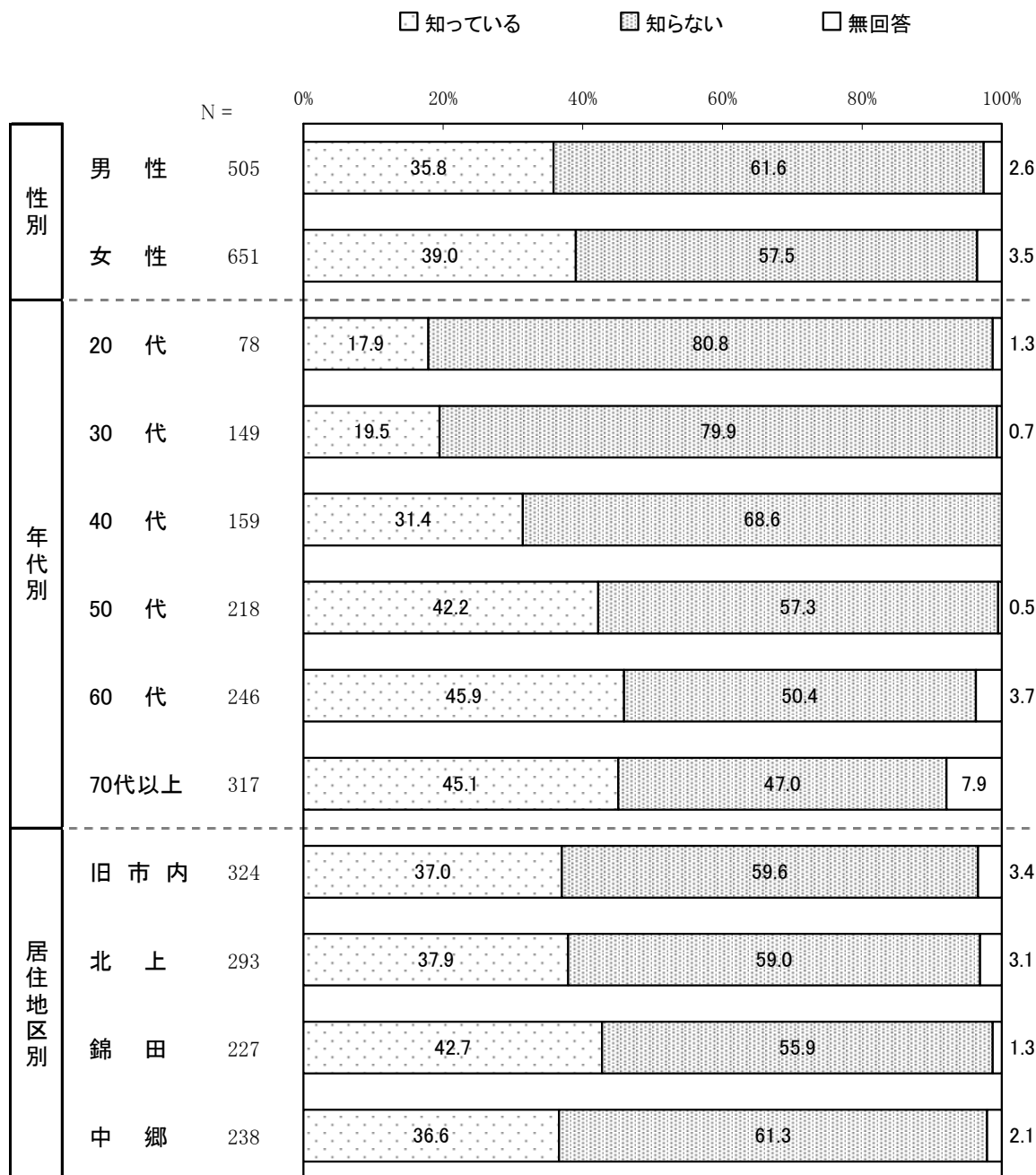


【属性別比較】

性別でみると、「知っている」は、女性（39.0%）が、男性（35.8%）より高くなっています。

年代別でみると、「知っている」は、60代（45.9%）で最も高く、年齢が下がるにつれ、「知っている」が低くなる傾向となり、20代（17.9%）は、約2割にとどまっています。

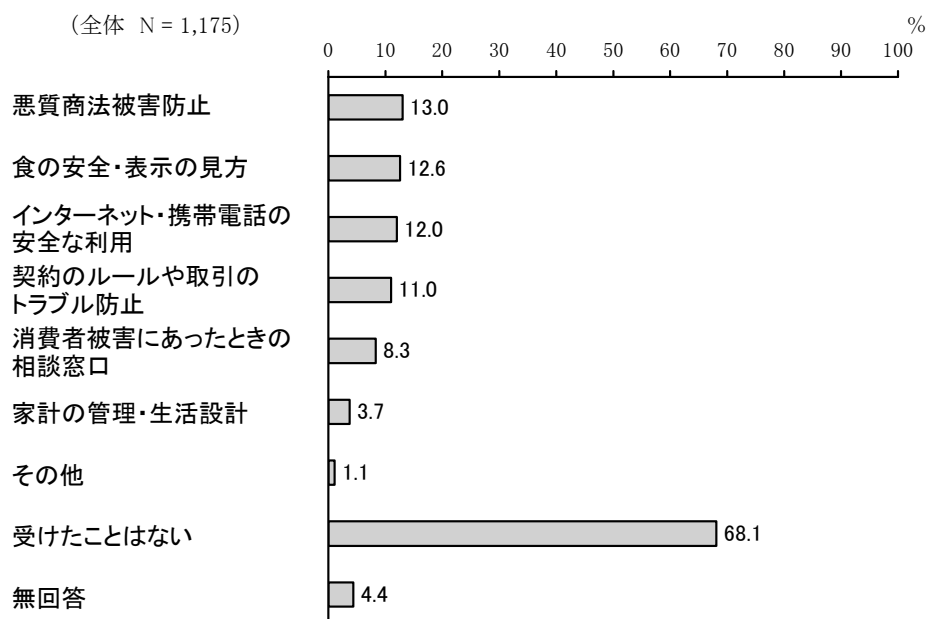
居住地区別でみると、「知っている」は、錦田（42.7%）で最も高く、一方、中郷（36.6%）では3割台半ばとなっています。



問 27 学校の授業や地域や職場などにおいて、次のような消費者教育を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)

—消費者教育を受けたことがあるのは 27.5%—

「受けたことはない」の割合が 68.1%と最も高く、受けたことがある人の中では「悪質商法被害防止」の割合が 13.0%、「食の安全・表示の見方」の割合が 12.6%となっています。「受けたことはない」(68.1%)と「無回答」(4.4%)を除く消費者教育を受けたことがある人は 27.5%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「受けたことはない」（男性 66.7%、女性 68.8%）が最も高くなっています。また、男性では「悪質商法被害防止」（17.2%）が2位であるのに対し、女性は「食の安全・表示の見方」（13.5%）が2位となっています。年代別でみると消費者教育を受けたことがあるのが最も多い世代は20代となっています。

また、20代を除くいずれの年代でも「受けたことはない」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、いずれの居住地区でも「受けたことはない」が最も高く、約7割となっています。また、旧市内で「悪質商法被害防止」（16.7%）が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	契約のルールや取引の トラブル防止	悪質商法被害防止	消費者被害にあつた ときの相談窓口	食の安全・表示の見方	インターネット・携帯 電話の安全な利用	家計の管理・生活設計	その他	受けたことはない	無回答
性別	男性	505	15.0	17.2	9.7	11.5	13.1	4.2	1.2	66.7	4.0
	女性	651	8.0	9.7	7.4	13.5	11.4	3.2	1.1	68.8	4.9
年代別	20代	78	38.5	39.7	30.8	41.0	38.5	7.7	5.1	35.9	1.3
	30代	149	11.4	11.4	7.4	8.7	14.1	3.4	0.7	70.5	1.3
	40代	159	11.3	12.6	10.1	11.9	27.0	3.8	1.9	59.7	1.3
	50代	218	10.6	11.0	6.4	12.4	14.7	4.6	0.5	69.3	1.8
	60代	246	8.1	9.8	4.9	10.2	2.8	2.4	1.6	76.0	2.8
	70代以上	317	6.6	11.7	6.6	10.1	2.2	3.2	0.0	71.9	11.0
居住地区別	旧市内	324	12.3	16.7	8.6	13.0	13.3	3.7	0.6	65.1	5.6
	北上	293	10.9	12.6	7.8	12.6	13.3	5.8	1.0	66.9	4.8
	錦田	227	7.9	9.3	7.0	11.5	10.6	2.6	0.9	72.7	3.5
	中郷	238	12.6	13.4	10.5	13.9	10.9	2.9	1.7	68.5	2.9

1位

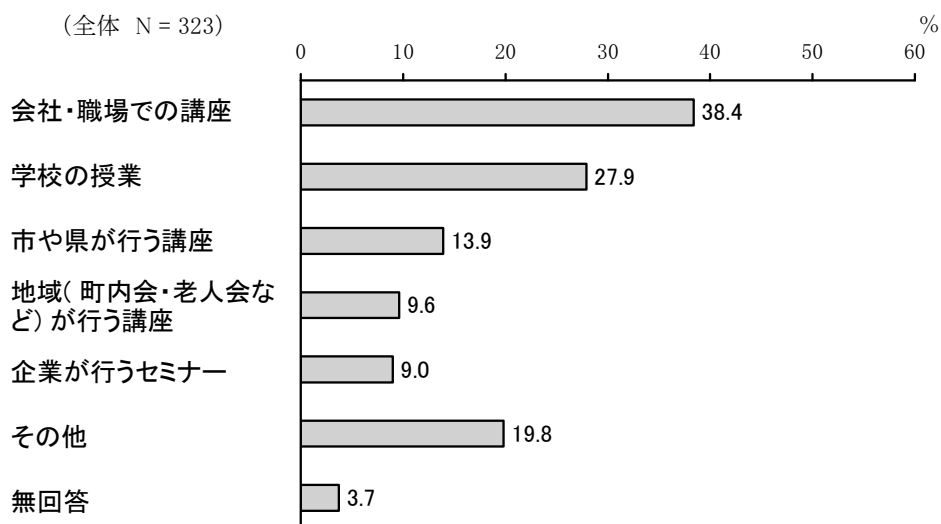
2位

3位

問 28 問 27 で「受けたことがある」と回答した人に伺います。どこで受けましたか。
(〇はいくつでも)

—受けた消費者教育は「会社・職場での講座」が 38.4%—

「会社・職場での講座」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「学校の授業」の割合が 27.9%、「市や県が行う講座」の割合が 13.9%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、男性では「会社・職場での講座」(54.1%)、女性では「学校の授業」(32.2%)が最も高くなっています。また、男性では「学校の授業」(23.0%)が2位であるのに対し、女性は「その他」(24.6%)が2位となっています。

年代別でみると、30代から60代で「会社・職場での講座」が最も高くなっています。また、20代では「学校の授業」(81.6%)、70代以上では「地域(町内会・老人会など)が行う講座」(38.9%)が最も高くなっています。

居住地区別でみると、いずれの居住地区でも「会社・職場での講座」が最も高く、約4割となっています。

単位：%

区分		有効回答数(件)	会社・職場での講座	学校の授業	地域(町内会・老人会など)が行う講座	市や県が行う講座	企業が行うセミナー	その他	無回答
性別	男性	148	54.1	23.0	8.8	10.1	10.1	14.9	2.7
	女性	171	24.6	32.2	9.4	16.4	8.2	24.6	4.7
年代別	20代	49	26.5	81.6	0.0	2.0	4.1	10.2	0.0
	30代	42	47.6	40.5	2.4	4.8	14.3	11.9	0.0
	40代	62	50.0	24.2	1.6	3.2	8.1	22.6	0.0
	50代	63	44.4	20.6	6.3	15.9	7.9	23.8	3.2
	60代	52	40.4	3.8	7.7	23.1	11.5	17.3	9.6
	70代以上	54	20.4	5.6	38.9	33.3	9.3	27.8	9.3
居住地区別	旧市内	95	42.1	28.4	8.4	13.7	9.5	18.9	0.0
	北上	83	36.1	27.7	6.0	14.5	9.6	24.1	2.4
	錦田	54	38.9	18.5	13.0	11.1	11.1	20.4	9.3
	中郷	68	38.2	29.4	13.2	19.1	5.9	14.7	4.4

1位

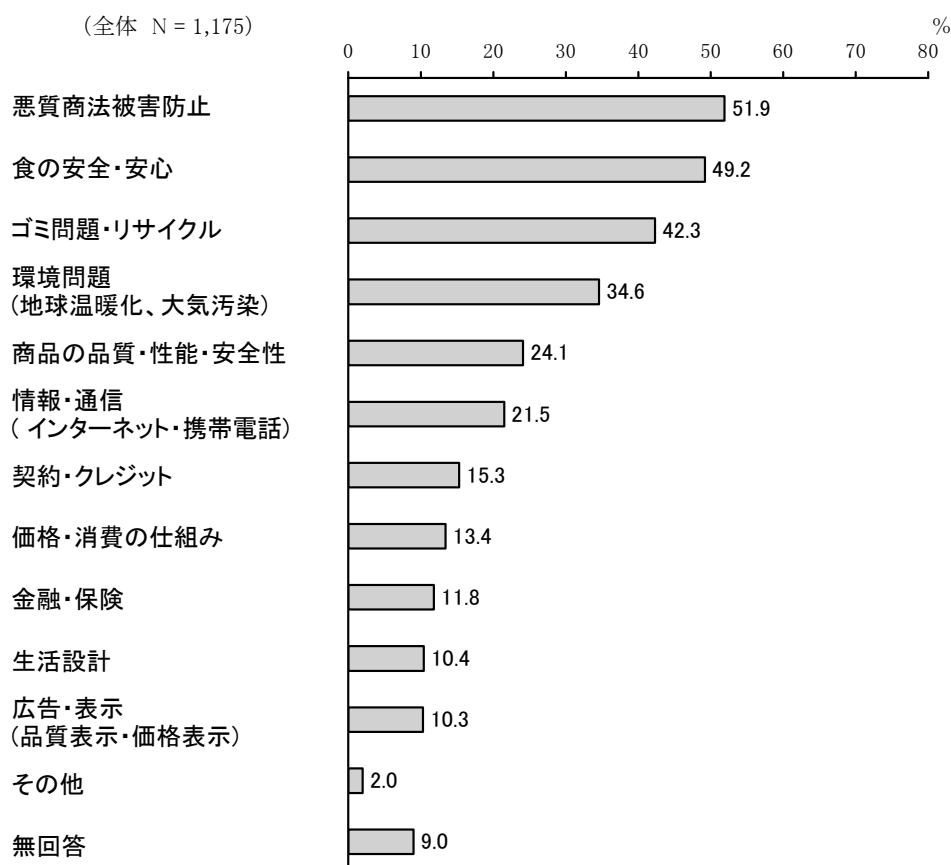
2位

3位

問 29 消費者教育について特に力を入れて取り組む必要があると思う分野はどれですか。
(〇はいくつでも)

—特に力を入れるべき分野は「悪質商法被害防止」「食の安全・安心」—

「悪質商法被害防止」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「食の安全・安心」の割合が 49.2%、
「ゴミ問題・リサイクル」の割合が 42.3%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、男性では「悪質商法被害防止」(58.0%)、女性では「食の安全・安心」(52.5%)が最も高くなっています。また、男性では「食の安全・安心」(44.6%)が2位であるのに対し、女性は「悪質商法被害防止」(46.9%)が2位となっています。

年代別でみると、60代を除くいずれの年代で「悪質商法被害防止」が最も高くなっています。また、20代では「情報・通信(インターネット・携帯電話)」も最も高くなっています。

居住地区別でみると、旧市内を除くいずれの居住地区で「悪質商法被害防止」が最も高く、5割を超えています。また、旧市内では「食の安全・安心」(51.5%)が最も高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数(件)	悪質商法被害防止	食の安全・安心	ゴミ問題・リサイクル	環境問題 (地球温暖化、大気汚染)	契約・クレジット	商品の品質・性能・安全性	情報・通信 (インターネット・携帯電話)	金融・保険	生活設計	価格・消費の仕組み	広告・表示 (品質表示・価格表示)	その他	無回答
性別	男性	505	58.0	44.6	38.2	31.9	16.2	21.4	21.2	12.9	10.7	13.3	9.3	2.6	9.1
	女性	651	46.9	52.5	45.3	37.0	15.1	26.0	22.3	11.4	10.1	13.5	10.9	1.4	8.6
年代別	20代	78	43.6	35.9	34.6	38.5	29.5	20.5	43.6	19.2	12.8	24.4	12.8	5.1	3.8
	30代	149	44.3	40.9	34.2	28.9	18.1	16.1	28.2	20.8	15.4	15.4	12.1	2.0	8.7
	40代	159	54.7	43.4	42.1	34.0	15.7	20.1	34.0	13.8	10.7	9.4	7.5	2.5	4.4
	50代	218	62.4	48.6	45.4	38.1	21.1	20.2	23.4	9.2	13.8	11.5	6.9	0.9	3.2
	60代	246	49.6	61.0	47.6	37.8	15.4	30.1	18.7	11.4	9.3	12.2	12.6	1.6	8.9
	70代以上	317	50.5	50.5	42.0	31.2	6.6	27.8	8.2	7.3	6.0	13.9	11.0	1.9	16.7
居住地区別	旧市内	324	49.7	51.5	43.8	33.0	14.5	24.1	19.4	12.3	8.0	13.3	10.5	1.5	9.6
	北上	293	53.2	49.1	45.1	37.9	13.3	27.3	23.5	11.6	11.9	9.6	7.2	2.4	8.5
	錦田	227	55.9	47.6	40.5	36.1	14.1	22.0	18.5	7.9	10.6	12.8	8.8	1.8	8.4
	中郷	238	52.5	47.1	41.6	31.5	17.2	21.4	23.5	13.4	10.9	15.5	13.0	0.8	7.1

1位

2位

3位